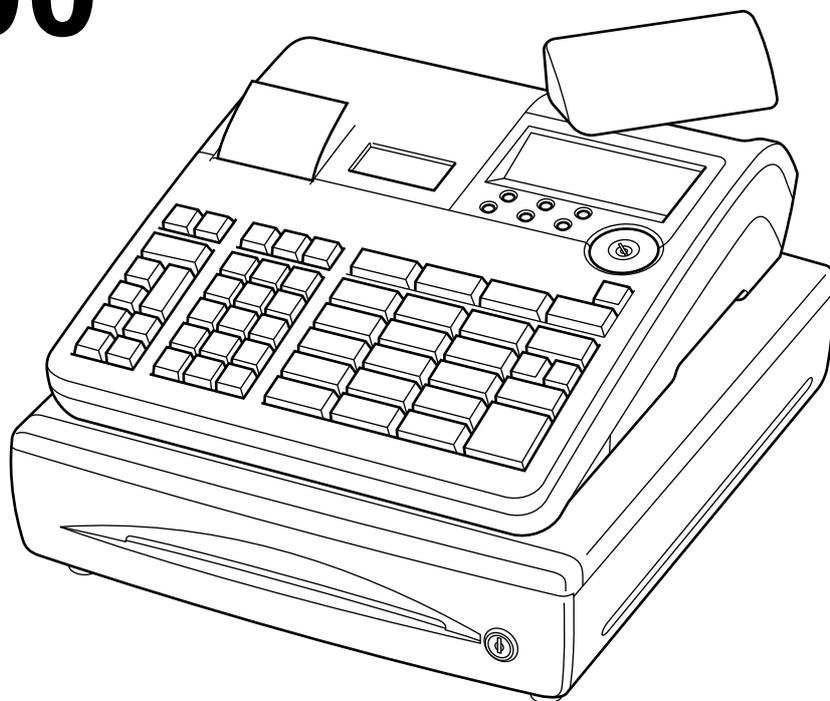


## 取扱説明書

保証書別添

SIAA  
ISO22196  
for KOHKIN

無機抗菌剤・練込  
置数キー・キーキャップ  
SIAAマークはISO22196法によ  
り評価された結果に基づき、抗菌  
製品技術協議会ガイドラインで品  
質管理・情報公開された製品に表  
示されています。

カシオ電子レジスター  
TE-2300

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は  
必ずお読みください。取扱説明書は、お読みになった後もわかりやすいところに大切に  
保管してください。

初めてレジスターをお使いになるときは、**設置の手順**（16 ページ）と  
**用語集**（125 ページ）をご覧ください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

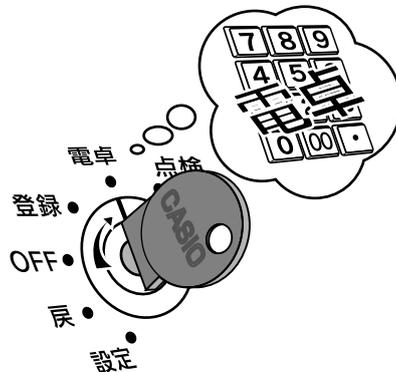
こんなときは

# 特長

- 一度日付・時刻をセットすると、日付は自動更新されます。



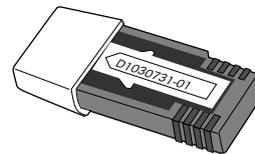
- 付属のモードキーを使ってモードスイッチを「電卓」に切り替えて、レジを電卓として使用することができます。



- 「客用回転表示器」が付いているため、お客様が簡単にお買い上げ金額を確認することができます。



- 別売の電子店名スタンプを使うと、レシート上の店名ロゴスタンプや領収書上の社名ロゴ、住所を設定せずに印字することができます。



(RAC-13：オレンジ色のスティック)

- 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理（四捨五入、切り上げ、切り捨て）を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求（5円丸め、10円丸め）するといった、さまざまな設定が可能です。



# 目次

## ご使用前に

安全上のご注意.....	4
付属品について.....	7
知りたいことは？.....	8
各部の名前と働き.....	10
お使いになる前に.....	16

## 使い方

基本的なレジの操作.....	20
操作をまちがったとき.....	26
閉店後の操作.....	30

## 便利な使い方

便利な使い方.....	32
売上を見るとき.....	50
電卓として使うとき.....	56

## 設定の仕方

日付や時刻を設定する.....	58
単価や割引率を設定する.....	59
消費税を設定する.....	62
商品名やメッセージの設定.....	67
その他の設定.....	84
設定内容を確認するとき.....	107

## こんなときは

故障かなと思ったら.....	114
キー表面に商品名を記入する.....	118
ロールペーパーのセットと交換.....	119
仕様.....	124
用語集.....	125

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

- 本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	記号は「気をつけるべきこと = 注意」を意味しています。 左の例は「感電注意」です。
	記号は「してはいけないこと = 禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。
	記号は「しなければならないこと = 指示」を意味しています。 左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は  で表わします。

## 警告

### 電源コードや電源プラグについて

-  ・電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を載せないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品の下を通る配線はしないでください。
-  ・電源コードが傷んだら（芯線の露出／断線など）、ご購入の販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

### 分解・改造しないでください。

-  本製品を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。

### 内部に異物や水などを入れないでください。

-  ・本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となります。
-  ・異物や水などが本製品の内部に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

### 異常状態で使用しないでください。

-  発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

### 電源・電圧について

-  ・表示された電源電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- ・差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

### 設置場所について

- ⊘ ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。
- ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原因となります。
- ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また差し込みプラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。

### 移動する場合は

- Ⓢ 本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。また電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

### 本製品の上に物を置かないでください。

- ⊘ ・花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。
- ・タバコなど高温の物を置かないでください。
- ・重い物を置かないでください。

### 電源プラグはいつもきれいに

- ❗ 電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ホコリがたまると、火災の原因となります。電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。

### 長期間使用しないときは

- Ⓢ 連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

### お手入れについて

- Ⓢ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 液晶表示について

- ⊘ ・液晶表示を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてケガの原因となることがあります。
- ・液晶表示が割れたときは、表示内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- ・口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ・目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

### ドロアー（引き出し）の注意

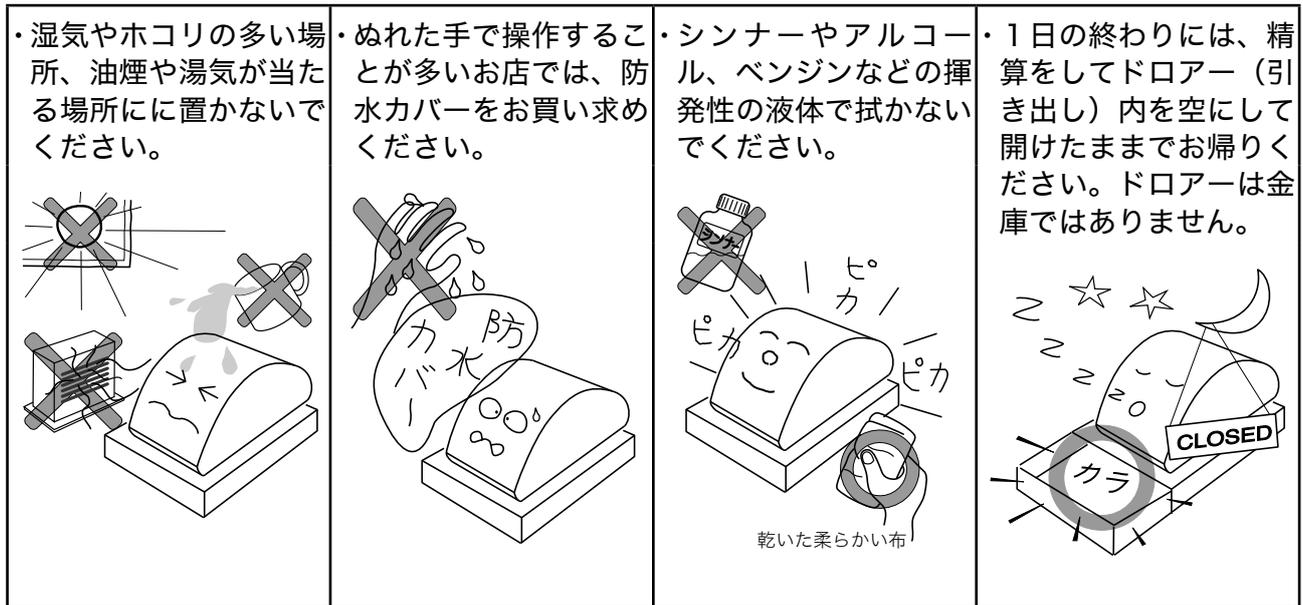
- ❗ ・ドロアー（引き出し）を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。
- ・ドロアー（引き出し）が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落下してケガの原因となります。

### 消耗品交換時の注意

- ⚠  
⚠  
⊘ ・記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。
- ・プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガ、やけどの原因となります。

# 安全上のご注意

## お願い（必ず守ってください）



### あらかじめご承知いただきたいこと

- ・本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- ・本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
- ・ウエルドラインについて  
外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

### 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な処置を講ずるよう要求されることがあります。  
VCCI-A

### 高調波規制について

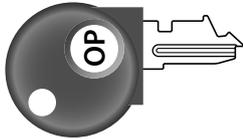
この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

# 付属品について

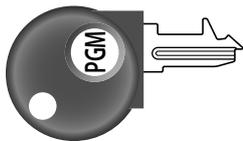
## 付属品一覧表

本機には以下の付属品があります。ご確認ください。

- モードキー（2種類各2本）  
オペレーターキー（OPと刻印）



オーナーキー（PGMと刻印）

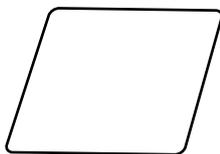


- ドロアーロックキー2本



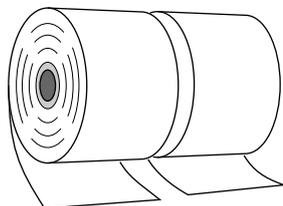
ドロアーを開かなくするキーです。ドロアー正面のキー穴に差し込んで時計回りに廻すとドロアーが開かなくなります。反時計回りに廻すと開けられます。

- 検銭板



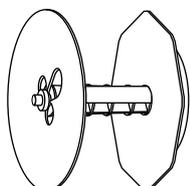
接着面の汚れをよく拭き取り、ケガをしないように注意して貼り付けてください。

- ロールペーパー（2本）



ロールペーパーのセット・交換は、「ロールペーパーのセットと交換」(119ページ)を参照してください。

- ジャーナル巻き取りホルダー



- ドロアー延長用ケーブル



- レジスター固定用ゴム足4本

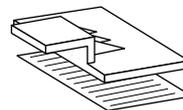


- ドロアー上面穴塞ぎ用シート2個



ドロアー延長用ケーブル・レジスター固定用ゴム足・ドロアー上面穴塞ぎ用シートは、レジスターとドロアーを分離して設置するときのみ使います。分離しないときは使いません。レジスターとドロアーを分離するときには「ドロアーを分離して設置する」(117ページ)を参照してください。

- 落下防止用フック・貼付用両面テープ



ドロアーが開いたときにレジスターの落下を防ぐためのフックと、フックを貼付する両面テープです。

- 取扱説明書類



ご使用前に

使い方

便利な使い方

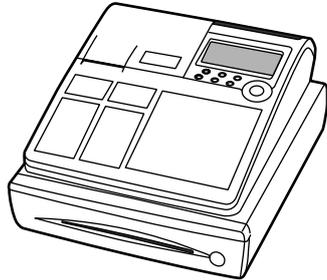
設定の仕方

こんなときは

# 知りたいことは？

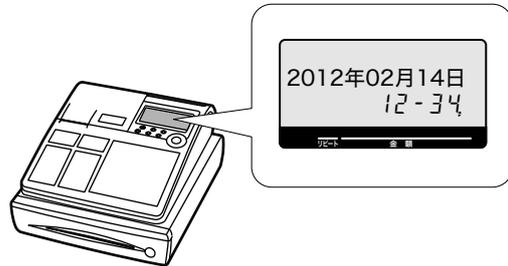
## ●レジスターを設置する

参照  16 ページ



## ●日付や時刻を設定したい

参照  58 ページ



## ●基本的な操作とは？

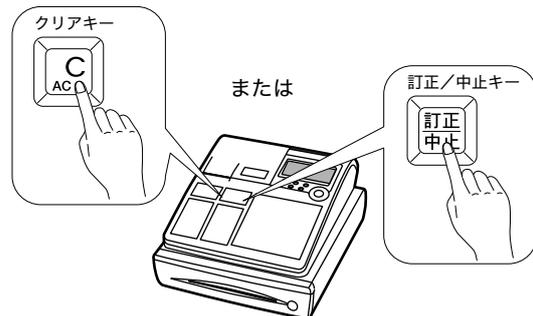
参照  20 ページ

1. 商品を登録する
  2. 合計を確認する
  3. 預かりを入力する
- ドロアーが開いて、レシートが出る



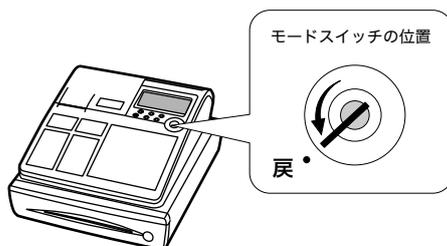
## ●キー操作をまちがえた

参照  26 ページ



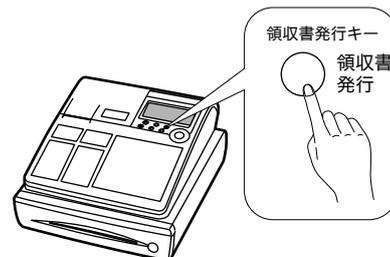
## ●返品があった

参照  28 ページ



## ●領収書を発行する

参照  24 ページ

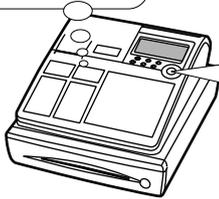


# 知りたいことは？

## ● 売上を確認する

参照 52 ページ

- ・現時点での売上は？
- ・現時点での現金在高は？

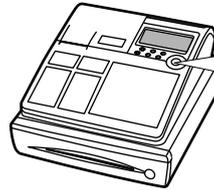


モードスイッチの位置  
点検



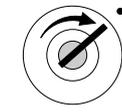
## ● 閉店後の操作は？

参照 30 ページ



モードスイッチの位置

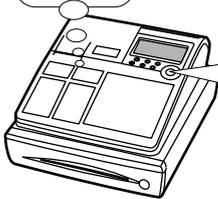
- ・精算



## ● 消費税を設定する

参照 62 ページ

- ・内税？
- ・非課税？
- ・混在？



モードスイッチの位置

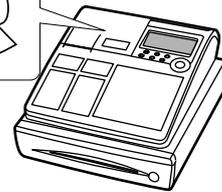


設定

## ● ロールペーパーがなくなった

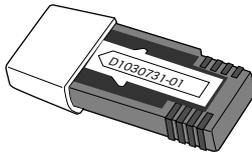
参照 121、122 ページ

ロールペーパー



## ● 電子店名スタンプが届いた

参照 123 ページ



## ● エラーが表示された

参照 115 ページ



## ● レシートの内容は？ 参照 19 ページ

## ● 値引きや割引きをする 参照 42、43 ページ

## ● 単価・割引き率・丸めの設定をする 参照 59、60 ページ

## ● レシートにメッセージを印字する 参照 78～81 ページ

## ● レシートに分類や商品名を印字する 参照 67 ページ

ご使用前に

使い方

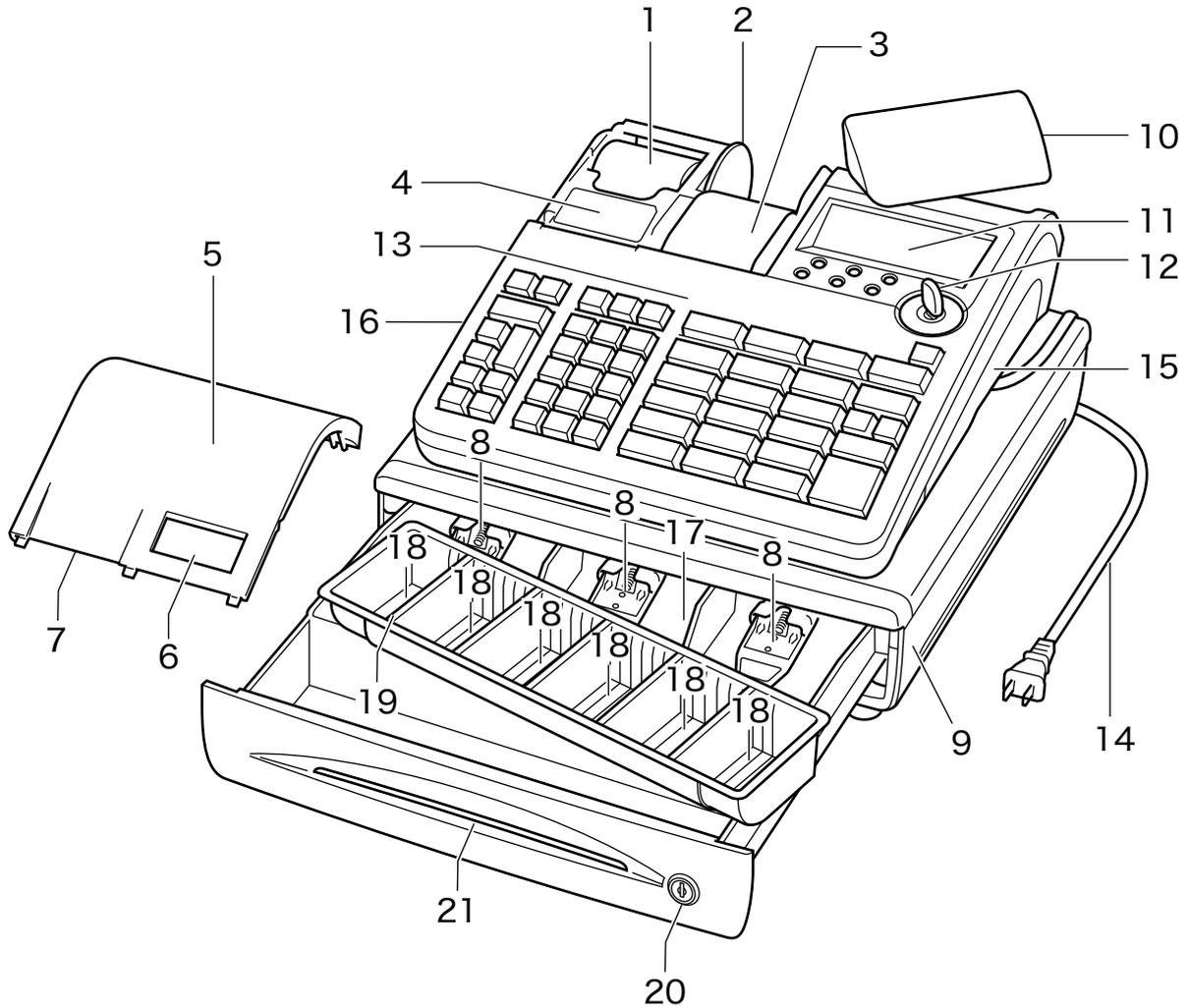
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 各部の名称と働き

## 各部の名称



- |  |   |
|--|---|
| 1 レシート (120 ページ参照)   | 11 本体表示窓 (14 ページ参照)   |
| 2 ジャーナル巻き取りホルダー  | 12 モードスイッチ  |
| 3 ジャーナル (119 ページ参照)<br>売上記録としてお店で保管します。  | 13 キーボード (12 ページ参照)   |
| 4 紙押さえ<br>確実にロックされるまで、きちんと閉じて<br>ください。完全に閉じていないとレジス<br>ターが動きません。               | 14 差し込みプラグ/電源コード  |
| 5 プリンターカバー   | 15 コネクターカバー<br>カバー内部のコネクターにスキャナー (別<br>売) を接続します。             |
| 6 ジャーナル印字確認窓<br>印字内容の確認と用紙への書き込みがで<br>きます。この窓に用紙の赤い線が見えたら<br>ロールペーパーを交換してください。 | 16 RAC スロットカバー (123 ページ参照)<br>カバー内部のスロットに電子店名スタンプ<br>を差し込みます。 |
| 7 レシート発行窓  | 17 紙幣入れ   |
| 8 札押さえ   | 18 硬貨入れ (6カ所)   |
| 9 ドロアー (引き出し)  | 19 コイントレー<br>仕切り板は取り外し、移動ができます。                               |
| 10 客用表示窓 (15 ページ参照)<br>お客様用の表示です。見やすい角度に回し<br>てください。                           | 20 ドロアーロックキー  |
|  | 21 ドロアースリット部<br>小切手や商品券などをドロアーを開けず<br>入れることができます。             |



本書では、ページの右上にこのページで説明する操作時のモードスイッチの位置を絵表示で掲載しています。右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」にしてから操作する必要があることを意味しています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

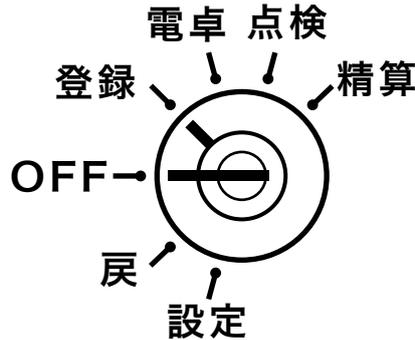
設定の仕方

こんなときは

## モードスイッチとモードキー

レジスターにはそれぞれ働きのちがう7つのモードがあります。モードキーを使ってモードスイッチ位置を切り替えます。オーナーキーとオペレーターキーでは「できること」の範囲がちがいます。

### モードスイッチ



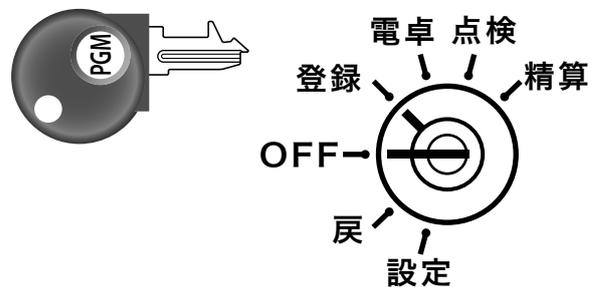
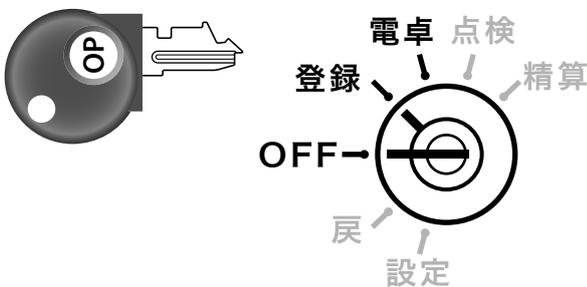
名称	機能
精算	売上の精算する (50 ページ参照)
点検	売上の点検をする (50 ページ参照)
電卓	電卓計算をする (56 ページ参照)
登録	売上の登録をする (20 ページ以降参照)
OFF	レジを使用しない
戻	返品 (戻し) をする (28 ページ参照)
設定	お店に合わせたいろいろな設定をする (58 ページ以降参照)

### モードキー

モードキーは2種類あります。

オペレーターキー (OP と刻印)

オーナーキー (PGM と刻印)



それぞれ上記濃い文字で表示したモードに廻すことができます。レジスターにモードキーを差し込むとき・外すときは、モードスイッチの位置を「OFF」か「登録」にします。

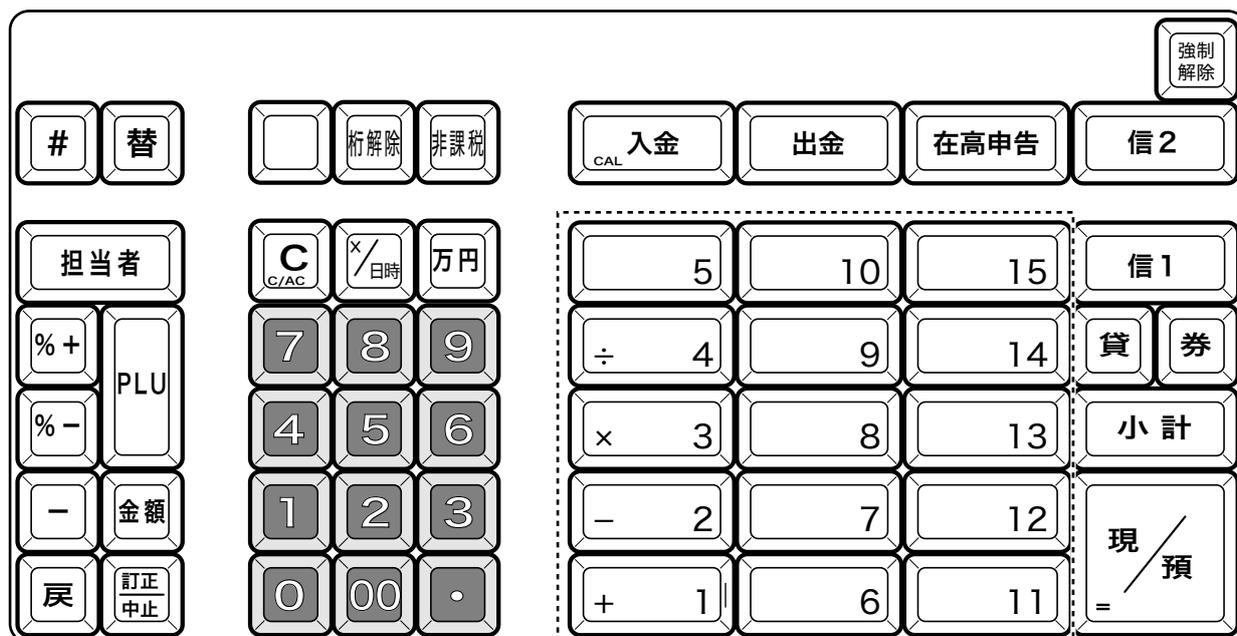
# 各部の名称と働き

## キーボード

レシート使う／使わないランプ



モードスイッチ  
11ページ



部門キー



レシート使う／  
使わないスイッチ

レシートを発行／停止します。

レシートを「使う」 : レシート使う／使わないランプが消灯時は登録ごとにレシートが発行されます。

レシートを「使わない」 : レシート使う／使わないスイッチを押すと、レシート使う／使わないランプが点灯してレシートを発行しません。

スイッチを押すごとに「レシートを使う」→「レシートを使わない」→「レシートを使う」を繰り返します。



レシート発行キー

後レシートを発行します。(39 ページ参照)



操作ガイドキー

キーを直接押すと操作ガイドのメニュー項目を印字します。知りたいメニュー番号を入力してもう一度押します。(114 ページ参照)



レシート送りキー

レシート用紙を空送りします。



ジャーナル送りキー

ジャーナル用紙を空送りします。(119 ページ参照)



領収書発行キー

領収書を発行します。(24 ページ参照)



# 不加算印字キー

不加算印字時に使います。(38 ページ参照)



替 両替キー

両替時に使います。(23 ページ参照)

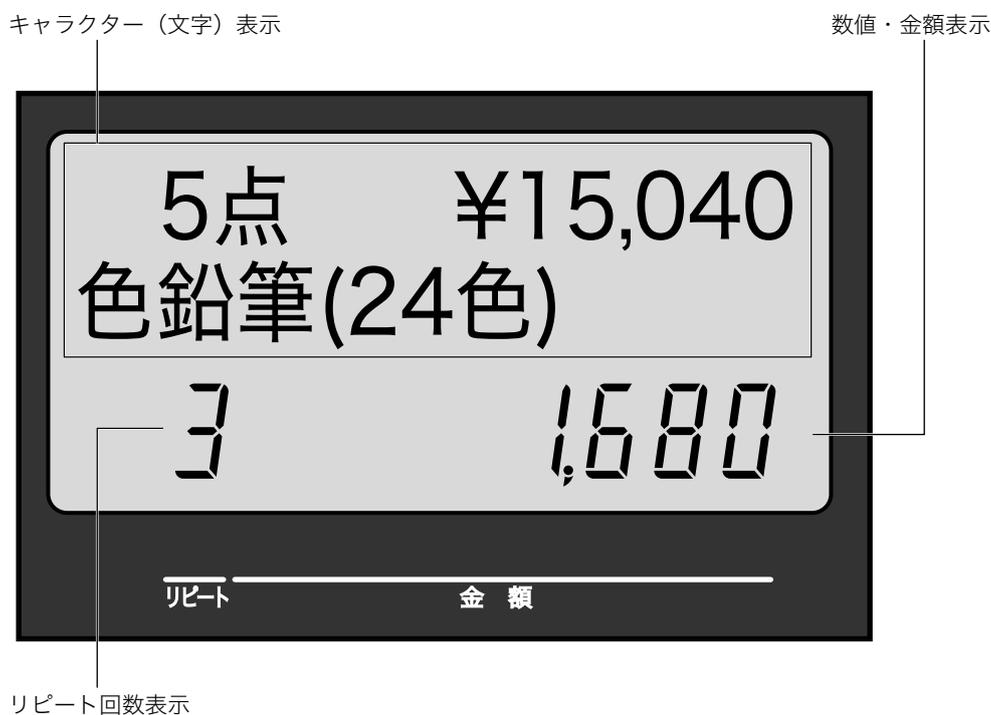
# 各部の名称と働き

	担当者キー	担当者の指定時に使います。(40 ページ参照)
	割増しキー	割増し時に使います。(43 ページ参照)
	割引きキー	割引き時に使います。(43 ページ参照)
	マイナスキー	値引き時に使います。(42 ページ参照)
	戻しキー	返品時に使います。(29 ページ参照)
	PLU キー	PLU 機能使用時に使います。(34 ページ参照)
	金額キー	品番 PLU 機能時に使います。(35 ページ参照)
	訂正/中止キー	直前訂正(27 ページ参照)または取引中止(27 ページ参照)のときに使います。
	桁解除キー	あらかじめ設定された桁制限を解除します。
	非課税キー	非課税商品を登録するときに使います。(62 ページ参照)
	クリアキー	入力をまちがったときに使います。(26 ページ参照) 電卓機能時は 2 回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン)します。
	乗算/日時キー	乗算登録(23 ページ参照)または時刻・日付を表示します。(40 ページ参照)
	万円キー	万円札を預かったときに使います。(39 ページ参照)
	置数キー	数値を入力します。
	入金キー	入金時に使います。(41 ページ参照) 電卓機能・レジ機能間の「答」などのやり取りにも使います。(57 ページ参照)
	出金キー	出金時に使います。(41 ページ参照)
	在高申告キー	在高申告時に使います。(49 ページ参照)
	部門キー	商品登録時に使います。(20 ページ参照)
	1 ~ 4 の部門キーは、電卓機能時「+」「-」「×」「÷」の計算命令キーです。(56 ページ参照)	
	強制解除キー	エラー解除のため取引を強制的に解除します。(114 ページ参照)
	信売りキー	クレジットカードの売上時に使います。(46 ページ参照)
	貸し売りキー	貸し売りの売上時に使います。(21 ページ参照)
	券売りキー	商品券の売上時に使います。(47 ページ参照)
	小計キー	登録金額の合計(中間合計)を見るときに使います。(20 ページ参照)
	現金売り/預かり金キー	登録の完了(現金での売上)および預かり金のときに使います。(20 ページ参照) 電卓機能時「=」の計算命令キーです。(56 ページ参照)

# 各部の名称と働き

## 本体表示窓／客用表示窓

### 本体表示窓



### 客用表示窓

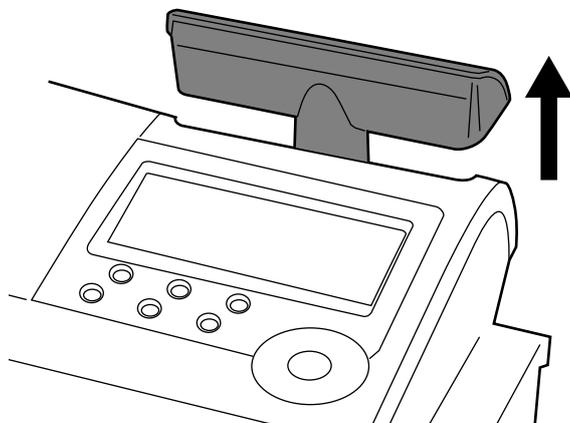


- キャラクター（文字）表示  
登録した品物の名前などを文字で表示します。半角文字で最大16文字×2行、全角文字で最大8文字×2行を表示します。
- 数値・金額表示  
金額や数量などを表示します。電卓機能時は計算数値を表示します。
- リピート回数表示  
リピート登録（22ページ参照）時にリピート回数の下1桁を表示します。

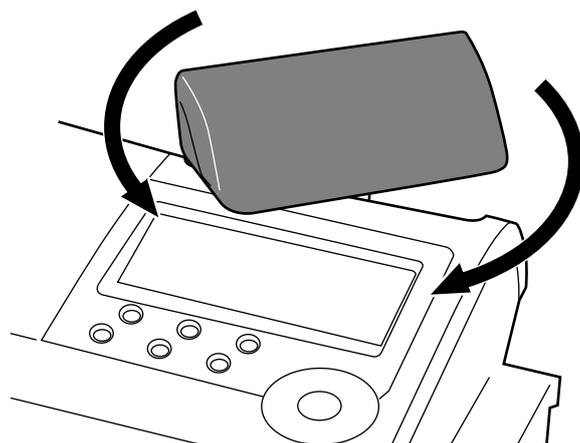
# 各部の名称と働き

## 客用表示窓の向きを変える

1 客用表示窓全体を止まるまで上に持ち上げます。



2 見やすい方向に回します。



真正面には向きません。真背面にするとレジスターの中に格納することができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# お使いになる前に

## 設置の手順

1

梱包箱から本体と付属品を取り出し、全部そろっているか確認します。

2

レジスターを水平な設置場所に置きます。

3

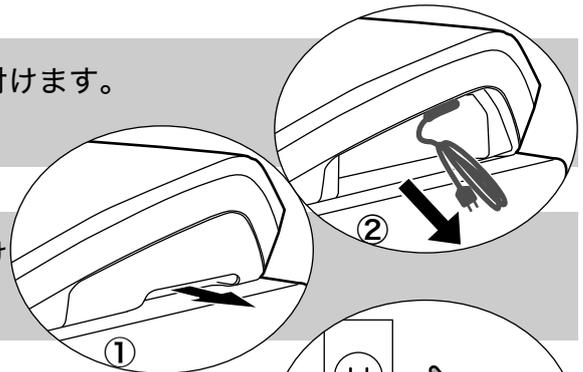
ロールペーパー（印字用ロール紙）を取り付けます。

参照  119、120 ページ

4

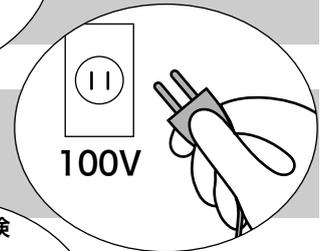
レジスター右側面のコネクターカバーを開け

①・②の手順で電源コードを取り出します。



5

差し込みプラグを家庭用 100V コンセントに  
確実に差し込みます。



6

モードキーをモードスイッチに差し込み  
「登録」にします。



7

日付と時刻を確認してちがっていたら設定します。

参照  40 ページ

参照  58 ページ

必要に応じて以下の設定をします。

参照  消費税の設定について（17 ページ）

参照  各種レート、丸めを設定する（60 ページ）

参照  商品名リストを使った設定（67 ページ）

参照  その他の設定（84 ページ）

8

これでレジスターをお使いいただけます

電子店名スタンプ（RAC-13）が届いたらレジスターに取り付けます。参照  123 ページ

# お使いになる前に

## 消費税の設定について

お店の課税方式に合わせて消費税の設定します。外税/内税/非課税のちがいは下記を参照してください。

●内税方式のお店は……  
このままご使用いただけます。

●非課税方式のお店は……

 すべての商品を非課税扱いとする (62 ページ)

●内税、外税と非課税とが混在するお店は……

 内税/外税/非課税扱いの商品が混在する (64 ページ)

奉仕料を申し受けになるお店では奉仕料の設定をします。

 奉仕料率を設定する (105 ページ)

## 消費税の計算方式

消費税の計算には3つの課税方式があります。

①内税方式	②外税方式	③非課税方式
商品金額に消費税が含まれているものを販売する方式	商品金額に消費税を付加して販売する方式	消費税を徴収しない(消費税を計算しない)で販売する方式
例：価格 1,000 円 本体価格 952 円 消費税額 48 円 合計 1,000 円 受取	例：価格 1,000 円 本体価格 1,000 円 消費税額 50 円 合計 1,050 円 受取	例：価格 1,000 円 本体価格 1,000 円 消費税額 0 円 合計 1,000 円 受取



ポイント お買い上げ商品に内税/外税/非課税対象商品が混在していても、消費税を正しく計算することができます。ご購入時の設定は消費税率5%の内税方式です。また、税額の円未満は「四捨五入」に設定されています。

# お使いになる前に

## 一日の仕事の流れ

### 開店前

- 差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認する
- ロールペーパーが充分にあるか確認する
- モードスイッチの位置を「登録」にして日付と時刻を確認する
- 釣銭用の小銭をドロアーに入れ釣銭準備金として登録する

参照  121、122 ページ

参照  40 ページ

参照  41 ページ

### 営業中

- 商品を登録する
- 必要に応じて売上を確認する

参照  20 ページ

参照  52 ページ

### 閉店後

- ドロアー内のお金を取り出し回収金登録する
- 一日の売上を印字する
- モードスイッチの位置を「OFF」にする

参照  41 ページ

参照  30 ページ

今日も一日お疲れ様でした

# レシート／ジャーナル／領収書の見方

- レシートとジャーナルの印字内容はほぼ同じです。ジャーナルは営業記録のことです。レシートには店名ロゴが印刷されます。
- レシートを発行しないときは「レシート使う／使わないスイッチ」を押してレシート発行を停止します。(12 ページ参照)
- ジャーナル用紙を節約するには、高さが半分の文字で印字する(圧縮印字)、明細を印字しない設定をする(85 ページ参照)の2つの方法があります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## レシート

御計算書		
日付/時刻	2012年02月14日 09:23	
レジ担当者	担当-A	0001-000008
部門登録	部門02	5,780
	部門01	360
	部門01	360
	部門01	360
個数/単価	10点	@128
乗算登録	部門03	1,280
PLU登録	PLU0027	880
値引き	-	-100
	部門03	2,600
	部門04	3,000
小計割引	小計	¥14,520
	%-	-5%
		-726
買上点数	17点	
内税対象額	内税対象計	¥10,944
	内税	(¥521)
非課税額	非課税合計	¥3,000
合計額	合計	¥13,794
預かり額	お預り	¥15,000
釣り銭額	お釣	¥1,206

店名ロゴ部分  
メッセージ印字も  
可能です。  
(78 ページ参照)

レジ番号/一連番号

非課税シンボル

## ジャーナル (圧縮印字例)

担当	-01	2012年02月14日09:23	0001-000008
部門	02		5,780
部門	01		360
部門	01		360

## ジャーナル (通常印字例)

部門01		360
10点		@128
部門03		1,280
PLU0027		880
-		-100
部門03		2,600
部門04	非	3,000
小計		¥14,520
%-	-5%	-726
内税対象計		¥10,944
内税	5.0%	(¥521)
非課税合計		¥3,000
合計		¥13,794
お預り		¥15,000
お釣		¥1,206
担当	-A	2012年02月14日 09:23
		0001-000008
レシート一連番号	一連No	000008
領収書一連番号	領収No	000002
領収金額		¥13,794

レシート一連番号  
領収書一連番号  
領収金額

## 領収書

領収書宛先	2012年02月14日	領収書	一連 No000008	領収金額
		様	領収 No000002	レシート一連番号
				領収書一連番号
領収書宛先		¥13,794-	税抜金額	
		(但し	消費税込	
領収書宛先		として	印	
領収書宛先		正に領収致しました)	¥521-	
領収書宛先		カシオ商店	渋谷区本町 1-6-2	
領収書宛先			電話 1234-5678	
領収書宛先			印刷面を内側に折って保管願います	

領収書用社名スタンプ、会社所在地(これらは電子店名スタンプに設定したデータを印字します)

# 基本的なレジの操作

## 商品1つを売上登録する

商品1つを現金でお買い上げになったときの例です。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,200	1	部門1	¥2,000

#### 手順

#### 表示例

#### 印字例

**1** オペレーターキー (  ) を使ってモードスイッチの位置を「登録」にします。

**2** 商品の単価を入力して部門キーを押します。

**1 2 0 0**

1点 ¥1,200 登録累計  
部門01 登録部門名  
1,200 登録金額

**3**  キーを押します。

1点 ¥1,200  
小計 合計金額  
1,200

**4** 預かり金額を入力して  キーを押して取引を締めます。(取引の終了)

**2 0 0 0**

お預り ¥2,000 預かり金額  
お釣 800 お釣り金額

2012年02月14日 09:20  
000013  
部門01 1,200  
内税対象計 ¥1,200  
内税 5.0% (¥57)  
合計 ¥1,200  
お預り ¥2,000  
お釣 ¥800

本書内の操作例は、「税率5%の内税方式」の消費税計算(円未満は「四捨五入」)での記載です。内税方式だけでなく、外税方式、非課税方式および内税、外税、非課税方式が混在しているときも操作方法は同じです。(印字内容は異なることがあります。)

## 商品3つを売上登録する

商品3つを貸し売り（掛け売り）でお買い上げになったときの例です。

### 操作例

単価	数量	部門キー	貸し売り
¥300	1	部門1	¥2,100
¥800	1	部門2	
¥1,000	1	部門3	

### 手順

**1** 商品の単価を入力して部門キーを押します。商品の数量分繰り返します。

3 0 0 1

8 0 0 2

1 0 0 0 3

**2** 小計 キーを押します。

小計

**3** 貸 キーを押します。

貸

### 表示例

1 点 ¥300  
部門 01  
300

2 点 ¥1,100  
部門 02  
800

3 点 ¥2,100  
部門 03  
1000

3 点 ¥2,100  
小計  
2,100

貸  
2,100

### 印字例

2012年02月14日 09:35  
000014

部門01 300  
部門02 800  
部門03 1,000

内税対象計 ¥2,100  
内税 5.0% (¥100)

貸 ¥2,100

# 基本的なレジの操作

## 同じ商品をいくつか売上登録する（リピート）

同じ商品を複数お買い上げになったときの例です。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	3	部門 2	¥2,000
¥500	2	部門 1	

### 手順

**1** 商品の単価を入力して部門キーを押します。商品の数量分該当する部門キーを繰り返して押します。

**300**

(2個目の登録)

(3個目の登録)

### 表示例

1点 ¥300  
部門 02  
300

2点 ¥600  
部門 02  
2 300

リピート回数

3点 ¥900  
部門 02  
3 300

4点 ¥1,400  
部門 01  
500

5点 ¥1,900  
部門 01  
2 500

**2** 商品の単価を入力して部門キーを押します。商品の数量分該当する部門キーを繰り返して押します。

**500**

(2個目の登録)

**3**  キーを押します。

5点 ¥1,900  
小計  
1,900

**4** 預かり金額を入力して  キーを押します。

**2000**

お預り ¥2,000  
お釣  
100

### 印字例

2012年02月14日 09:50  
000017

部門 02	300
部門 02	300
部門 02	300
部門 01	500
部門 01	500
内税対象計	¥1,900
内税 5.0%	(¥90)
合計	¥1,900
お預り	¥2,000
お釣	¥100

**▲注意** 10回以上のリピート回数は下1桁のみ表示されます。

## 同じ商品をたくさん売上登録する（乗算登録）

同じ商品をたくさん（1ダースなど）お買い上げになったときの例です。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	12	部門 1	¥10,000

### 手順

1 商品の数量を入力して  $\frac{\times}{\text{日時}}$ 、単価、部門キーの順に押します。

1 2  $\frac{\times}{\text{日時}}$

2 0 0 1

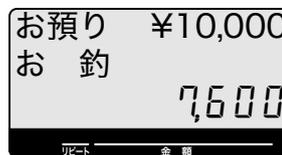
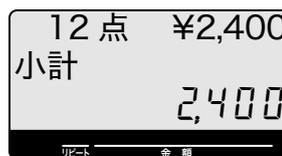
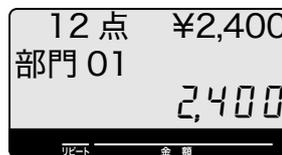
2  $\frac{\text{小計}}$  キーを押します。

$\frac{\text{小計}}$

3 預かり金額（万円券キー）を入力して  $\frac{\text{現/預}}$  キーを押します。

万円  $\frac{\text{現/預}}$

### 表示例



### 印字例



- 乗算登録の「数量」の範囲は「0.001～9999.999」です。「数量×単価」という入力順番を入れ替えて「単価×数量」にすることもできます。(33ページ)
- ご購入時は「数量×単価」の順です。

## 両替をする（ドローアを開ける）

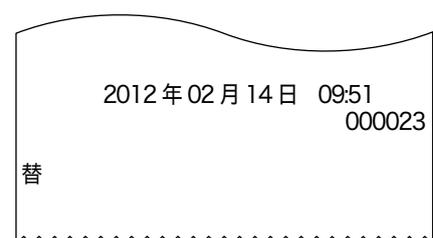
両替のためにドローアを開けるときの操作です。

### 手順

1  $\frac{\text{替}}$  を押します。ドローアが開きます。

$\frac{\text{替}}$

### 印字例



登録中は操作できません。(誤操作エラー)

# 領収書発行の操作

領収書を発行するときは、売上レシートを発行した後に **領収書発行** キーを使用します。「レシート使う/使わない」スイッチが「使わない」のときでも領収書が発行できます。

## 領収書を発行する

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥500	10	部門4	¥40,000
¥2,000	1	部門2	
¥25,000	1	部門1	

登録の後領収書を発行する

### 手順

1 商品を登録します。

**10** 日時 **5000**

**2000**

**250000**

小計

**4** 万円 現/預

2 **領収書発行** キーを押します。

**領収書発行**

### 印字例

**カシオ商店**

渋谷区本町 1-6-2  
電話 1234-5678

2012年02月14日 10:02

000025 ← レシート一連番号

10点	@500
部門04	5,000
部門02	2,000
部門01	25,000
内税対象計	¥32,000
内税 5.0%	(¥1,524)
合計	¥32,000
お預り	¥40,000
お釣	¥8,000

2012年02月14日

**領 収 書**

**様**

**¥32,000-**

(但し 正に領収致しました) として

**カシオ商店**

渋谷区本町 1-6-2  
電話 1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

一連 No000025 ← レシート一連番号

領収 No000004 ← 領収書一連番号

税抜金額 ¥30,476-

消費税等 ¥1,524

収入印紙

収入印紙貼付欄

お客様名を記入します →

但し書きの名称を設定できます。(61 ページ) 手書きするときは「無し」を設定してください。

領収額中の税額  
領収書一連番号

**注意** 領収書には電子店名スタンプ(123ページ)で自店専用のロゴを印字することができます。電子店名スタンプは、同梱の電子店名スタンプ申込書にご記入の上ご発注ください。

- ポイント** 収入印紙貼付欄は合計金額が 31,500 円以上で自動で印字されます。印紙の必要額に変更が生じたとき設定変更してください。(91 ページ)
- 日計明細レポートでは、収入印紙貼付の有無の領収書の発行枚数/発行金額を分けて集計します。

## 金額指定の領収書を発行する

別のお客様のお買い上げ処理が終わってから前のお客様に領収書発行を依頼されたときは、お客様のお買い上げ金額を入力して領収書を発行します。

### 手順

### 印字例

1 領収書の額面金額を入力して  キーを押します。

**5000** 

2012年02月14日	領収書	一連 No000027 領収 No000006
様		
¥5,000-		
(但し	として	印
正に領収致しました)		
カシオ商店	渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678	
印刷面を内側に折って保管願います		



金額指定の領収書を発行するときは、登録操作が完了しているときに金額を入力して  キーを押します。このとき税額は印字されません。

## レシート、ジャーナル用紙について

- 領収書の発行、ジャーナルの保存には高保存タイプのロールペーパーを使用することをおすすめします。
- 収入印紙貼付後や捺印後は完全に乾くまでこすらないでください。
- 未使用の感熱記録紙（サーマル用紙）の保管、印字後のジャーナルの保存には光の当たる場所は避けてください。
- お客様に領収書をお渡しするときは、お客様の手を汚さないように印字面を内側にして2つ折りにしてお渡しください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# キー操作をまちがったとき

キー操作をまちがったときは **C/AC** キーと **訂正中止** キーで訂正します。**C/AC** キーで **1** ~ **9**、**0**、**00** の数字キーのまちがいを、その他のまちがいは **訂正中止** キーで訂正します。**訂正中止** キーで訂正できないまちがいもあります。

## 部門キー、取引キーを押す前の訂正

部門キー、取引キーを押す前はすべて **C/AC** キーで訂正します。

### 操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥120	1	部門 1	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門 1	
③	¥105	10	部門 2	

上記の登録途中操作をまちがった

#### 操作例①

単価入力をまちがった

##### 手順

1 **C/AC** キーを押します。

**1 2 0 0** **C/AC**

2 正しい単価を入力して部門キーを押します。

**1 2 0** **1**

#### 操作例②

数量をまちがって **X/日時** キーを押した（単価入力して **X/日時** キーを押した）

##### 手順

1 **C/AC** キーを押します。

**2 0 0** **X/日時** **C/AC**

2 正しい単価を入力して部門キーを押します。

**5** **X/日時** **2 0 0** **1**

#### 操作例③

乗算時単価入力をまちがった

##### 手順

1 **C/AC** キーを押します。

**1 0** **X/日時** **1 5 0** **C/AC**

2 正しい単価を入力して部門キーを押します。

**1 0** **X/日時** **1 0 5** **2**

#### 操作例④

預かり金額をまちがった

##### 手順

1 **C/AC** キーを押します。

小計 **5 0 0 0** **C/AC**

2 正しい単価を入力して部門キーを押します。

小計 **3 0 0 0** **現/預**

## 部門キーを押した後の訂正（直前訂正）

部門キーを押した直後は **訂正中止** キーで訂正します。

### 操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥505	1	部門 1	¥2,000
②	¥230	3	部門 3	

上記の登録途中操作をまちがった

### 手順

①まちがった単価で部門登録をした

1 **訂正中止** キーを押します。

**550**  **訂正中止**

2 正しく単価を入力して部門キーを押します。

**505**

②乗算時、まちがった単価で部門登録をした

1 **訂正中止** キーを押します。

**3**  **220**  **訂正中止**

2 正しく単価を入力して部門キーを押します。

**3**  **230**

3 **小計** キーを押し、預かり金を入力して **現/預** キーを押します。

**小計** **2000** **現/預**

### 印字例

2012年02月14日 10:35		000037
部門01	3点	505 @230
部門03		690
内税対象計		¥1,195
内税	5.0%	(¥57)
合計		¥1,195
お預り		¥2,000
お釣		¥805

## 登録途中の商品すべての訂正（取引中止）

登録をもう一度やり直すときは、**小計 訂正中止** キーで一括訂正してから再度登録します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥350	12	部門 4	-
¥1,280	1	部門 2	

### 手順

1 登録します。

**12**  **350**  **1280**

2 **小計** キーを押してから、**訂正中止** キーを押します。

**小計** **訂正中止**

### 印字例

2012年02月14日 10:41		000040
12点		@350
部門04		4,200
部門02		1,280
取引中止		.....

**注意** **小計** キーは必ず押してください。押し忘れると最終行だけが訂正されます。

レシート発行後のまちがいや商品の返品があったときは《返品戻し処理》をします。  
返品戻し処理には、《取引終了後の返品》と《取引中の返品》の2種類があります。

## 取引終了後の返品

取引を終了した商品（レシート発行済の商品）の「返品戻し」は、モードスイッチの位置を「戻」にして商品を売上登録したときと同じ操作をします。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥780	2	部門 1	現金
¥1,280	1	部門 3	

### 手順

- 1 オーナーキー (  ) を使ってモードスイッチの位置を「戻」にします。
- 2 商品を登録します。  

<b>780</b>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>
<b>1280</b>	<input type="text" value="3"/>	
<input type="text" value="小計"/>	<input type="text" value="現/預"/>	
- 3 モードスイッチの位置を「登録」にします。
- 4 オーナーキーを抜きます。  
(必要があればオペレーターキーと差し替えます。)

### 印字例

戻	2012年02月14日 10:50	
		000045
部門 01		780
部門 01		780
部門 03		1,280
内税対象計		¥2,840
内税	5.0%	(¥135)
現金		¥ 2,840

(戻しモードの「戻」は、日付) と時刻の行に印字されます)



戻モードの処理が終わったら、モードスイッチの位置を「登録」に戻してください。オーナーキーは精算操作など各種設定ができます。取り付けたままにしないよう注意してください。

## 取引中の返品

売上処理中の商品の返品や訂正は、モードスイッチの位置を「登録」のまま **戻** キーを使って処理します。**現/預** キーを押した後のまちがいは、前ページ「取引終了後の返品」を参照してください。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥720	1	部門4	現金
¥1,530	2	部門2	
返品処理→¥720	1	部門4	

### 手順

1 商品を登録します。

**720**  **1530**

2 **戻** キーを押して返品する商品を登録します。

**戻**

**720**

3 **小計** キーと **現/預** キーを押します。

**小計** **現/預**

### 印字例

2012年02月14日 10:53		000048
部門04		720
部門02		1,530
部門02		1,530
戻		.....
部門04		-720
内税対象計		¥3,060
内税	5.0%	(¥146)
現金		¥3,060

# 閉店後の操作

閉店後に当日の売上を精算します。精算後は、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除き印字された内容がクリアされます。このレジスターで発行できるレポートについては「点検と精算の操作と印字例」(50 ページ)を参照してください。

## 1日の売上レポートを印字する

### 手順

日計明細の精算は、オーナーキー (🔑) を使ってモードスイッチの位置を「精算」にして [現/預] キーを押します。

### 印字例

精算	2012年02月14日	17:53	—	日付/時刻
担当-A		0001-000248	—	★責任者名/マシン番号/一連番号
固定合計器		精算レポート	—	レポートタイトル/モード
日計	0001011	Z 0002	—	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数
-----				
総売上		1060点	—	総売上 { 個数
		¥524,966	—	{ 金額 * 1
純売上		158件	—	総売上 { 件数
		¥498,747	—	{ 金額 * 2
現金在高		¥405,361	—	現金在高
現計		¥405,360	—	現金在高申告値
現金-		¥1	—	在高過不足 (ーは不足、+は過剰を示す)
貸在高		¥40,295	—	貸し売り在高
商品券在高		¥2,890	—	商品券在高
信在高		¥37,405	—	信用売り在高
-----				
戻モード		1件	—	「戻」モード { 件数
		¥6,372	—	{ 金額
万円		17枚	—	万円券枚数
サービス		¥376	—	5円/10円丸め合計
取引中止		2件	—	取引中止 { 件数
		¥297	—	{ 金額
電卓		18件	—	電卓モードの計算回数
領収書 印紙		1件	—	印紙付き領収書 { 件数
		¥36,372	—	{ 金額
領収書		2件	—	印紙無し領収書 { 件数
		¥23,563	—	{ 金額
-----				
内税対象計		¥330,584	—	内税 { 対象額 (税込み)
内税	5.0%	¥15,742	—	{ 消費税額
消費税合計		¥15,742	—	
非課税合計		¥153,051	—	非課税額合計
1万円札	15枚	¥150,000	—	在高申告値
		¥15,000	—	
-----				
取引		精算レポート	—	レポートタイトル/モード
日計	0001012	Z 0002	—	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数
-----				
現金		48件	—	現金売上 { 件数
		¥405,381	—	{ 金額
貸		5件	—	貸し売上 { 件数
		¥40,295	—	{ 金額
券		1件	—	商品券売上 { 件数
		¥2,890	—	{ 金額
外ヅツ		3件	—	外ヅツ売上 { 件数
		¥37,405	—	{ 金額
入金		1件	—	入金 { 件数
		¥10,000	—	{ 金額

●この印字例の中をはじめ、50ページ以降の点検／精算レポートで印字される各項目の間には以下の関係式があります。

- \* 1 総売上 = 部門合計 + 部門リンクしていない PLU 合計 : 個数、金額とも (97 ページ参照)
- \* 2 純売上 = 現金売上額 + 貸し売上 + 商品券売上  
= 総売上 - 値引き - 割引き - 5円 / 10円丸め合計  
(= お客様の支払い額の総合計)
- \* 3 現金在高 = 現金売上 + 入金合計 - 出金合計 (券売りでお釣りがないとき)  
= 総売上 - 値引き - 割引き = 内税対象額 + 非課税額合計

%-	1 件	割引き	{ 件数 金額
	¥9,234		
戻	3 件	戻 キー	{ 回数 金額
	¥10,873		
訂正	6 件	直前訂正	{ 回数 金額
	¥4,905		
レシート	19 件	レシート発行件数	
替	3 件	両替回数	
.....			
部門	精算レポート	レポートタイトル/モード	
日計	0001015 Z 0002	レポートタイトル、コード/精算シンボル/精算回数	
-----			
部門 01		部門 <input type="checkbox"/>	{ ★構成比/個数 ★構成比/金額
個数 47.64%	505 点		
金額 44.04%	¥231,167		
部門 02		部門 <input type="checkbox"/>	
個数 38.77%	411 点		
金額 39.75%	¥208,689		
部門 03			
-----			
合計			
個数	1060 点		
金額	¥524,966		

 **ポイント** 「構成比」は、それぞれの総合計に占める個々の割合のことです。計算結果の小数第3位以下は切り捨てです。

★印の項目を印字するには、設定の変更が必要です。(85 ページ参照)

※個数や件数、金額がすべて“0”のとき印字をスキップします。

# 部門キーの便利な使い方

## 単価を設定した商品を登録する

よく使う商品単価を部門キーに設定できます。設定した単価の商品を登録するときは単価の置数は不要です。直接そのキーを押してください。

商品単価を部門キーに設定するときは、「商品単価を設定する」(59 ページ) を参照してください。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥800 (キーに設定済み)	1	部門 2	¥6,000
¥1,200	1	部門 2	
¥800 (キーに設定済み)	4	部門 2	

### 手順

**1** 部門キーを押すと設定された単価で登録されます。

**2** ちがう単価で登録するときは、新しい単価を入力して部門キーを押します。

**3** 乗算登録時も同様です。

**4**  キーを押します。

**5** 預かり金額を入力して  キーを押します。

### 表示例

1 点 ¥800  
部門 02  
800

2 点 ¥2,000  
部門 02  
1,200

6 点 ¥5,200  
部門 02  
3,200

6 点 ¥5,200  
小計  
5,200

お預り ¥6,000  
お釣  
800

### 印字例

2012年02月14日 11:12  
000062

部門 02	800
部門 02	1,200
4 点 @800	3,200
部門 02	3,200
内税対象計	¥5,200
内税 5.0%	(¥248)
合計	¥5,200
お預り	¥6,000
お釣	¥800



部門キーに設定されている単価がちがうときは、単価を入力して部門キーを押します。このとき、部門キーに設定されている単価は消去されません。

## 単価×数量の順で登録する

「単価×数量」の順で入力します。乗算の入力順を設定するときは、「乗算キーの機能（操作順と端数処理）を設定する」（103ページ）を参照してください。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門1	¥10,000
¥160	5	部門2	
¥500（キーに設定済み）	10	部門3	

### 手順

**1** 単価を入力して  $\times/\text{日時}$  キーを押し、数量を入力して部門キーを押します。

3 8 0  $\times/\text{日時}$  8 1

1 6 0  $\times/\text{日時}$  5 2

### 表示例

8点 ¥3,040  
部門01  
3,040

13点 ¥3,840  
部門02  
800

23点 ¥8,840  
部門03  
5,000

### 印字例

2012年02月14日 11:15  
000065

8点 @380  
部門01 3,040  
5点 @160  
部門02 800  
10点 @500  
部門03 5,000

内税対象計 ¥8,840  
内税 5.0% (¥421)

合計 ¥8,840  
お預り ¥10,000  
お釣 ¥1,160

**2** 設定単価を使うときは、 $\times/\text{日時}$  キーを押す前の単価入力は不要です。

$\times/\text{日時}$  1 0 3

**3** 小計 キーを押します。

小計

23点 ¥8,840  
小計  
8,840

**4** 預かり金額を入力して  $\text{現/預}$  キーを押します。

万円 現/預

お預り ¥10,000  
お釣  
1,160

#### ▲注意

- ・「単価×数量」の順で乗算登録できるのは、部門キーだけです。この機能を使用すると「PLUの乗算登録」、「スキャンニングPLUの乗算登録」、「時刻・日付の表示」はできません。
- ・ご購入時は「数量×単価」の順です。

# PLU の使い方

## PLU とは？

設定されている商品単価や商品名を番号（品番など）を指定して呼び出して登録する機能です。PLU はプライス・ルック・アップの略で、価格（プライス）を探して（ルック）登録する（アップ）という意味があります。PLU 個々の売上金額と個数を集計することができ、商品単品の売上状況を確認することができます。

PLU はご購入時 5,000 本あります。このうち 4,784 本をスキャンング PLU として使用します。



PLU 機能を使用する前に、「商品単価を PLU（スキャンング PLU）に設定する」（59 ページ）、「PLU の商品名をリストから選んで設定する」（67 ページ）、「PLU へ商品名を設定する」（75 ページ）を参照して商品単価・商品名を設定してください。

## PLU を使って登録する

### 操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	200	¥10,000
¥150	12	150	
¥1,200	2	109	

### 手順

**1** PLU 番号を入力して **[PLU]** キーを押すと設定された単価で登録されます。

**200** **[PLU]**

**2** 乗算登録は最初に個数を入力します。

**12** **[x/日時]** **150** **[PLU]**

**3** リピート登録は個数分 **[PLU]** キーを押します。

**109** **[PLU]** **[PLU]**

**4** レシートを発行します。

**小計** **万円** **現/預**

### 表示例

1 点 ¥2,000  
PLU0200  
2,000

13 点 ¥3,800  
PLU0150  
1,800

15 点 ¥6,200  
PLU0109  
2 1,200

お預り ¥10,000  
お釣  
3,800

### 印字例

2012年02月14日 11:25  
000067

PLU0200	2000
12 点	@150
PLU0150	1,800
PLU0109	1,200
PLU0109	1,200
内税対象計	¥6,200
内税 5.0%	(¥295)
合計	¥6,200
お預り	¥10,000
お釣	¥3,800

## 品番 PLU 機能とは？

品番 PLU は、同じジャンルの商品でもアイテムごとに異なる単価を持つもの（例えば精肉や鮮魚など、アイテムの重さで単価が異なるもの）の登録時に使用します。品番 PLU を使うには [PLU] キーのほかに [金額] キーが必要です。

個々の PLU に「品番 PLU」として使用する／使用しないの設定があります。品番 PLU として使用するには、該当 PLU は「品番 PLU として使用する」と設定する必要があります。

**▲注意** 品番 PLU 機能を使用する前に、「PLU に品番 PLU を設定する」(98 ページ) を参照して品番 PLU を設定してください。

## 品番 PLU を使って登録する

### 操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	303 (品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480 (単価設定済み)	1	232 (品番 PLU 設定済み)	

### 手順

**1** 品番を入力して [PLU] キーを押し、単価を入力して [金額] キーを押します。

**3 0 3** [PLU] **8 5 0** [金額]

**2** リピート登録は個数分 [金額] キーを押します。

[金額]

**3** 乗算登録では最初に個数を入力します。

**9** [×/日時] **2 8** [PLU] **9 8**

[金額]

**4** 設定単価を使うときは単価を入力せずに [金額] キーを押します。

**2 3 2** [PLU] [金額]

**5** レシートを発行します。

[小計] **4 0 0 0** [現/預]

### 表示例

1 点 ¥850  
PLU0303  
850

2 点 ¥1,700  
PLU0303  
2 850

11 点 ¥2,582  
PLU0028  
11 882

12 点 ¥3,062  
PLU0232  
12 480

お預り ¥4,000  
お釣 938

### 印字例

2012年02月14日 11:27  
000069

PLU0303 850  
PLU0303 850  
9点 @98  
PLU0028 882  
PLU0232 480

内税対象計 ¥3,062  
内税 5.0% (¥146)

合計 ¥3,062  
お預り ¥4,000  
お釣 ¥938

# スキャンニング PLU の使い方

## スキャンニング PLU とは？

商品に貼付されたバーコードラベルをスキャナーで読み取り商品を登録します。本機はご購入時 4,784 本のスキャンニング PLU を持っています。

スキャンニング PLU はレジスターに別売のスキャナーを接続して使用します。バーコードを読み取りできないときは、キーボードからバーコードラベルに書かれた数字を入力して **PLU** キーを押します。

JAN-8/13 タイプ・EAN-8/13 タイプ・UPC-A タイプ・UPC-E タイプのバーコードに対応しています。



レジスターにスキャナーを接続するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いて作業してください。スキャナーはコネクターカバー内のスキャナーポートに接続します。

## スキャンニング PLU の自動学習機能

従来はスキャンニング PLU を使用するには事前のスキャンニング PLU マスター登録（設定）が必要でした。本機は学習機能を搭載し、未設定のスキャンニング PLU アイテムをスキャンしたときは、単価とリンクさせる部門キーの入力だけで売上登録と同時にスキャンニング PLU マスターに登録します。



スキャンニング PLU の設定単価、リンク部門を変更できます。「商品単価を PLU (スキャンニング PLU) に設定する」(59 ページ)

スキャンニング PLU マスターがいっぱいになると、いちばん古い登録のスキャンニング PLU を新しく登録したスキャンニング PLU に置換します。



未設定のスキャンニング PLU アイテムをスキャンしたときは、**calc C** キーを押さずに単価やリンク部門を入力してください。

# スキャンニング PLU の使い方



## スキャンニング PLU の売上 (新規登録 : 未学習)

### 操作例

単価	数量	リンクする部門キー	預かり金
¥570	1	商品 A (未設定、部門 3)	¥5,000
¥760	4	商品 B (未設定、部門 3)	

### 手順

1 商品 A のバーコードをスキャンニングします。(スキャンニング)

新規商品です。  
単価を入れて部門  
0

2 ガイダンスにしたがって単価を入力し、リンクする部門キーを押します。

5 7 0 3

1 点 ¥570  
部門 03  
570

3 乗算登録では商品 B の数量を入力して  $\times$ /日時 キーを押し、スキャンニングします。

4  $\times$ /日時 (スキャンニング)

新規商品です。  
単価を入れて部門  
0

4 ガイダンスにしたがって単価を入力し、リンクする部門キーを押します。

7 6 0 3

5 点 ¥3,610  
部門 03  
3,040

5 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 0 現/預

お預り ¥5,000  
お釣 1,390

### 印字例

2012年02月14日 11:40  
000074  
部門03 570  
4点 @760  
部門03 3,040  
内税対象計 ¥3,610  
内税 5.0% (¥172)  
合計 ¥3,610  
お預り ¥5,000  
お釣 ¥1,390

## スキャンニング PLU の売上 (既存 : 学習済)

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥760	1	商品 B (設定済み、部門 3)	¥3,000
¥850	2	商品 C (設定済み、部門 4) コード番号 4905360102547	

### 手順

1 スキャンニングすると登録されます。(スキャンニング)

2 スキャナーで読み取りできないときは、バーコードを入力し  $\square$  PLU キーを押します。

4 9 0 5 3 6 0 1 0 2 5 4 7  $\square$  PLU

3 リピート登録は個数分  $\square$  PLU キーを押します。

$\square$  PLU

4 レシートを発行します。

小計 3 0 0 0 0 現/預

### 印字例

2012年02月14日 11:40  
000075  
部門03 760  
部門04 850  
部門04 850  
内税対象計 ¥2,460  
内税 5.0% (¥57)  
合計 ¥2,460  
お預り ¥3,000  
お釣 ¥540

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# コード印字（不加算印字）の使い方

## 不加算印字キーを使う

お買い上げ金額に関係のない伝票番号、商品コード、お客様番号などの数値を印字するときは **#** キーを使用します。これを《不加算印字》と言います。数値は最大 16 桁まで印字できます。

### 操作例

お客様番号 <1001> に下記の商品売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門 1	¥20,000
¥3,500	1	部門 3	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門 2	

### 手順

**1** お客様の番号を不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

**1 0 0 1** **#**

**1 2 3 0** **1**

**3 5 0 0** **3**

**2** 商品コードを不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

**5 3 3 4 4 8 3 0** **#**

**8 8 0 0** **2**

**3** レシートを発行します。

小計 **2** 万円 現/預

### 印字例

# 1001

2012年02月14日 11:40  
000074

部門 01 1,230  
部門 03 3,500  
# 53344830  
部門 02 8,800

内税対象計 ¥13,530  
内税 5.0% (¥644)

合 計 ¥13,530  
お預り ¥20,000  
お 釣 ¥6,470

—不加算印字

## 万円キーを使う

1万円札をお預かりしたときに [万円] キーを使用します。受け取った1万円札の枚数を入力して [万円] キーを押します。1万円未満の金額は [万円] キーに続けて入力します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門3	¥30,600
¥20,550	1	部門4	

### 手順

1 商品を登録します。

1 00 00 [ ] 3

2 0 5 5 0 [ ] 4

2 預かり金を入力します。

小計 3 万円 6 0 0 現/預

### 印字例

2012年02月14日 12:44		000176
部門03		10,000
部門04		20,550
内税対象計		¥30,550
内税	5.0%	(¥1,455)
合計		¥30,550
お預り		¥30,600
お釣		¥50



ドローア内にあるべき1万円札の枚数を、点検/精算レポート上の万券枚数で印字します。 [万円] キーを商品登録に使用することもできます。

## レシート発行キーを使う (後レシート)

レシートを要求されたときだけレシートを発行するときは、「レシート使う/使わないスイッチ」を「使わない」にして必要に応じて [レシート発行] キーを押して後からレシートを発行します。

### 操作例

「レシート使う/使わないスイッチ」を「使わない」にして下記の登録後にレシートを発行する

単価	数量	部門キー	預かり金
¥150	5	部門2	¥1,500
¥550	1	部門4	

### 手順

1 商品を登録します。

5 [x/日時] 1 5 0 [ ] 2

5 5 0 [ ] 4

小計 1 5 0 0 現/預

2 [レシート発行] キーを押して後レシートを発行します。

[レシート発行]

### 印字例

2012年02月14日 12:47		000178
5点		@150
部門02		750
部門04		550
内税対象計		¥1,300
内税	5.0%	(¥62)
合計		¥1,300
お預り		¥1,500
お釣		¥200

**注意** ご購入時の設定では、レシートを発行した取引の後レシートは発行できません。

# 日付と時刻の表示／担当者の指定と解除

## 日付と時刻を表示する

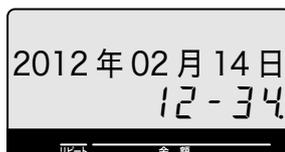
モードスイッチ位置が「登録」または「戻」モードでかつ登録途中でないときに、**X/日時** キーを押すと日付と時刻を表示します。日付と時刻の表示中に他の操作を始めるときは **C/AC C** キーを押して表示を消します。日付と時刻のセットは「日付や時刻をセットする」(58ページ)を参照してください。

### 手順

1 日付・時刻を確認します。



### 表示例



年-月-日  
時 (24時間制) - 分  
1秒ごとの点滅

### 印字例

(これらの操作で印字はしません)

2 日付・時刻表示を解除します。



## 担当者の指定・解除をする

レシートに担当者名を印字する、担当者別売上を取るなどの要望があるときは「担当者を使用する」(86ページ)を参照して設定してください。この機能を使うには登録開始時に担当者の指定が必要となります。

### 操作例

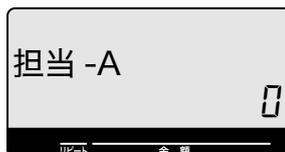
- ①担当 -A を指定 (サインオン) する
- ②担当 -A を解除 (サインオフ) する
- ③担当 -B を指定 (サインオン) する

### 手順

1 担当者 -A の番号 (ご購入時は0001) を入力して、担当者キーを押します。



### 表示例



### 印字例

(これらの操作で印字はしません)

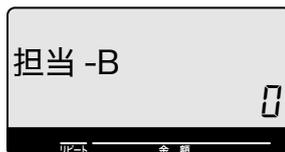
サインオンすると、表示窓に担当者名を表示して、商品登録できるようになります。

2 “0” を入力して、担当者キーを押します。



サインオフすると、担当者の指定が解除されて商品登録できなくなります。

3 担当者 -B の番号 (ご購入時は0002) を入力して、担当者キーを押します。



別の担当者をサインオンするには、前の担当者がサインオフされている必要があります。



- ・「担当者番号を設定する」(104ページ)、「レジ担当者の名前を設定する」(76ページ)も参照してください。
- ・表示窓の担当者番号を表示しないときは、担当者番号入力の前に **担当者** キーを押します。
- ・ご購入時は担当者の指定は必要ありません。

## 入金キーを使う

貸し売り代金の受け取りや釣銭用小銭の補充など、売上と関係ない現金の入金（現金をドロアーに入れること）ときは入金キーで登録します。

### 操作例

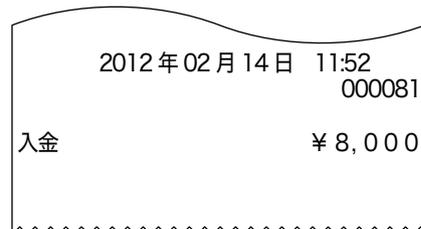
釣り銭準備として 8000 円をドロアーに入れる

#### 手順

1 入金額を置数して **入金** キーを押します。

**8000** **入金**

#### 印字例



**ポイント** 「入金」処理をすることで「点検・精算」時にドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

## 出金キーを使う

集金やドロアーがいっぱいになったときなど、売上（お釣りや両替）と関係ない現金の出金（現金をドロアーから出すこと）ときは出金キーで登録します。

### 操作例

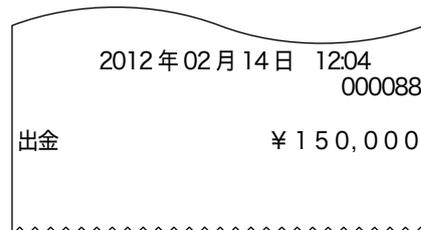
1万円札を 15 枚ドロアーから金庫に移す

#### 手順

1 出金額を置数して **出金** キーを押します。

**15** **万円** **出金**

#### 印字例



**ポイント** 「出金」処理をすることで「点検・精算」時にドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 値引きキーの使い方

## 値引きをする

商品の値引き、または合計の値引きが発生したときは **[-]** キーで登録します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門1	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門3		

### 手順

1 商品を登録します。

**1000**

**2500**

2 **[-]** キーを押します。

**500** **[-]**

3 レシートを発行します。

小計 **5000**

### 印字例

2012年02月14日 12:18		000093
部門01		1,000
部門03		2,500
-		-500
内税対象計		¥3,000
内税	5.0%	(¥143)
合計		¥3,000
お預り		¥5,000
お釣		¥2,000



**ポイント** **[-]** キーに、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。値引き金額を入力すると **[-]** キーに設定した金額に関わらずその金額で値引きをします。**[-]** キーの設定は「割引率、ドルレートをキーに設定する」(60ページ)を参照してください。

## 商品金額ごとに割引をする

割引対象商品登録のすぐ後に **[%-]** キーを押します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門1	5%(設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門3	7.5%	

### 手順

1 **[%-]** キーを押すと直前の登録金額から割引計算をします。

**1000**

**[%-]**

2 **[%-]** キーの直前に割引率を入力することもできます。

**2500**

**7.5** **[%-]**

3 レシートを発行します。

小計 **5000**

### 印字例

2012年02月14日 12:20		000095
部門01		1,000
%-	-5%	-50
部門03		2,500
%-	-7.5%	-188
内税対象計		¥3,262
内税	5.0%	(¥155)
合計		¥3,262
お預り		¥5,000
お釣		¥1,738

## 合計金額から割引きをする

合計金額の割引きが発生したときは、**小計** キーを押した後すぐに **%-** キーを押します。

### 操作例

単価	数量	部門キー	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		

### 手順

1 商品を登録します。

**1000**

**2500**

2 **小計** キーを押し、割引き率を入力して **%-** キーを押します。

**小計** **10** **%-**

3 レシートを発行します。

**小計** **5000**

### 印字例

2012年02月14日 12:22		000096
部門 01		1,000
部門 03		2,500
小計		¥3,500
<b>%-</b>	-10% *	-350
内税対象計		¥3,150
内税	5.0%	(¥150)
合計		¥3,150
お預り		¥5,000
お釣		¥1,850



- **%-** キーに、あらかじめ「割引き率」を設定しておくことができます。割引き計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」ですが、「切り上げ」または「切り捨て」にすることもできます。
- 上記の例は割引きですが、**%+** キーを用いた割増しの操作もこれと同じです。
- **%-**、**%+** キーへの割引き、割増し率の設定は、「割引き率、ドルレートをキーに設定する」(60 ページ) を参照してください。
- **%+** キーの設定は「割引きキー・割増しキーの機能を設定する」(103 ページ) を参照してください。

# さかのぼり訂正の使い方

## 商品登録中に前のまちがいを訂正する

登録の途中で同じレシートの何行か前の登録を訂正する（さかのぼり訂正する）ときは、**[戻]** キーを使います。

### 操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥960	1	部門4	¥4,000
¥2,800	1	部門4	

### 手順

1 商品を登録します。

**[9][9][0]**

**[2][8][0][0]**

2 さかのぼり訂正をします。

**[戻]** **[9][9][0]**

3 正しい単価で登録します。

**[9][6][0]**

4 レシートを発行します。

小計 **[4][0][0][0]** **[現/預]**

### 印字例

2012年02月14日 12:45		000202
部門04		990
部門04		2800
戻	.....	
部門04		-990
部門04		960
内税対象計		¥3,760
内税	5.0%	(¥179)
合計		¥3,760
お預り		¥4,000
お釣		¥240

訂正分の印字



- ・さかのぼり訂正は、**[戻]** キーを押した後にまちがった登録内容と同じ操作をします。その後、正しい登録をします。
- ・直前の商品を訂正する場合は、「部門キーを押した後の訂正（直前訂正）」（27 ページ）が便利です。

# 10円丸め・5円丸めの使い方



## 10円丸めする（合計の10円未満の端数を丸める）

合計金額を「10円単位」に丸めて《自動値引き》します。「5円単位」の丸めも可能です。

### 操作例

《10円未満の端数值引き》で下記の商品を売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,281	1	部門4	¥10,500
¥1,502	1	部門1	
¥2,380	1	部門2	

### 手順

1 商品を登録します。

1 2 8 1 4

1 5 0 2 1

2 3 8 0 2

2 端数を丸めて合計処理します。

小計 万円 5 0 0 現/預

### 印字例

2012年02月14日 12:50	
000203	
部門04	1,281
部門01	1,502
部門02	2,380
内税対象計	¥5,163
内税 5.0%	(¥246)
丸め前の金額→小計	¥5,163
丸め値引き額→サービス	-3
丸め後の金額→合計	¥5,160
	お預り ¥10,500
	お釣 ¥5,340



- ・「10円丸め」は1円の位を「1～9→0円」に、「5円丸め」は1円の位を「1～4→0円」に「5～9→5円」に丸めます。どちらも丸めた差額が「自動値引き」され、レシートに「サービス金額」として印字されます。
- ・点検/精算レポートには「サービス」として印字されます(87ページ)。差額がないとき「サービス金額」は印字をスキップします。
- ・10円丸め・5円丸めの設定は60ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 券売キー／信用売キーの使い方

## 商品券の支払いを受けた

商品券（券売り）の売上は [券] キーを押します。

### 操作例

5,000円（500円×10枚）の<商品券>の支払いがあった

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門2	¥500×10枚の商品券

( [券] キーには¥500円が設定済み)

### 手順

1 商品を登録します。

**2380** [2] [2] 小計

2 商品券の枚数を入力して [券] キーを押します。乗算処理もできます。

**10** [x/日時] [券]

### 印字例



2012年02月14日 13:37  
000208

部門02	2,380
部門02	2,380
内税対象計	¥4,760
内税 5.0%	(¥227)
合計	¥4,760
券	¥5,000
お釣	¥240

《券売り》の預かり額



よく利用される商品券の金額をあらかじめ [券] キーに設定しておくと、上記の操作ができます。金額を入力した後 [券] キーを押すと、その金額が預かり商品券の金額になります。商品券の金額の設定は「割引率、ドルレートをキーに設定する」(60ページ)を参照してください。

## クレジットカードの支払いを受けた

クレジットカードの売り上げは [信1] または [信2] キーを押します。

### 操作例

<クレジットカード>で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門1	なし(クレジット)

### 手順

1 商品を登録します。

**3** [万円] **50000** [1] 小計

2 [信1] キーを押します。

### 印字例



2012年02月14日 13:40  
000210

部門01	35,000
内税対象計	¥35,000
内税 5.0%	(¥1,667)
信用売り → [信1]	¥35,000

## 一部現金、一部商品券で支払いを受けた

現金と商品券など、現金と信用売りの組み合わせの売上を処理します。

### 操作例

<分割処理>で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,350	1	部門2	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門1	現金 ¥1,500

### 手順

1 商品を登録します。

2 3 5 0 2

3 8 2 0 1

小計

### 表示例

2点 ¥6,170  
小計 6,170

2 商品券の預かり金額を入力して [券] キーを押します。

5 0 0 0 券

2点 ¥6,170  
残額 1,170

商品券分を引いた残額

3 現金の預かり金額を入力して [現/預] キーを押します。

1 5 0 0 現/預

お預り ¥1,500  
お釣 330

お釣り

### 印字例

2012年02月14日 13:43  
000212

部門02 2,350  
部門01 3,820

内税対象計 ¥6,170  
内税 5.0% (¥294)

合計 ¥6,170  
券 ¥5,000  
お預り ¥1,500  
お釣 ¥330

お釣り  
現金預かり額  
商品券分



**ポイント** 現金払いだけのお店は、現金の預かり不足を知らせる設定 (101 ページ) をして操作ミスを防いでください。

# 奉仕料を徴収する

## 奉仕料を含めて計算する

ご購入時の設定では奉仕料は計算しません。奉仕料を徴収するお店は使用前に設定が必要です。「奉仕料率を設定する」(105 ページ)

### 操作例

奉仕料を計算して登録する

単価	数量	部門キー	奉仕料	預かり金
¥5,500	2	部門 1	10% (設定済み)	¥20,000
¥3,500	1	部門 2		

### 手順

1 商品を登録します。

5 5 0 0 1 1 3 5 0 0 2

2 奉仕料が自動計算されます。

小計 2 万円 現/預

### 印字例

2012年02月14日 13:50  
000215

部門 01	5,500
部門 01	5,500
部門 02	3,500
奉仕料	¥1,450
内税対象計	¥15,950
内税 5.0%	(¥760)
合計	¥15,950
お預り	¥20,000
お釣	¥4,050

奉仕料額

在高申告とは、点検や精算の前にドローア内の金銭の合計額を勘定してレジスターに申告（登録）することです。点検や精算レポートを見る前に申告して、ドローア内の金額と登録された合計の差額を発生させるような不正操作を防ぐことができます。

## 在高申告をする

在高申告は、現金／商品券／掛け売り伝票などの金種ごとに合計額を登録し、現金は1万円札から順に1円硬貨までを枚数で登録します。（明細を入力せずに合計金額だけ登録することもできます。）

### 操作例

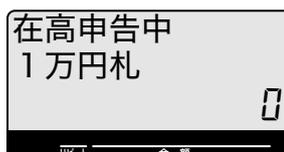
金種	数量	金種	数量	金種	数量
現金 1万円札	15	現金 500円硬貨	14	現金 5円硬貨	3
現金 5千円札	4	現金 100円硬貨	30	現金 1円硬貨	0
現金 2千円札	0	現金 50円硬貨	28	商品券合計 5000円	1
現金千円札	30	現金 10円硬貨	53		

### 手順

1 在高申告キーを押します。

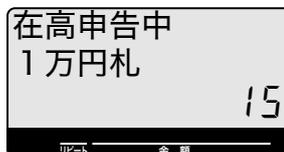


### 表示例

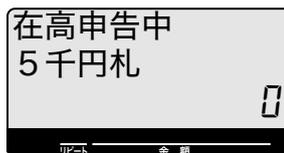


2 ガイダンスにしたがって1万円札の枚数を入力します。

1 5



3 現金キーを押します。



4 ガイダンスにしたがって、手順2と3を1円硬貨まで繰り返します。

5 商品券合計金額を入力して  キーを押します。

5 0 0 0 0 券



6 在高申告キーを押します。



### 印字例

2012年02月14日 13:50 000215		
在高申告		
1万円札	15枚	¥150,000
5千円札	4枚	¥20,000
2千円札	0枚	¥0
千円札	30枚	¥30,000
500円玉	14枚	¥7,000
100円玉	30枚	¥3,000
50円玉	28枚	¥1,400
10円玉	53枚	¥530
5円玉	3枚	¥15
1円玉	0枚	¥0
券		¥5,000
-----		
現計		¥211,945
商品券計		¥5,000

**注意** 在高申告の結果は日計明細レポートに印字されます。

# 点検と精算の操作と印字例

## ●点検

点検とは、売上合計や現金在高、時間帯別合計などを「確認したい」ときにする操作です。（点検しても合計は消えません。）

オーナーキーをモードスイッチに差し込み、モードスイッチを「点検」にします（右図参照）。

表示窓に“点検”の文字が表示されます。

以下のキー操作でレポートを発行します。

点検の印字シンボルは“X”です。

## ●精算

精算とは、一日の終わりや期間満了日の営業終了後に、売上合計や時間帯、価格帯別などの合計を確認し、リセットする操作です。

オーナーキーをモードスイッチに差し込み、モードスイッチを「精算」にします（右図参照）。

表示窓に“精算”文字が表示されます。

以下のキー操作でレポートを発行します。

精算の印字シンボルは“Z”です。

## レポート発行操作について

 キーを押して、“点検”または“精算”の文字が表示されることを確認します。

以下の表から、希望するレポートのキー操作を実行します。（日計明細の内容は、固定合計器、取引キー、部門、グループ別、時間帯、PLU が順に印字されます。）

レポート名称	日計のキー操作	期間集計1のキー操作	
日計明細	点検／精算とも：  	   	
PLU	点検：    精算：   	なし	
担当者	点検：    精算：   	   	
時間帯	点検：    精算：   	なし	
月間日別	点検：    精算：   	なし	
売上／在高	 	なし	
部門個別	点検したい部門キーを押す、最後に 	なし	
PLU 個別	点検したいPLUのコードを置数し  を押す →最後に 	なし	
スキャン PLU 個別	点検したいアイテムをスキャン →最後に 	なし	
グループ別 PLU	   に続いて点検したいグループ番号  →最後に 	なし	

## 集計名称とその内容

- 日計明細  
1日の最後に必ず精算します。日計明細には以下の項目が含まれています。
  - ・固定合計器：売上総額やドロアー内の現金在高、税額総計などを知ることができます。
  - ・取引キー：現金、掛け、商品券、クレジット等や割引き、値引き、入出金などを知ることができます。
  - ・部門：部門キーや数個のPLUを部門にまとめた合計を知ることができます。
  - ・グループ：数個の部門またはPLUをグループにまとめた合計を知ることができます。
  - ・時間帯：どの時間帯に売上が集中しているかを知ることができます。
  - ・PLU：PLU / スキャニング PLU 個々の商品別の売上金額と売上数量を知ることができます。
- 月間日別  
1ヶ月の内のどの日に売上が多いかを知ることができます。
- 担当者  
担当者別の売上、現金在高などを知ることができます。
- 期間集計1  
ある期間分（週単位や月単位など）の売上状況を知ることができます。
- 期間集計2  
期間集計1とは異なる期間（キャンペーン期間中または、半期単位や年単位など）の売上状況を知ることができます。
- 個別点検  
部門やPLU個々の売上金額を印字します。個別点検できるのは、各部門キー、各PLUアイテム、各スキャニングPLUアイテムです。
- グループ別PLU点検  
PLUをあらかじめ設定したリンクグループに分けて売上金額を印字します。あるグループ（商品群）を指定して、売上動向を見ることができます。



ポイント

- ・グループ集計は「部門」または「PLU」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。「部門キーにリンクグループを設定する」(94ページ)
- ・各項目の「構成比」を求めるには「売上構成比の印字」を「印字する」に設定します。(85ページ)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 点検と精算の操作と印字例

## 売上／在高の点検

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2  キーを押します。



### 印字例

担当 -A	000370	担当者/一連番号
在売点検	点検レポート	レポート名
日計	0000071 X	種別コード/点検シンボル
-----		
総売上	1059 点	総売上個数
	¥524,966	総売上金額
純売上	158 件	純売上件数 (客数)
	¥498,747	純売上金額
現金在高	¥405,361	現金在高
貸在高	¥40,295	貸在高
商品券在高	¥2,890	商品券在高
信在高	¥37,405	信用売在高

## スキャニング PLU 個別の点検

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 点検するスキャニング PLU をスキャン、またはコード番号を入力して  キーを押します。
- 3  キーを押します。

※長いレポートを途中で  
止めたいときは……

 キーを 2 回続けて押します。  
(止まるまで数秒かかるときもあります。)

## 部門個別の点検

### 操作例

部門 1、3、4 の売上金額を確認する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 点検する部門キーを押します。  
  
- 3  キーを押します。



### 印字例

担当 -A	000369	担当者/一連番号
個別点検	点検レポート	レポート名
日計	X	点検シンボル
-----		
部門 01		部門 01 名称
個数	38 点	個数
金額	¥25,753	金額
部門 03		部門 03
個数	236 点	個数
金額	¥22,957	金額
部門 04		部門 04
個数	50 点	個数
金額	¥23,523	金額
-----		
合計		点検分の合計個数
個数	111.6 点	合計金額
金額	¥72,233	

## PLU 個別の点検

### 操作例

PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 PLUコードを入力して **PLU** キーを押します。  
連続する番号の PLU を点検するときはコードを入力せずには **PLU** キーを押します。

**111** **PLU** **PLU**

**200** **PLU**

- 3 **小計** キーを押します。

**小計**

### 印字例

担当 -A	000380	担当者/一連番号
個別点検	点検レポート	レポート名
日計	X	点検シンボル
-----		
PLU0111	#0002	PLU0111 商品名/ No.
個数	20 点	個数
金額	¥3,360	金額
PLU0112	#0006	PLU0112
個数	14 点	
金額	¥1,932	
PLU0200	#0200	PLU0200
個数	17 点	
金額	¥1,700	
-----		
合計	51 点	点検分の合計個数
個数		
金額	¥6,992	点検分の合計金額

## グループ別 PLU の点検

### 操作例

グループ番号 01、20 の売上金額を確認する  
手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 グループ別 PLU の点検コード「66」を入力して **現/預** キーを押します。

**66** **現/預**

- 3 点検するグループ番号を入力して **現/預** キーを押します。

**01** **現/預** **20** **現/預**

- 4 **小計** キーを押します。

**小計**

### 印字例

担当 -A	000155	担当者/一連番号
PLU	点検レポート	レポート名
日計	1020014 X	種別コード/点検シンボル
-----		
グループ 01	.....01	(グループ01に属する PLU)
PLU0003	#0003	PLU0003
個数	0.94%	28 点
金額	2.64%	¥8,540
PLU0007	#0007	PLU0007
個数	0.64%	19 点
金額	1.86%	¥6,042
-----		
合計		グループ01の
個数	47 点	合計個数
金額	¥14,582	合計金額
-----		
グループ 20	.....20	(グループ20に属する PLU)
PLU0033	#0033	PLU0033
個数	0.27%	8 点
金額	0.51%	¥1,664
PLU0034	#0034	PLU0034
個数	0.37%	11 点
金額	1.01%	¥3,278
PLU0035	#0035	PLU0035
個数	0.3%	9 点
金額	1.46%	¥4,726
-----		
PLU0045	#0045	PLU0045
個数	0.27%	8 点
金額	0.96%	¥3,104
-----		
合計		グループ20の
個数	53 点	合計個数
金額	¥15,624	合計金額
-----		
合計		点検されたグループの
個数	284 点	合計個数
金額	¥30,206	合計金額

# 点検と精算の操作と印字例

## 日計明細の点検・精算

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 以下の操作をします。

日計点検/精算は 現/預  
 期間集計1点検/精算は 1 0 0 現/預  
 期間集計2点検/精算は 2 0 0 現/預

### 印字例

(始めの部分のみ)

固定合計器	精算レポート	レポート名
期間1	0001111	ZZ 0002
-----		種別コード/精算シンボル/精算回数
2012年02月13日		前回精算日付
-----		
総売上	37924 点	総売上個数
	¥18068,776	総売上金額
純売上	6134 件	純売上件数 (客数)
	¥18561,870	純売上金額
現金在高	¥3781,440	現金在高
商品券在高	¥2032,920	商品券在高
クレジット在高	¥7132,680	信用売りが高
-----		
戻モード	108 件	「戻」モード件数
	¥285,480	「戻」モード金額

日計明細の印字例は30ページを参照してください。

※期間集計1および期間集計2のレポートは、日計明細のレポートとほとんど同じです。2つのレポートのちがいは、点検や精算シンボルが"XX"や"ZZ"になること、前回精算日付が印字されることです。

## 担当者の点検・精算

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 以下の操作をします。

日計点検は 1 7 現/預  
 日計精算は 1 7 現/預  
 期間集計1点検/精算は 1 1 7 現/預  
 期間集計2点検/精算は 2 1 7 現/預

### 印字例

担当-A	023652	担当者/一連番号
担当者		精算レポート
日計	0001017	Z 0002
-----		種別コード/精算シンボル/精算回数
担当-A		担当-A
純売り	138 点	純売上件数
	¥309,873	純売上金額
担当-B		担当-B
純売り	20 件	
	¥188,874	

※件数や金額が0の担当者は印字をスキップします。ご購入時の設定では担当者は使用できません。



# 電卓機能の使い方

レジスターを電卓として使用することができます。オーナーキー (  ) を使ってモードスイッチの位置を「電卓」にします。(計算過程や結果は表示のみで印字をスキップします。)

## 通常電卓として使用する

### 表示例

例①  $123 + 456 - 78 = ?$

手順 **1 2 3**  **4 5 6**  **7 8**

501

例②  $12.3 \times 4.56 \times 20 = ?$

手順 **1 2 . 3**  **4 . 5 6**  **2 0**

112.176

例③  $828 \div 36 = ?$

手順 **8 2 8**  **3 6**

23

例④  $(23 - 56) \times 963 = ?$

手順 **2 3**  **5 6**  **9 6 3**

-31779



下記はエラーの例です。

- ・計算の途中で10桁(負数のときは9桁)を超えたとき
- ・答の整数部が10桁(負数のときは9桁)を超えたとき
- ・10桁を超えて数字キーを押したとき

このとき表示窓に「E」と「誤操作です」が表示されて、オールクリアされます。



- ・計算命令キーは上記のほか、 キーを減算、 キーを乗算に使用できます。
- ・電卓モード中でも  キーを押すとドロアーが開きます。

## 税抜き額や税額を計算する

### 表示例

例① 1,500 円の税抜き金額と内税額は？  
(「税1テーブル」が税率5%、内税、端数四捨五入の場合)

手順 **1 5 0 0**

1429 税抜き金額

(続けて)

71 内税金額

例② 230 円、780 円のそれぞれの内税額の合計は？  
(「税1テーブル」が税率5%、内税、端数四捨五入の場合)

手順 **2 3 0**

11 内税金額

**7 8 0**

48 税額合計



税金計算は、「税1テーブル(通常は「内税」)」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されるため設定内容によって求められる答がちがいます。

## 呼び出し機能を使って計算する

「呼び出し機能」とは、**[入金]** キーを押してモードスイッチを電卓⇒登録、登録⇒電卓と切り替える直前のデータを利用して計算する機能です。

### 操作例

下記商品の売上合計を4人で割り勘にする

- ・部門1キーに登録されている単価930円の商品を4個お買い上げ
- ・部門2キーに登録されている単価1,240円の商品を1個お買い上げ

### 手順

**1** モードスイッチの位置を「登録」にして商品に登録します。

**4** **[X/日時]** **930** **[ ]** **1**

**1240** **[ ]** **2**

### 表示例

4点 ¥3,720  
部門01  
3,720

5点 ¥4,960  
部門02  
1,240

5点 ¥4,960  
小計  
4,960

電卓  
4,960

電卓  
=  
1,240

現金 ¥4,960  
お釣  
0

### 印字例

2012年02月14日 09:41  
担当-A 000017  
4点 @930  
部門01 3,720  
部門02 1,240  
内税対象計 ¥4,960  
内税 5.0% (¥236)  
合計 ¥4,960  
お預り ¥4,960  
お釣 ¥0

**2** **[小計]** キーを押します。

**[小計]**

小計金額

**3** モードスイッチの位置を「電卓」にして **[入金]** キーを押します。

**[入金]**

呼び出された小計金額

**4** 割り勘の計算をします。

**[ ]** **4** **[現/預]**

1人当たり  
割り勘額

**5** モードスイッチの位置を「登録」にしてレシートを発行します。

**4960** **[現/預]**

### 注意

- ・電卓モードで呼び出せる数値は登録途中の小計金額、または取引終了後の合計金額です。
- ・登録中に呼び出せる数値は電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
- ・電卓モードの最終の答の小数点以下の値は無視されます。マイナスの答はエラーになります。

# 日付や時刻をセットする

## 日付をセットする

### 操作例

2012年2月14日にセットする

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

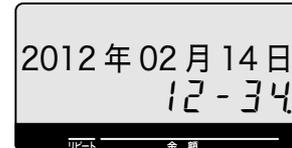
2 日付を西暦で入力して  $\times$ /日時 キーを押します。

1 2 0 2 1 4  $\times$ /日時

3  $\text{C/AC}$  C キーを押します。

$\text{C/AC}$  C

### 印字例



2012年02月14日  
12-34  
印字機 金額

#### ▲注意

年は西暦の下2桁を入力します。(2012 → 12)

月、日は必ず2桁を入力します。(1~9 → 01~09)

日付を和暦にすることもできます。(61 ページ参照) 日付を和暦にすると入力も和暦年になります。

## 時刻をセットする

### 操作例

午後1時05分にセットする

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

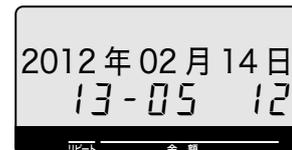
2 時刻を24時間制で入力して  $\times$ /日時 キーを押します。

1 3 0 5  $\times$ /日時

3  $\text{C/AC}$  C キーを押します。

$\text{C/AC}$  C

### 印字例



2012年02月14日  
13-05 12  
印字機 金額

#### ▲注意

時刻は24時間制で入力します。(00~23)

時、分は必ず2桁を入力します。(0~9 → 00~09)



# 各種レート、丸めを設定する

## 割引率、ドルレートをキーに設定する

### 操作例

【%-】キー、【-】キー、【券】キーの金額をそれぞれ設定する

キー	設定内容
【%-】キー	割引率 5 %
【-】キー	値引き金額 ¥50
【券】キー	商品券の金額 ¥500

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 下記を設定します。

5 【%-】

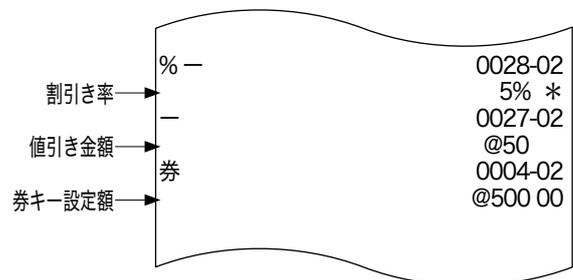
50 【-】

500 【券】

3 【小計】キーを押します。

【小計】

### 印字例



A receipt printout showing the following settings:

割引率	0028-02
	5% *
値引き金額	0027-02
	@50
券キー設定額	0004-02
	@500 00



- ・率は 0.01%～99.99%まで設定できます。小数の入力には【.】キーを使用します。割引率、値引き金額設定の操作例は「値引きキーの使い方」(42 ページ)を参照してください。
- ・【券】キーには、よく利用される商品券の金額をあらかじめ設定しておく便利です。【券】キーの金額設定の操作例は「券売キー/信用売キーの使い方」(46 ページ)を参照してください。

## 10 円丸め、5 円丸めを設定する

合計金額の 5 円や 10 円未満を切り捨てて、お客様に請求しません。

### 操作例

「10 円丸め」を設定する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

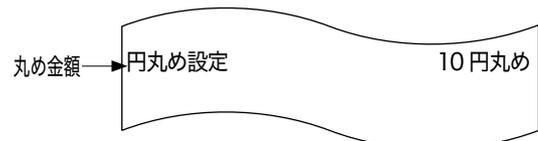
2 下記を設定します。

10 【レート発行】

3 【小計】キーを押します。

【小計】

### 印字例



A receipt printout showing the following setting:

丸め金額	円丸め設定	10 円丸め
------	-------	--------



- 「5 円丸め」は 5 を、「10 円丸め」は 10 を設定します。丸めを使わないときは 0 を入力します。ご購入時の設定は「0」です。5 円丸め、10 円丸めの操作例は「10 円丸め・5 円丸めの使い方」(45 ページ)を参照してください。

## 但し書き、年号、メッセージ印字を設定する

### 操作例

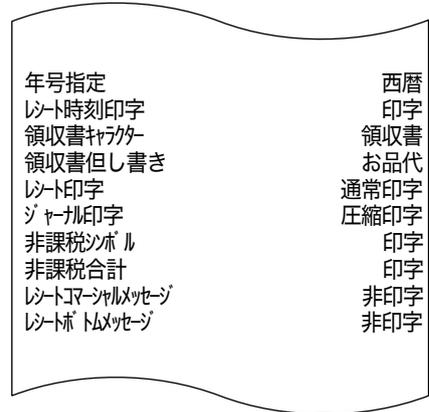
領収書の但し書きに「お品代」を常に印字する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

- 101000** 小計 (ガイドが表示されます。ガイドにしたがって操作します)
- 0** 現/預 (西暦を使用するか和暦を使用するかを決定します)
  - 0** 現/預 (レシートに時刻を印字するか否かを決定します)
  - 0** 現/預 (領収書のタイトルを「領収書」とするか「領収証」とするかを決定します)
  - 1** 現/預 (但し書きを使うか否か、使うときはどの但し書きかを決定します)
  - 0** 現/預 (レシートの文字サイズが縦倍か標準かを決定します)
  - 0** 現/預 (ジャーナルの文字サイズが標準か縦圧縮かを決定します)
  - 0** 現/預 (非課税シンボル「非」を印字するか否かを決定します)
  - 0** 現/預 (非課税合計を印字するか否かを決定します)
  - 0** 現/預 (レシートのコマースシャルメッセージを印字するか否かを決定します)
  - 0** 現/預 (レシートのボトムメッセージを印字するか否かを決定します)

### 印字例



## レシートの背景を印字する

レシートに“Thank you”の薄い文字を背景として印字します。

### 手順

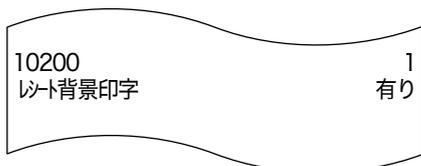
- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

**102000** 小計

上記操作で背景印字の見本を印字します。印字するときは1、印字しないときは0を入力します。

**1** 現/預

### 印字例



## 領収書の背景を印字する

領収書に背景の格子模様を印字します。

### 手順

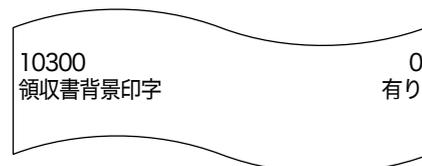
- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

**103000** 小計

上記操作で背景印字の見本を印字します。印字するときは1、印字しないときは0を入力します。

**1** 現/預

### 印字例



ポイント レシートの背景印字、領収書の背景印字は“0”を指定すると背景印字しません。ご購入時の設定は“0”です。

# 消費税の課税方式の設定

お店の課税方式に合わせた部門や PLU、値引き、割引などの課税方式を設定します。内税商品だけを扱うお店はご購入時の設定のままお使いいただけます。内税以外の課税方式の商品を扱うお店、一部の商品を外税や非課税で扱っているお店は設定が必要です。

## すべての商品を非課税扱いとする

部門キー、PLU および、**[-]** キー、**[%-]** キーに「非課税」を設定します。

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
  - 2 設定1モードにします。  
**1** **小計**
  - 3 **非課税** キーを押します。  
**非課税**
  - 4 非課税にする部門、**[-]** キー、**[%-]** キーを押します。  
**1** **2** **3** **4** . . . **[-]** **[%-]**
  - 5 **小計** キーを押します。  
**小計**
- 続けて PLU を設定します。
- 6 **非課税** キーを押します。  
**非課税**
  - 7 非課税にする最初の PLU のコードを入力して、本数分 **PLU** キーを押します。  
**1** **PLU** **PLU** **PLU** **PLU** ~ **PLU** **PLU**
  - 8 **小計** キーを押します。  
**小計**

### 印字例

全部門キー	部門 01	0001-05
		@0 非#
	部門 02	0002-05
		@0 非#
	部門 03	0003-05
		@0 非#
	部門 04	0004-05
		@0 非#
<b>[-]</b> キー	-	0027-02
		@0 非#
<b>[%-]</b> キー	%-	0028-02
		0% 非#
PLU	PLU0001	0001-04
		@0 非#
	11-66	0000
	PLU0002	0002-04
		@0 非#
	11-66	0000
	PLU0003	0003-04
		@0 非#
	11-66	0000
	PLU0071	0071-04
		@0 非#
	11-66	0000
	PLU0072	0072-04
		@0 非#
	11-66	0000

消費税非課税のシンボル  
奉仕料非対象のシンボル



**ポイント** **[%+]** キーや奉仕料に非課税設定することができます。



**注意** すべての商品を外税扱いにするときは、上記手順の **非課税** キーを **出金** キーにします。

## すべての商品を内税扱いとする

すべての商品を「内税扱い」とするお店は、部門キー、PLU および  キー、 キーに「内税」を設定します。

ご購入時にこの設定は必要はありません。内税以外の課税方式を内税に変えるときこの設定が必要です。

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
  - 2 設定1モードにします。
    - 1
  - 3  キーを押します。
  - 4 内税にする部門、 キー、 キーを押します。
   
    ···
  - 5  キーを押します。
- 続けて PLU を設定します。
- 6  キーを押します。
  - 7 内税にする最初の PLU のコードを入力して、本数分  キーを押します。
    - 1     ~
  - 8  キーを押します。

### 印字例

全部門キー	部門 01	0001-05	@0 内#
	部門 02	0002-05	@0 内#
	部門 03	0003-05	@0 内#
	部門 04	0004-05	@0 内#
<input type="button" value="−"/> キー	<input type="button" value="−"/>	0027-02	@0 内#
	<input type="button" value="%−"/>	0028-02	0% 内#
PLU	PLU0001	0001-04	@0 内#
	11-66	0000	
	PLU0002	0002-04	@0 内#
	11-66	0000	
	PLU0003	0003-04	@0 内#
	11-66	0000	
	PLU0071	0071-04	@0 内#
	11-66	0000	
	PLU0072	0072-04	@0 内#
	11-66	0000	

消費税内税のシンボル  
奉仕料非対象のシンボル

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 消費税の課税方式の設定

## 内税／外税／非課税扱いの商品が混在する

「内税扱い」「外税扱い」「非課税扱い」が混在しているお店は各キーにそれぞれ設定します。

### 準備

部門キー、キー、キー、キー、奉仕料、PLUを「内税」、「外税」、「非課税」のどれにするかを決めておきます。

### 操作例

ご購入時の設定を下記に設定する

課税方式（使用するキー）	設定するキーおよび PLU
外税（ <input type="button" value="出金"/> ）	<input type="button" value="3"/> キー
非課税（ <input type="button" value="非課税"/> ）	<input type="button" value="4"/> キー、 <input type="button" value="−"/> キー、PLU65～72
内税（ <input type="button" value="入金"/> ）	残りの部門、PLU、 <input type="button" value="%−"/> キー、 <input type="button" value="%+"/> キー、奉仕料

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

**▲注意** ご購入時の設定を変更しているときは、「すべての商品を内税扱いとする」(63 ページ) の設定後にこの設定をしてください。

2 設定1モードにします。

3  キーを押します。

4 外税にする部門を指定します。

5  キーを押します。

6 非課税にする部門、 キー、PLU を指定します。

~

キーを8回押します。

7  キーを押します。

### 印字例

部門キー	部門 03	0003-05
		@0 外#
	部門 04	0004-05
		@0 非#
<input type="button" value="−"/> キー		0027-02
		@0 非#
	PLU0065	0065-04
		@0 非#
	11-66	0000
	PLU0066	0066-04
		@0 非#
PLU	11-66	0000
	PLU0067	0067-04
		@0 非#
	11-66	0000
	PLU0071	0071-04
		@0 非#
	11-66	0000
	PLU0072	0072-04
		@0 非#
	11-66	0000

課税方式のシンボル

本機は、消費税変更時の混乱を軽減するため変更税率と変更日をあらかじめ設定しておくことができます。税率変更予約をせずに変更日当日を迎えた際は「すぐに消費税率を変更する」の設定をしてください。

## あらかじめ消費税率を変更予約する

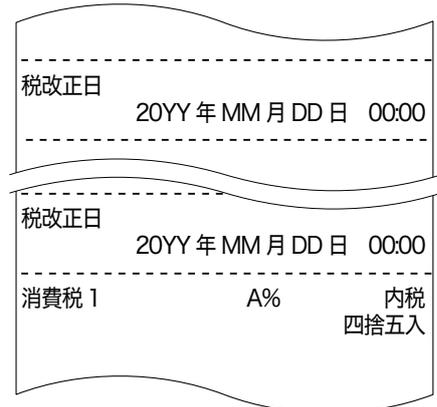
### 操作例

税率変更日（20YY年MM月DD日）に税率を《A%》にする

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3モードにし **427** と入力して **小計** キーを押します。  
**3** **小計** **427** **小計**
- 3 変更日付（YYMMDD）を入力して下記の操作をします。  
YYMMDD **現/預** **小計**
- 4 **127** と入力して **小計** キーを押します。  
**127** **小計**
- 5 税率（A）を入力して下記の操作をします。  
A **現/預** **小計**

#### 印字例



- ▲注意**
- ・西暦年の下2桁（YY）、月（MM）、日（DD）の2桁で入力します。
  - ・事前にレジスター本体の日付を設定してください。

## すぐに消費税率を変更する

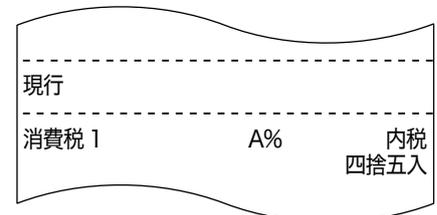
### 操作例

税率を《A%》にする

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3モードにし **126** と入力して **小計** キーを押します。  
**3** **小計** **126** **小計**
- 5 税率（A）を入力して下記の操作をします。  
A **現/預** **小計**

#### 印字例



設定後、モードスイッチの位置を「登録」にすると新しい税率で計算されます。

# 税額の端数処理の設定

## 税額の円未満の端数処理方法を設定する

### 操作例

消費税額の円未満の端数を、内税は「切り捨て」外税は「四捨五入」にする

### 手順

1 下記を設定します。

	A	B	C	現/預	小計
3 小計	1	0	0		
2 2 6 小計					

■内税の端数処理

A	円未満四捨五入	0
	円未満切り捨て	1
	円未満切り上げ	2

■外税の端数処理

B	円未満四捨五入	0
	円未満切り捨て	1
	円未満切り上げ	2

■常に0を設定します

			0		
--	--	--	---	--	--

■常に0を設定します

				0	
--	--	--	--	---	--

### 印字例

現行		
消費税 1	5%	内税 切り捨て
消費税 2	5%	外税 四捨五入
消費税 3	0%	----
消費税 4	0%	四捨五入 ----
		四捨五入



ポイント ご購入時の設定は“0000”（内税は四捨五入）です。

本機は数字や記号だけでなく漢字やカナを含めた文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示できます。あらかじめ部門キーや PLU に個々の商品名を設定しておき、レシートやレポートの印字内容をよりわかりやすくすることができます。担当者名やロゴメッセージなどもきれいな文字で印字することができます。必要に応じて設定をしてください。

- 商品名やメッセージの設定は、商品名リスト／メッセージリストの中から番号で選ぶ方法と、文字入力して必要に応じて漢字変換する方法があります。

## 商品名やメッセージをリストから番号で選ぶ

設定文字を商品名リスト (68 ページ) / メッセージリスト (70 ページ) の中から選んで設定します。



- ・商品名リストから商品名が設定できるのは部門と PLU です。メッセージリストからメッセージを設定できるのはレシートメッセージ（ロゴメッセージ、コマースシャルメッセージ、ボトムメッセージ）です。
- ・リストにない商品名やメッセージの設定、取引キー、担当者などの名称は「1文字ずつ入力して漢字変換する」(71 ページ) で設定してください。電子店名スタンプが届く前にレシートに店舗名や所在地を印字するときも同様です。
- ・商品名リスト／メッセージリストの名称を一部変更して設定するときは、リストを使って設定した後不要な文字を消去、必要な文字を入力してください。

### 部門キーの商品名をリストから選んで設定する

#### 操作例

部門 01 (  ) に『初・再診料』、部門 02 (  ) に『医学管理等』を設定する

#### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 下記を設定します。

**2** 小計

**1** (「初・再診料」のコードは商品リストから 1)

**3** (「医学管理等」のコードは商品リストから 3)

小計 (設定終了)

#### 印字例

初・再診料	0001-05
	062-051
医学管理等	0002-05
	063-051
注射	0071-04
精神科専門	0072-04
手術	0090-04

### PLU の商品名をリストから選んで設定する

#### 操作例

PLU 番号 71 に「注射」、PLU 番号 72 に「精神科専門」、PLU 番号 90 に「手術」を設定する

#### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 下記を設定します。

**2** 小計

**7 1** PLU (PLU71 を指定します)

**#** (コード指定前に **#** キーを押します)

**8** (「注射」のコードは商品リストから 8)

現/預 (指定したキャラクターを設定します)

現/預 (続いて次のメモリーに設定します)

**# 1 0** 「精神科専門」のコードは商品リストから 10)

現/預

**9 0** PLU (PLU90 を指定します)

**# 1 2** (「手術」のコードは商品リストから 12)

現/預

小計 (設定終了)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 商品名リストを使った設定

## 商品名リスト

業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
病院／ 歯科医院	初・再診料	001	薬局／ 薬店	鼻炎薬	058	食料品	食パン	115
	入院料等	002		婦人薬	059		食料品	116
	医学管理等	003		目薬	060		寿司	117
	在宅医療	004		薬剤	061		スナック菓子	118
	検査	005		アイスクリーム	062		生鮮	119
	画像診断	006		アルコール	063		精肉	120
	投薬	007		一品料理	064		鮮魚	121
	注射	008		ウィスキー	065		その他	122
	リハビリテーション	009		お酒	066		中華	123
	精神科専門	010		お食事	067		調味料	124
	処置	011	おつまみ	068	調理パン		125	
	手術	012	お通し	069	乳製品		126	
	麻酔	013	お飲み物	070	パン		127	
	放射線治療	014	お持ち帰り	071	ファーストフード*		128	
	食事療法	015	カクテル	072	ベーカリー		129	
	歯冠修復等	016	喫茶	073	弁当類		130	
	歯科矯正	017	ケーキ	074	麺類		131	
	調剤技術料	018	コーヒー	075	野菜		132	
	薬学管理料	019	サワー	076	洋菓子		133	
	薬剤料	020	ジュース	077	冷凍食品		134	
	特保医療材料	021	セット	078	レトルト食品		135	
	選定療養等	022	セットメニュー	079	和菓子		136	
	療養担当手当	023	ソフトクリーム	080	アクセサリー		137	
	その他	024	ソフトドリンク	081	衣料品		138	
	処方せん	025	テイクアウト	082	衣類		139	
	保険給付外	026	定食	083	傘		140	
	保険給付内	027	ディナー	084	靴		141	
	自費	028	デザート	085	子供服		142	
	文書料	029	トースト	086	紳士服		143	
	証明書	030	トッピング	087	装飾品		144	
	未収金	031	ドリンク	088	履物		145	
	容器代	032	生ビール	089	バッグ		146	
薬局／ 薬店	アレルギー薬	033	日本酒	090	婦人服	147		
	かぜ薬	034	ノンアルコール	091	ベビー服	148		
	ケア用品	035	発泡酒	092	帽子	149		
	せき止め	036	ビール	093	アクセサリー	150		
	ドリンク剤	037	フード	094	小物	151		
	歯ブラシ	038	ブランデー	095	雑貨	152		
	ベビー用品	039	モーニング	096	生花	153		
	胃腸薬	040	洋食セット	097	箱代	154		
	医薬品	041	ランチ	098	輸入雑貨	155		
	医療用品	042	ワイン	099	オプション	156		
	衛生用品	043	和食セット	100	家電製品	157		
	介護用品	044	アイス	101	携帯電話	158		
	解熱鎮痛剤	045	イスタ外食品	102	サプライ	159		
	外傷薬	046	飲料	103	情報機器	160		
	外用薬	047	お米	104	消耗品	161		
	漢方薬	048	お惣菜	105	設定料	162		
	関節・筋肉痛	049	おにぎり	106	テープ	163		
	湿布薬	050	加工食品	107	電球・蛍光灯	164		
	小児用薬	051	菓子	108	電池	165		
	酔い止め	052	菓子パン	109	電池交換	166		
	整腸剤	053	果物	110	配線	167		
	生薬	054	香辛料	111	別売品	168		
	虫さされ	055	サンドイッチ	112	メディア	169		
	内服薬	056	嗜好品	113				
	皮膚治療薬	057	ジュース類	114				

# 商品名リストを使った設定



業種	商品名	コード
書籍／ 文具／ AV	CD	170
	DVD /ブルーレイ	171
	アルバム	172
	ゲーム	173
	コミック	174
	雑誌	175
	参考書	176
	事務用品	177
	趣味・娯楽	178
	書籍	179
	新書	180
	新聞	181
	専門誌	182
	図書カード	183
	ビデオ	184
	文具	185
	文芸	186
	文庫	187
その他／ 物品販売	DIY 用品	188
	アウトドア用品	189
	園芸	190
	園芸用品	191
	カー用品	192
	家具	193
	楽器	194
	家庭用品	195
	金物	196
	玩具	197
	キッチン用品	198
	ギフト券	199
	キャラクター商品	200
	工具	201
	コンタクト	202
	梱包用品	203
	作業用品	204
	写真	205
	種苗	206
	寝具	207
	スポーツ用品	208
	タバコ	209
	釣り用品	210
	コレクション	211
	時計	212
	塗料	213
	日用品	214
	農業用品	215
	農薬	216
	バラエティ	217
	肥料	218
	物品販売	219
部品	220	
ペット	221	
ペット用品	222	
防災用品	223	
メガネ	224	
木材	225	
輸入家具	226	
ラッピング代	227	
旅行用品	228	
レンタル用品	229	

業種	商品名	コード
理容／ 美容	カット	230
	カラー	231
	着付	232
	シャンプー	233
	スキンケア	234
	セット	235
	トリートメント	236
	トリミング	237
	パーマ	238
	フェイス	239
	ブロー	240
	ヘアカラー	241
	ペビエ	242
	ボディ	243
	メイク	244
	D P E	245
	一式	246
	一般	247
その他	印刷	248
	延長	249
	大人	250
	お直し	251
	カード	252
	技術料	253
	キャンセル料	254
	クーポン	255
	クリーニング	256
	現像料	257
	限定品	258
	工事	259
	工賃	260
	サービス料	261
	材料費	262
	修理	263
	受講料	264
	小人	265
	商品券	266
	処分料	267
	進物	268
	セール	269
	設置料	270
	送料	271
	中古品	272
	中人	273
	注文品	274
	調整料	275
	デジタルプリント	276
	手数料	277
	手付金	278
	電話代	279
登録料	280	
特注品	281	
塗装	282	
特価品	283	
取付料	284	
入園料	285	
入場料	286	
引取料	287	
フィルム	288	
プライベートカード	289	

業種	商品名	コード
その他	容器代	290
	リサイクル費用	291
	レンタル料	292
	割増	293
	焼き増し	294
	前金	295
	土産品	296
	利用料	297
ご購入時の設定*	PLU	299
	部門	300

\* : PLU や部門の後に番号は付かない

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# メッセージリストを使った設定

## 商品名やメッセージをリストから番号で選ぶ

### 操作例

ボトムメッセージ1行目に「またのご来店を」、2行目に「お待ちしております」を印字する設定をする

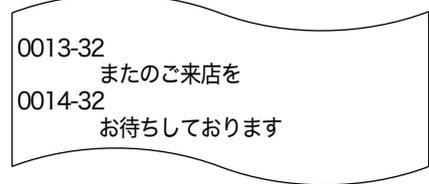
### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。
  - 2 小計
  - 1 3 3 2 小計 (ボトムメッセージ1行目の種別コードを指定します)
  - # 2 (「またのご来店を」のコードはメッセージリストから 2)
  - 現/預 (指定したキャラクターを設定します)
  - 現/預 (続いて次のメモリーに設定します)
  - # 4 (「お待ちしております」のコードはメッセージリストから 4)
  - 現/預
  - 小計 (設定終了)



右記はボトムメッセージの印字位置とその種別コードです。何も設定されていない行は印字をスキップします。ボトムメッセージを印字する設定は「レシートの印字内容を設定する」(89 ページ)を参照してください。

### 印字例



非課税合計	¥14,520
合計	¥13,794
お預り	¥15,000
お釣	¥1,206

種別コード: 1332	*** ボトム 1 行目 ***
種別コード: 1432	*** ボトム 2 行目 ***
種別コード: 1532	*** ボトム 3 行目 ***
種別コード: 1632	*** ボトム 4 行目 ***
種別コード: 1732	*** ボトム 5 行目 ***
種別コード: 1832	*** ボトム 6 行目 ***

### メッセージリスト

メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード
またのお越しを	001	保管して下さい	021	新規会員募集中!	041
またのご来店を	002	開封後の返品・交換は	022	メール会員募集中!	042
またのご利用を	003	お受けできません	023	お早めにお召上がり下さい	043
お待ちしております	004	返品はレシートを添えて	024	各種宴会ご予約承ります	044
お買い上げいただき	005	お持ちください	025	完全予約制	045
ご来店いただき	006	返品・交換はできません	026	着付けご予約承ります	046
毎度ご来店いただき	007	受付時間のご案内	027	記念写真ご予約受付中	047
ありがとうございました	008	営業時間のご案内	028	ケーキ予約受付中	048
毎度ありがとうございます	009	診療時間のご案内	029	ご予約承ります	049
有難うございます	010	今月は休まず営業します	030	配達承ります	050
お買い上げの商品価格には	011	年中無休	031	お問合せはサービスカウンターまで	051
消費税等を含みます	012	ポイントは次回のお買い物に	032	定期点検を忘れずに	052
レシートは税込み価格で	013	ご使用ください	033	お大事にどうぞ	053
表示しております	014	キャンペーン実施中!	034	どうぞお大事に	054
レシートの再発行はできません	015	クリアセール実施中!	035	月初めは保険証を	055
レシートの再発行は	016	決算セール実施中!	036	ご呈示下さい	056
致しかねます	017	ご紹介キャンペーン実施中!	037	お薬は用法用量を	057
レシートは大切に保管ください	018	サービスデー実施中!	038	守ってご使用ください	058
印刷面を内側に折って	019	バーゲンセール実施中!	039	携帯電話からアクセスできます	059
レシートは大切に	020	カード会員募集中!	040	(空白)	060

## 1文字ずつ入力して漢字変換する

一文字ずつ手入力し、必要に応じて漢字変換して設定する方法を説明します。

### 文字の入力方法について

「かなめくり方式」という携帯電話に似た文字入力方法です。〈切替〉キーで文字の種類(ひらがな・カタカナ・英文字・数字)などを切り替え、置数キーで五十音などに基づいた文字を入力できます。また、ひらがなで入力したものは、続けて〈↑〉や〈変換〉キーを押し、単漢字または単語ごとにかな漢字変換します。

注意：内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数の制限により、お客様の希望する漢字へ変換できないことがあります。そのときは、入力したい漢字の読み(音読み・訓読み)を変えて入力し、変換してください。

#### ●文字設定用のキーボード

文字の設定をするときは、キーボードは以下の配列となります。



### 半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさは4種類あります。

半角文字 登録の個数や金額の文字

全角文字 漢字や半角文字の倍の横幅の文字

倍文字 (半角文字や全角文字の横幅を倍に引き延ばしたもの)。

縦倍文字 (半角文字や全角文字の高さを倍にした文字、レシートのみ可能)。

倍文字と縦倍文字を組み合わせると4倍文字になります。

圧縮文字はジャーナルのみに印字できる通常の文字の半分の高さの文字です。



## 部門キーへ商品名や分類名を設定する

### 操作例

部門  に『雑貨』、 に『食品 A』、 に『ETC』を設定する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

### 印字例

雑貨	0001-05
	060-051
食品 A	0002-05
	061-051
ETC	0004-05
	063-051

2

< 文字列クリア >

「さ」< さ >

「ざ」< ざ >

「っ」< た >< た >< た >< た >< た >< た >

「か」< か >

< ↓変換 > < 変換確定 >

< 文字列クリア >

「し」< さ >< さ >

「よ」< や >< や >< や >< や >< や >< や >

「く」< か >< か >< か >

「ひ」< は >< は >

「ん」< わ >< わ >< わ >

< ↓変換 > < 変換確定 >

< 切替 > < 切替 > < 倍文字 > < 倍文字 >

「A」< か >

< 文字列クリア >

「E」< さ >< さ >

「T」< や >

「C」< か >< か >< か >

(部門 01 を指定します)

(部門 01 に設定されていた商品名を消します)

(< ↓変換 > は「雑貨」が出るまで繰り返します)

(これで『雑貨』が部門 01 に設定されます)

(部門 02 を指定します<sup>\*1</sup>)

(部門 02 に設定されていた商品名を消します)

(< ↓変換 > は「食品」が出るまで繰り返します)

(切替キーで半角英字、倍文字で全角英倍文字にします)

(英文字 A を指定します)

(これで『食品 A』が部門 02 に設定されます)

(部門 04 を指定します<sup>\*2</sup>)

(部門 04 に設定されていた商品名を消します)

(全角英倍文字のまま、使います)

(これで『ETC』が部門 04 に設定されます)

(設定終了)



・ 部門キーへ設定できる名称の文字数は、半角 20 文字または全角 10 文字です。

<sup>\*1</sup> 連続した部門の設定をするときは  キーを押して次の部門に移ります。  キーを押すと設定を終了します。

<sup>\*2</sup> 連続していない部門の設定をするときは部門キーを押して指定します。  キーを押すと設定を終了します。

# 商品名の設定

## 入力途中で文字を訂正する

### 操作例

部門  に『乾物』を設定する途中でまちがった文字を訂正する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 下記を設定します。

<b>2</b>	<input type="text" value="小計"/>		
	<input type="text" value="3"/>		(部門 03 を指定します)
	<input type="text" value="C"/>	< 文字列クリア >	(部門 03 に設定されていた商品名を消します)
		「か」<か>	
		「ん」<わ><わ><わ>	
		「も」<ま><ま><ま><ま><ま>	
		「の」<な><な><な><な><な>	
		< 1文字クリア >	(直前の「の」を消します)
		< 1文字クリア >	(「も」を消します)
		「ふ」<は><は><は>	(正しい文字を入力します)
		「ぶ」<。>	
		「つ」<た><た><た>	
		< ↓変換 >< 変換確定 >	(< ↓変換 > は「乾物」が出るまで繰り返します)
	<input type="text" value="現/預"/>		(これで『乾物』が部門 03 に設定されます)
	<input type="text" value="小計"/>		(設定終了)

## PLUへ商品名を設定する

### 操作例

PLU 番号 71 に半角で『カー-Yシャツ』、PLU 番号 72 に『ジーンズ』、PLU 番号 90 に『サービス品』を設定する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

### 印字例

カー-Yシャツ	0071-04
ジーンズ	0072-04
サービス品	0090-04

2 小計  
71 PLU  
C/AC C

<文字列クリア>  
<切替>  
「カ」<か>  
「ラ」<ら>  
「-」<か>  
<記号×記号×記号×切替>  
「Y」<ら×ら×ら>  
<切替×切替×切替>  
「シ」<さ×さ>  
「ヤ」<や×や×や×や>  
「ツ」<た×た×た>

(PLU71 を指定します)  
(PLU71 に設定されていた商品名を消します)  
(半角カタカナに切り替えます)

現/預  
現/預  
C/AC C

<文字列クリア>  
<倍文字>  
「シ」<さ×さ>  
「ジ」<ゝゝ>  
「-」<記号×記号×記号>  
「ン」<わ×わ×わ>  
「ス」<さ×さ×さ>  
「ズ」<ゝゝ>

(半角英文字に切り替えます)  
(半角カタカナに切り替えます)  
(これで『カー-Yシャツ』が PLU71 に設定されます)  
(PLU72 を指定します\*<sup>1</sup>)  
(PLU72 に設定されていた商品名を消します)  
(全角カタカナに切り替えます)

90 PLU  
C/AC C

<文字列クリア>  
「サ」<さ>  
「-」<記号×記号×記号>  
「ヒ」<は×は>  
「ビ」<ゝゝ>  
「ス」<さ×さ×さ>  
<変換確定×切替×切替×切替> (「サービス」を確定し、全角ひらがなに切り替えます)  
「ひ」<は×は>  
「ん」<わ×わ×わ>  
<↓変換×変換確定>

(これで『ジーンズ』が PLU72 に設定されます)  
(PLU90 を指定します\*<sup>2</sup>)  
(PLU90 に設定されていた商品名を消します)  
(全角英字のまま、使います)

現/預  
小計

(<↓変換>は「品」が出るまで繰り返します)  
(これで『サービス品』が PLU90 に設定されます)  
(設定終了)



- PLUへ設定できる商品名の文字数は、半角 20 文字または全角 10 文字です。
- スキャニング PLU は、PLU 番号またはスキャナーで設定できます。
- \*<sup>1</sup> 連続した PLU の設定をするときは、**現/預** キーを押して次の PLU に移ります。**小計** キーを押すと設定を終了します。
- \*<sup>2</sup> 連続していない PLU の設定をするときは、設定したい PLU 番号に続けて **PLU** キーを押して指定します。**小計** キーを押すと設定を終了します。

# 取引キー・レジ担当者名の設定

## 取引キーの名称を変更する

### 操作例

券 キーのレシートやレポート上の印字を『商品券』にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

2 小計

券

C/AC C

<文字列クリア>

「し」<さ><さ>  
「よ」<や><や><や><や><や><や>  
「う」<あ><あ><あ>  
「ひ」<は><は>  
「ん」<わ><わ><わ>  
<↓変換>  
「け」<か><か><か><か>  
「ん」<わ><わ><わ>  
<↓変換><変換確定>

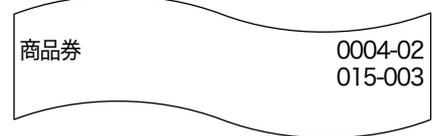
現/預

小計



取引キーに設定できる名称の文字数は、半角 12 文字または全角 6 文字です。名称の変更ができるのは、**〔#〕**、**〔替〕**、**〔%+〕**、**〔%-〕**、**〔一〕**、**〔入金〕**、**〔出金〕**、**〔信1〕**、**〔信2〕**、**〔貸〕**、**〔券〕**、**〔訂正中止〕**、**〔担当者〕**、**〔非課税〕**、**〔戻〕**、**〔審査〕**、**〔解除〕**、**〔現/預〕** の各キーです。

### 印字例



(券売キーを指定します)

(すでに設定されている文字を消します)

(<↓変換>は「商品」が出るまで繰り返します)  
(「商品」が確定します)

(<↓変換>は「券」が出るまで繰り返します)  
(これで『商品券』が券売キーに設定されます)

(設定終了)

## レジ担当者の名前を設定する

### 操作例

担当者 01 の担当者名を『鈴木』にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

2 小計

0107 小計

C/AC C

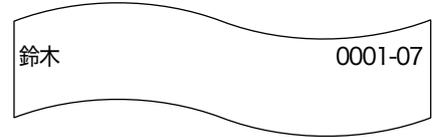
<文字列クリア>

「す」<さ><さ><さ>  
<→>  
「す」<さ><さ><さ>  
「ず」<` `>  
「き」<か><か>  
<↓変換><変換確定>

現/預

小計

### 印字例



(担当者 01 を指定します)

(担当者 01 に設定されていた担当者名を消します)

(同じ行なのでカーソルを右に動かします)

(<↓変換>は「鈴木」が出るまで繰り返します)  
(これで『鈴木』が担当者 01 に設定されます)

(設定終了)



・担当者名に設定できる名称の文字数は、半角 12 文字または全角 6 文字です。  
・ご購入時の設定は「担当者番号を設定する」(104 ページ)を参照してください。

## グループレポート上の商品グループの名前を設定する

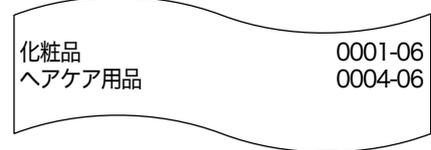
### 操作例

グループ番号 01 に『化粧品』を、グループ番号 04 に『ヘアケア用品』を設定する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

### 印字例



0106 2 小計  
C/AC C

<文字列クリア>

「け」<か><か><か><か>  
「し」<さ><さ>  
「よ」<や><や><や><や><や><や>  
「う」<あ><あ><あ>  
「ひ」<は><は>  
「ん」<わ><わ><わ>  
<↓変換><変換確定>  
<↓変換><変換確定>

(グループ番号 01 を指定します)

(グループ番号 01 に設定されていたグループ名を消します)

(<↓変換>は「化粧」が出るまで繰り返します)  
(<↓変換>は「品」が出るまで繰り返します)  
(これで『化粧品』がグループ番号 01 に設定されます)

(グループ番号 04 を指定します)

(グループ番号 04 に設定されていたグループ名を消します)  
(半角カタカナに切り替えます)  
(全角カタカナに切り替えます)

0406 現/預 小計  
C/AC C

<文字列クリア>

<切替>  
<倍文字>  
「へ」<は><は><は><は>  
「ア」<あ>  
「ケ」<か><か><か><か>  
「ア」<あ>  
<切替><切替><切替>  
「よ」<や><や><や>  
「う」<あ><あ><あ>  
「ひ」<は><は>  
「ん」<わ><わ><わ>  
<↓変換><変換確定>

(全角ひらがなに切り替えます)

(<↓変換>は「用品」が出るまで繰り返します)  
(これで『ヘアケア用品』がグループ番号 04 に設定されます)  
(設定終了)

現/預

小計



グループ名に設定できるキャラクターは、半角 20 文字または全角 10 文字です。グループ番号“01”、“02”、“03”の番号の後に“06”を付けた数値が、グループ名キャラクターの設定コードとなります。

# レシートメッセージの設定

## レシートメッセージを設定する

レシートには3種類のメッセージを印字することができます。

1. 店名ロゴ代わりに印字する「ロゴメッセージ」 最大6行
2. 店名ロゴの下部に印字する「コマーシャルメッセージ」 最大6行
3. レシートの最後に印字する「ボトムメッセージ」 最大6行

メッセージは、1行に半角32文字または全角16文字の設定ができます。メッセージの設定コードは、ロゴメッセージ0132～0632、コマーシャルメッセージ0732～1232、ボトムメッセージ1332～1832です。メッセージの印字設定は「レシートの印字内容を設定する」(89ページ)を参照してください。

### 操作例

ロゴメッセージに右記の内容を、コマーシャルメッセージに『朝市を開催します』のメッセージを設定する

毎度ありがとうございます  
カシオ商店

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

### 印字例

0001-32  
毎度ありがとうございます  
0002-32  
:

0 1 3 2 小計  
C/AC C

<文字列クリア>  
<→××→××→××→>  
「ま」<ま>  
「い」<あ×あ>  
「と」<た×た×た×た×た>  
「ど」<“。”>  
<↓変換>  
「あ」<あ>  
「り」<ら×ら>  
「か」<か>  
「が」<“。”>  
「と」<た×た×た×た×た>  
「う」<あ×あ×あ>  
「こ」<か×か×か×か×か>  
「ご」<“。”>  
「さ」<さ>  
「ざ」<“。”>  
「い」<あ×あ>  
「ま」<ま>  
「す」<さ×さ×さ>

(ロゴメッセージ1行目を指定します)  
(設定されていたメッセージを消します)

(<↓変換>は「毎度」が出るまで繰り返します)  
(「毎度」が確定します)

現/預 現/預  
C/AC C

<文字列クリア>  
<切替×倍文字×倍文字>  
<→××→××→××→××→>  
「カ」<か>  
「シ」<さ×さ>

(1行目を確定し、続いてロゴメッセージ2行目を指定します\*1)  
(設定されていたメッセージを消します)  
(全角倍角カタカナに切り替えます)  
(文字を行の中心へ寄せるため入力開始位置を半角2文字分右へ移動します)

# レシートメッセージの設定



「オ」<あ×あ×あ×あ×あ>  
<切替×切替×切替×倍文字> (全角倍角ひらがなに切り替えます)  
「し」<さ×さ>  
「よ」<や×や×や×や×や×や>  
「う」<あ×あ×あ>  
「て」<た×た×た×た>  
「ん」<わ×わ×わ>  
<↓変換×変換確定>

現/預

0 7 3 2 小計

C/AC C

<文字列クリア> (設定されていたメッセージを消します)  
<倍文字> (全角ひらがなに切り替えます)

「あ」<あ>  
「さ」<さ>  
「い」<あ×あ>  
「ち」<た×た>  
「を」<わ×わ>  
<↓変換> (<↓変換>は「朝市」が出るまで繰り返します)  
(<↓変換>は「朝市を」が確定します)  
「か」<か>  
「い」<あ×あ>  
「さ」<さ>  
「い」<あ×あ>  
「し」<さ×さ>  
「ま」<ま>  
「す」<さ×さ×さ>  
<↓変換×変換確定>

現/預

小計



- ログ、コマercial、ボトムの各メッセージは印字/非印字の設定ができます。
  - 電子店名スタンプを装着するとロゴメッセージの設定内容は印字されません。
- \*1 連続したメッセージ行の設定をするときは **現/預** キーを押して次のメッセージ行に移ります。 **小計** キーを押すと設定を終了します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# レシートメッセージの設定

## レシートに住所や電話番号を設定する

電子店名スタンプにはレシートに印字する住所や電話番号が入ります。電子店名スタンプの納入前などに設定してください。

レシート用住所・電話番号として印字する行 最大 3 行

メッセージは、1 行に半角 32 文字または全角 16 文字の設定ができます。メッセージの設定コードは 3432 ~ 3632 です。

### 操作例

電話番号を『電話：03-1212-3434』に、住所を『東京都渋谷区本町』に変更する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

### 印字例



0034-32  
電話：03-1212-3434  
0035-32  
東京都渋谷区本町



< 文字列クリア >

「て」< た >> た >> た >> た >> た >

「で」< “。 >

「ん」< わ >> わ >> わ >> わ >

< → >

「わ」< わ >

< ↓変換 >> 変換確定 >

< 切替 >> 切替 >> 倍文字 >

「：」< 記号 >> 記号 >> 記号 >> 記号 >

< 切替 >

「0」< 記号 >

「3」< ら >

< 切替 >> 切替 >> 切替 >

「-」< 記号 >> 記号 >> 記号 >

< 切替 >

「1」< ま >

「2」< や >

「1」< ま >

「2」< や >

< 切替 >> 切替 >> 切替 >

「-」< 記号 >> 記号 >> 記号 >

< 切替 >

「3」< ら >

「4」< た >

「3」< ら >

「4」< た >



< 文字列クリア >

< 切替 >

(レシート用住所・電話番号 1 行目を指定します)  
(設定されていたメッセージを消します)

(< ↓変換 > は「電話」が出るまで繰り返します)  
(全角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

(1 行目を確定し、続いてレシート用住所・  
電話番号を 2 行目を指定します\*<sup>1</sup>)  
(設定されていたメッセージを消します)  
(全角ひらがなに切り替えます)

# レシートメッセージの設定



「と」<た><た><た><た><た>  
「う」<あ><あ><あ>  
「き」<か><か>  
「よ」<や><や><や><や><や><や>  
「う」<あ><あ><あ>  
「と」<た><た><た><た><た>  
    <↓変換><変換確定> (＜↓変換＞は「東京都」が出るまで繰り返します)  
「し」<さ><さ>  
「ふ」<は><は><は>  
「ぶ」<。>  
「や」<や>  
「く」<か><か><か>  
    <↓変換><変換確定> (＜↓変換＞は「渋谷区」が出るまで繰り返します)  
「ほ」<は><は><は><は><は><は>  
「ん」<わ><わ><わ>  
「ま」<ま>  
「ち」<た><た>  
    <↓変換><変換確定> (＜↓変換＞は「本町」が出るまで繰り返します)  
    (これで『東京都渋谷区本町』が2行目に設定されます)  
    (設定終了)

現/預

小計



- 電子店名スタンプを装着すると、電子店名スタンプ内のレシート用会社名・レシート用住所・電話番号、領収書用住所・電話番号、領収書用会社名を印字します。(この節で設定した内容は印字しません。)
- ※1 連続したメッセージ行の設定をするときは **現/預** キーを押して次のメッセージ行に移ります。 **小計** キーを押すと設定を終了します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 合計項目名やタイトル名の設定

## 固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する

日計明細や期間集計レポートに印字される「総売上」や「純売上」などの名称を変更できます。(最大半角 12 文字) レポートタイトル名を変更することができます。(最大半角 16 文字)

### 操作例

「総売上」を『総売』にする

#### 手順

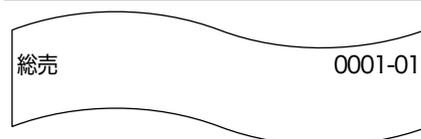
1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 下記を設定します。



< 文字列クリア >  
< 文字入力 >

#### 印字例



(下記設定コード)

(すでに設定されている文字を消します)  
(部門などの設定を参照してください)

(設定終了)

### 固定合計器項目名の設定コードとその内容：

合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定	合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定
総売上	0101	総売上	電卓操作回数	3701	電卓
純売上	0201	純売上	印紙付き領収書	3801	領収書 印紙
現金在高	0301	現金在高	印紙無し領収書	3901	領収書
貸売在高	0401	貸在高	内税対象額	4101	内税対象計
商品券在高	0501	商品券在高	内税額	4201	内税
信用売在高	0601	信在高	外税対象額	4401	外税対象額
戻モード	2701	戻モード	外税額	4501	外税額
万円券枚数	3401	万円	消費税合計	5301	消費税合計
5 / 10 円丸め	3501	サービス	非課税合計	5401	非課税合計
取引中止	3601	取引中止	奉仕料	5501	奉仕料

### レポートタイトルの設定コードとその内容：

レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定	レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定
固定合計器レポート	0124	固定合計器	担当者レポート	0624	担当者
取引レポート	0224	取引	時間帯レポート	0824	時間帯
PLU レポート	0324	PLU	月間売上レポート	0924	月間日別
部門レポート	0424	部門	在売点検レポート	1624	在売点検
グループレポート	0524	グループ	アイテム個別	2424	個別点検

## 取引シンボル（固定キャラクター）を設定する

円マークやレシート上の合計・釣り銭などの文字を変更できます。（文字数はシンボルにより異なります。）

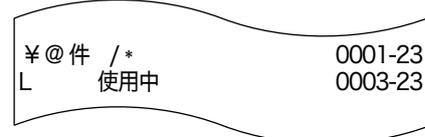
### 操作例

- ①レポートの件数シンボルを「個」から「件」にする
- ②乗算シンボルの「点」を「L」にする

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

### 印字例



< → > (4回押す)  
 < 1文字クリア >  
 「け」< か >< か >< か >< か >  
 「ん」< わ >< わ >< わ >  
 < ↓変換 >  
 < 変換確定 >

(「個」シンボルのメモリー番号+ 23)  
 (変更する「個」を反転表示します)  
 (「個」を消します)  
 (部門などの設定を参照してください)

(「件」が出るまで繰り返します)



< 1文字クリア >  
 < 切替 >< 切替 >< 倍文字 >  
 「L」< な >< な >< な >

(「点」シンボルのメモリー番号+ 23)  
 (「点」を消します)  
 (切替キーで半角英字、倍文字キーで全角英字にします)



(設定終了)

### 取引シンボルの設定コードとその内容：

シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定	シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定
円、単価、件数、個数(2ずつ)	0123	¥@件/**	電卓、練習モード(4ずつ)	0923	電卓練習 MGR
レポート上の点数、客数、枚数(2ずつ)	0223	点名枚**＊	預かり時合計印字(8)	1023	合計
乗算(2)	0323	点 使用中	現金預かり印字(8)	1123	お預り
税シンボル1、2(2ずつ)	0423	外 外	釣り銭印字(8)	1223	お釣
非奉仕対象、非課税(2ずつ)	0523	# 非＊	後レシート合計印字(8)	1323	合計
登録、戻モード(4ずつ)	0723	戻	小計印字(8)	1823	小計
設定、点検、精算モード(4ずつ)	0823	Pnn 点検精算	AM、PM 印字(3ずつ)	1923	AM PM

( ) は半角文字で設定できる文字数です。

# その他の設定

本機には便利な機能が豊富に備えられています。必要に応じて設定してください。

## レジ番号を設定する

お店に2台以上のレジスターがあるときや店舗ごとに区別するとき、レジ番号を設定します。

### 操作例

レジ番号“123”を設定する

#### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

#### 印字例

0002-22 0000000123



**ポイント** ご購入時のレジ番号の設定は“0000”で印字をスキップします。レジ番号の印字例は19ページを参照してください。

## 一連番号について設定する

レシートに印字する一連番号を、毎日ある一定数値から始める（日計明細の精算後にリセットする）か、連続番号にする（日計明細の精算後にリセットしない）かを設定します。

### 操作例

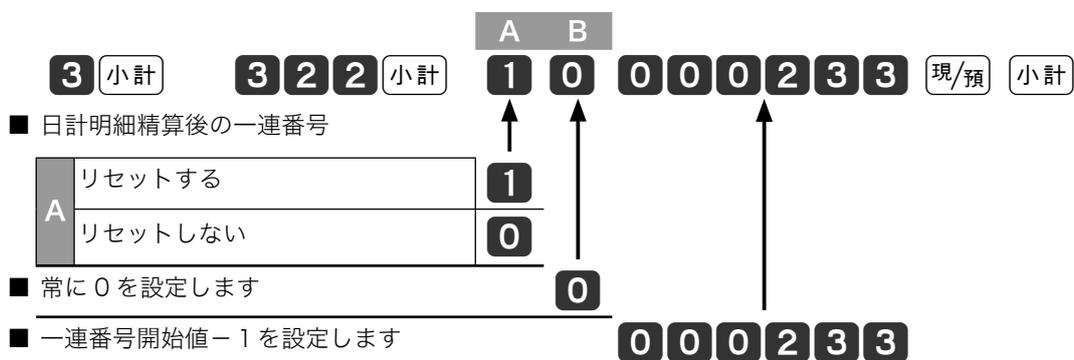
「一連番号」を毎日“000234”から始める

#### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

#### 印字例

0003-22 0010000233



**ポイント** ご購入時の一連番号の設定は“0 0 000000”です。毎日1から始めるときは“1 0 000000”を設定します。

**注意** 一連番号開始値-1を設定します。

## レシートとジャーナルの印字内容を設定する

レシートとジャーナルは下記の項目を印字する／印字しないを設定します。

### 操作例

レシートのお買い上げ点数と課税対象額を「印字する」合わせてジャーナルを「圧縮印字」に設定し、点検・精算時の売上構成比を「印字する」合わせて日計明細精算の出力を「1枚」に設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

0005-22

0000011002

3 小計 5 2 2 小計 0 0 0 0 0 1 1 0 0 2 現/預 小計

■ 常に0を設定します

■ 課税対象額、税率の印字／非印字

B	課税対象額	税率	
	印字する	印字する	
印字しない			2
印字しない	印字する		1
	印字しない		3

■ ジャーナルへの明細印字（ジャーナルスキップ）

C		
印字する		0
印字しない	(ジャーナルスキップする)	1

■ 常に00を設定します

■ 売上げ構成比の印字／非印字、日計精算書の出力枚数

E	X/Zで部門、PLUの売上げ構成比を	日計明細精算での出力枚数		
		1枚		1
	印字する	2枚 (ダブルレポート)		3
		1枚		0
印字しない	2枚 (ダブルレポート)		2	

■ 買い上げ点数、税シンボルの印字／非印字、ジャーナル圧縮印字

F	買い上げ点数	税シンボル	圧縮印字		
			印字する	圧縮印字	
	印字する	印字する	通常印字		5
			圧縮印字		3
	印字しない	印字しない	通常印字		7
			圧縮印字		0
		印字する	通常印字		4
			圧縮印字		2
印字しない	印字しない	通常印字		6	

■ 常に002を設定します

002



ご購入時の印字制御の設定は“000000002”です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 強制操作や演算方法を設定する

操作ミスを防ぎ確認をうながすための「強制操作」の設定ができます。また、件数や個数、金額などの入力や集計方法も変更できます。

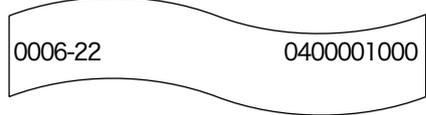
### 操作例

「戻」モードの登録回数を「1回のみ」、「戻」モードの件数を「レジマイナス」に設定する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例



		A	B	C	D	E	F	G	現/預	小計
3 小計		4	0	0	0	1	0	0		
6 2 2 小計										
■ 締め時の <small>小計</small> キー強制や戻モードの登録など										
A	締め操作時に <small>小計</small> 押し強制	戻モードの登録								
	強制しない	続けて可能	0							
		1回のみ可能	4							
	強制する	続けて可能	1							
1回のみ可能		5								
■ 常に 00 を設定します										
■ キーバッファクリア、登録確認音										
C	レシート発行時のキーバッファクリア	キー操作時の確認音 有/無								
		クリアする	確認音あり	1						
	クリアしない	確認音なし	3							
		確認音あり	0							
	確認音なし	2								
■ [券]、[信1]、[信2] などの締めで、ドロアーを開ける/開けない										
D	開ける				0					
	開けない (スリットドロアー)				4					
■ 戻しモードでの件数は加算/減算										
E	加算する (戻しモード)					0				
	減算する (レジマイナスモード)					1				
■ 常に 00 を設定します										
■ 担当者を使用する/使用しない										
G	担当者を使用する									2
	担当者を使用しない									0

**ポイント** ご購入時の強制操作・演算の設定は“0 00 0 0 0 0 00 0”です。

## 明細レポートの内容を設定する その1

点検または精算で印字する明細レポート（固定合計器部分）個々印字項目を、印字する／印字しないの設定をします。

### 操作例

値引き合計と **戻** キー合計を「印字する」、丸め合計を「印字する」に設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

0008-22

0421001140

3 小計   
 8 2 2 小計   
 0 4 2 1 0   
 0   
 1   
 1   
 4   
 0   
 現/預    小計

■ 常に 04210 を設定します

■ 純客数、客単価の印字／非印字

B	純客数	客単価	
	印字する	印字する	0
	印字しない	2	
印字しない	印字する	1	
	印字しない	3	

■ 値引き合計、戻し合計の印字／非印字

C	値引き合計	<b>戻</b> 合計	
	印字する	印字する	1
印字しない		5	
印字しない	印字する	3	
	印字しない	7	

■ 万券枚数、丸め合計、取引中止合計の印字／非印字

D	万券枚数	丸め合計	取引中止合計	
		印字する	印字する	印字する
	印字しない		印字しない	4
	印字しない	印字する	印字する	2
印字しない		印字しない	6	

■ 電卓モードでの計算回数、領収書発行合計の印字／非印字

E	領収書合計	電卓モード	
	印字する	印字する	4
		印字しない	5
印字しない	印字する	6	
	印字しない	7	

■ 常に 0 を設定します

0



ご購入時の固定合計器の印字制御1の設定は“04210 37240”です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 明細レポートの内容を設定する その2

点検または精算で印字する明細レポート（固定合計器部分）個々印字項目を、印字する／印字しないの設定をします。

### 操作例

消費税および奉仕料を「印字しない」に設定する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例

0009-22

7771017700

		A	B	C	D	E	F	G	H								
		3	9	2	2	7	7	7	1	0	1	7	7	0	0	現/預	小計
■ 消費税1 / 2の課税対象額、税額の印字 / 非印字																	
A	消費税1の 対象額と税額	印字する	印字する	2	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
		印字しない	6														
	消費税2の 対象額と税額	印字する	3														
		印字しない	7														
■ 常に7を設定します						7											
■ 消費税額合計の印字 / 非印字																	
C	印字する			3	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
		印字しない	7														
消費税非課税合計の印字 / 非印字																	
D	印字する				0	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
		印字しない	1														
■ 常に0を設定します										0							
■ 奉仕料合計の印字 / 非印字、在高申告の金種明細の印字 / 非印字																	
F	奉仕料合計を	在高申告の金種明細を			↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	印字する	印字する	0														
		印字しない	2														
	印字しない	印字する	1														
印字しない		3															
■ 常に770を設定します												7	7	0			
■ 月間日別の合計で平均単価の印字 / 非印字																	
H	印字する																0
		印字しない															1

ポイント ご購入時の固定合計器の印字制御2の設定は“2730017700”です。

## レシートの印字内容を設定する

レシートに下記の項目を印字する／印字しないを設定します。

### 操作例

レシートのコマースシャルメッセージを「印字する」に設定する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例

0017-22

0000000002

3 小計

1 7 2 2 小計

A B C D  
0 0 0 2

現/預 小計

#### ■ 日付および一連番号の印字／非印字

A	レシートの日付	ジャーナルの日付	一連番号	
	印字する	印字する	印字する	印字する
印字しない			印字しない	4
印字しない		印字する	印字する	2
		印字しない	印字しない	6
印字しない	印字する	印字する	印字する	1
		印字しない	印字しない	5
	印字しない	印字する	印字する	3
		印字しない	印字しない	7

#### ■ 時刻の印字／非印字

B	レシートの時刻	ジャーナルの時刻	
	印字する	印字する	
印字しない			2
印字しない	印字する		1
	印字しない		3

#### ■ 常に 0 を設定します

0

#### ■ ログメッセージ・コマースシャルメッセージ・ボトムメッセージの印字／非印字

C	ログメッセージ	コマースシャルメッセージ	ボトムメッセージ	
	設定されたメッセージを印字する	印字する	印字する	印字する
印字しない			印字しない	3
印字しない		印字する	印字する	5
		印字しない	印字しない	1
電子店名スタンプの店名ロゴまたは御計算書を印字する	印字する	印字する	印字する	6
		印字しない	印字しない	2
	印字しない	印字する	印字する	4
		印字しない	印字しない	0



ポイント ご購入時のレシートの印字制御の設定は“0000”です。



注意 “P01”の簡易設定(61ページ)でレシートの時刻を印字しないに設定したときは、項目“B”は“5”または“7”を選択してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 強制解除キーの機能を設定する

エラーが解除できないときは強制終了キーを2回押してエラーを解除します。この設定では、強制解除が現金売りとして機能する／取引中止として機能するかを設定します。

### 操作例

登録中の強制解除を「現金売り」にする

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例

0025-22

000000010

3 小計 2522 小計 0 0000010 現/預 小計

■ 登録中の強制終了を

A	「現金での売上げ」とする	0
	「取引中止」とする	4

■ 常に 0000010 を設定します

0000010



ポイント ご購入時の強制解除機能の設定は“4 0000010”（取引中止）です。

## 領収書の印字内容を設定する

領収書に印字される内容を設定します。(印紙貼付が必要な合計金額、但し書きの内容、領収書一連番号の扱いなど)

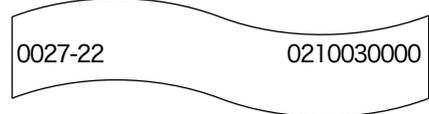
### 操作例

領収書の但し書きに「お食事代として」を印字、領収書一連番号は日計明細の精算で“0”にしない

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例



#### ■ 但し書き部分への印字

非印字	0
A 「お品代」を印字	1
「お食事代」を印字	2

#### ■ 日計明細精算後の領収書一連番号の処理

B 領収書用一連番号	
リセット	0
ノンリセット	1

#### ■ 領収書名、レシート一連番号と税額の印字/非印字

	領収書/領収証	レシート一連番号	税額の印字	
C	領収書	印字する	印字する	0
			印字しない	1
		印字しない	印字する	2
			印字しない	3
領収証	印字する	印字する	4	
		印字しない	5	
	印字しない	印字する	6	
		印字しない	7	

#### ■ 収入印紙の必要額 (税抜き、円単位) を6桁で設定します

0 3 0 0 0 0



**ポイント** 収入印紙必要額は必ず6桁で設定します。ご購入時の領収書関連設定は“0 0 0 0 3 0 0 0 0”です。



**注意** ・金額を指定した領収書発行 (25 ページ) では、領収書の税額は印字しません。  
・簡易設定 (61 ページ) で領収書の但し書きやタイトルを設定したときは、設定後に再度簡易設定してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 文字の濃さと背景印字を設定する

印字が濃すぎる／薄すぎるときはこの設定で変更します。レシートや領収書の背景印字パターンを設定します。

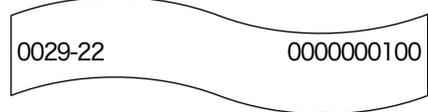
### 操作例

印字濃度を“やや濃く”に設定する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例



- 電子店名スタンプ内のサーマルポップを  
A 印字する 0  
   印字しない 1
- プリントの印字濃度  
   普通 0  
B  やや濃く 1  
   濃く 2
- レシートの背景印字  
C  印字しない 0  
   印字する 1
- 領収書の背景印字  
D  印字しない 0  
   印字する 1

**ポイント**   ご購入時の印字濃度設定は“0000”（普通）です。

**注意**

- ・ 別売オプションの電子店名スタンプ内にサーマルポップが入っているとレシートに印字されます。項目 A は、電子店名スタンプを使用中にサーマルポップを印字しないときに設定します。
- ・ 簡易設定 (61 ページ) でレシートおよび領収書の背景印字を設定したときは、設定後に再度簡易設定してください。

## 本体表示のバックライトを設定する

本体表示のバックライトを使用する／しないと、使用するときの点灯時間を設定します。

### 操作例

バックライトを使用し、10分間点灯すると設定する

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例

0034-22

000000010

	A	B	C	現/預	小計
表示	0	0	10		
設定	0	0	00 ~ 59		

■ 本体表示のバックライトを  
 A 使用する (0) / 使用しない (2)  
 ■ 常に0を入力します (0)  
 ■ C バックライトの点灯時間 (分単位) (00 ~ 59)



ポイント ご購入時のバックライトの設定は“0 0 20”です。点灯時間を“00”と設定するとバックライトは消灯しません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

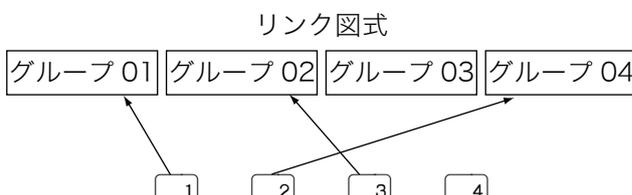
## 部門キーにリンクグループを設定する

部門キーのそれぞれに《グループ番号》を設定して「グループ別集計」を求めることができます。（この指定を「グループリンク」と言います。）

### 操作例

部門キーをグループに分ける

部門キー	リンク先	入力コード
□1	グループ 01	0100
□2	グループ 04	0400
□3	グループ 02	0200



### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3でリンクグループ番号設定コードを入力します。

3 小計 1166 小計

- 3 グループ番号を入力して部門キーを押します。

0100 □1

0400 □2

0200 □3

- 4 小計 キーを押します。

小計



グループ番号は01～20まで設定することができます。ご購入時の部門キーはどのグループにも集計されない設定です。

### 印字例

部門 01	0001-05
11-66	0100
部門 02	0002-05
11-66	0400
部門 03	0003-05
11-66	0200

グループリンク

## 部門キーに単品現金売りを設定する

部門キーを押してレシート発行（取引終了）するとき「単品現金売り」を部門キーに設定します。このとき預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

### 操作例

部門キー □2 に単品現金売りを設定する

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

- 2 下記の操作をします。

3 小計 1866 小計 2 □2 小計

■ 単品現金売り

通常の部門

単品現金売りにする



0

2

### 印字例

部門 02	0002-05
	20000000

単品現金売り



ご購入時はすべてのキーが“0”（通常キー）です。

## 部門キーに入力できる桁数を設定する

単価入力ミスを軽減するため部門キーに登録できる単価の最大桁数を設定します。

### 操作例

部門キー  に3桁 (¥1 から ¥999) までの桁制限を設定する

### 手順

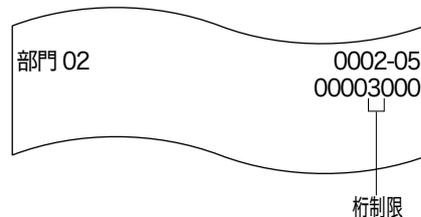
- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**3** 小計      **7 6 6** 小計      **3**  小計

#### ■ 桁制限

入力制限なし	<b>0</b> / <b>7</b>	3桁 (¥1 ~ ¥999)	<b>3</b>	6桁 (¥1 ~ ¥999999)	<b>6</b>
1桁 (¥1 ~ ¥9)	<b>1</b>	4桁 (¥1 ~ ¥9999)	<b>4</b>	プリセット単価のみ	<b>8</b> / <b>9</b>
2桁 (¥1 ~ ¥99)	<b>2</b>	5桁 (¥1 ~ ¥99999)	<b>5</b>		

### 印字例



**ポイント**      ご購入時はすべてのキーが“0” (入力制限なし) です。

## 部門キーにマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らない登録には「ハッシュ品目」、金額を負(マイナス)で集計するときは「負単価」をそれぞれ部門キーに設定します。

### 操作例

部門キー  にハッシュ品目を、部門キー  に負単価を設定する

### 手順

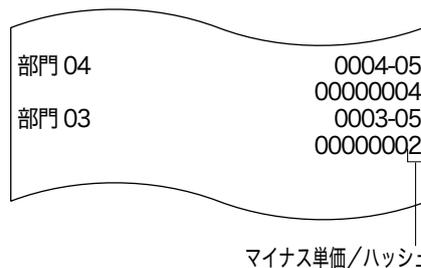
- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**3** 小計      **5 6 6** 小計      **4**  **2**  小計

#### ■ 単品現金売り

通常の部門	<b>0</b>
負単価にする	<b>2</b>
ハッシュ品目にする	<b>4</b>
負単価でハッシュ品目	<b>6</b>

### 印字例



**ポイント**      ご購入時はすべてのキーが“0” (通常キー) です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 部門キーのいろいろな項目を一括して設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に1つの部門キーに設定できます。

### 操作例

部門 01 を負単価に、部門 02 を外税対象にする

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例

部門 01	0001-05 00000002
部門 02	0002-05 00100000

	A	B	C	D	E	F	G	
3 小計	0	0	0	0	0	00	2	1
	0	0	1	0	0	00	0	2 小計

■ 単品現金売り  
通常の部門 = 0、単品現金売り = 2

■ 常に 0 を設定します

■ 消費税の課税方式

C	内税対象	0
	外税対象	1
	非課税対象	5

■ 奉仕料計算対象

D	奉仕料対象とする	0
	奉仕料対象としない	1

■ 入力最大桁制限

E	制限なし	0
	指定桁まで	1 ~ 7
	プリセット単価のみ	8, 9

■ 常に 00 を設定します

■ 負単価、ハッシュ品目

G	ハッシュ品目にしない	負単価ではない	0
		負単価にする	2
	ハッシュ品目にする	負単価ではない	4
		負単価にする	6

 **ポイント** ご購入時はすべての部門キーが“00000000”です。

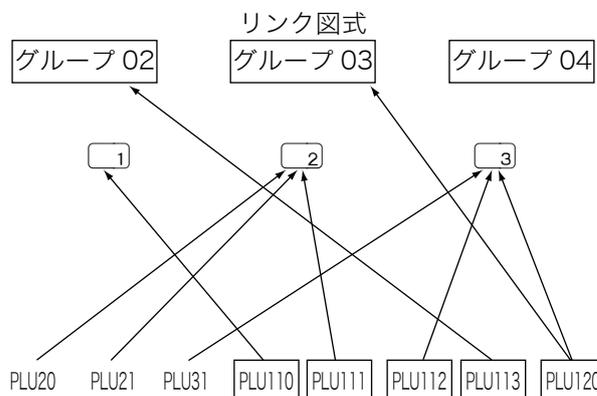
## PLU に部門リンク・グループリンクを設定する

PLU に集計する金額と数量を同時に「部門」に集計するとき、部門を指定することを「部門リンク」と言います。「グループ」へ直接リンクすることもできます。

### 操作例

PLU を部門またはグループにリンクする

PLU 番号	リンク先	入力コード
21, 22	2 (部門番号 02)	2
31	3 (部門番号 03)	3
110	1 (部門番号 01)	1
111	2 (部門番号 02)	2
112	3 (部門番号 03)	3
113	グループ 02	200
120	3 とグループ 03	303



### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3でリンク部門グループ番号設定コードを入力します。  
 3 小計 1166 小計
- 3 PLU 番号に続いて **PLU** キーを押した後に、部門番号またはグループ番号を入力します。  
 21 PLU 2 現/預  
 (PLU 番号が続きゃつ設定内容が同じときは PLU 番号、コード入力不要)  
 現/預  
 31 PLU 3 現/預  
 110 PLU 1 現/預  
 2 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)  
 3 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)  
 200 現/預 (PLU 番号が続くときは) (グループ指定のときは、グループ番号後に 00 を入力します)  
 120 PLU 303 現/預
- 4 小計 キーを押します。  
 小計



リンクできる部門番号は01～15で、グループ番号は01～20です。ご購入時のすべてのPLUはどの部門・グループにもリンクされていません。



PLU のリンク先を「部門」と「グループ」の両方に設定したときは、PLU 登録時に同じ金額、数量が部門とグループの両方に加算されます。

### 印字例

PLU0021	0021-04
11-66	0002
PLU0022	0022-04
11-66	0002
PLU0120	0031-04
11-66	0303

グループ/部門リンク

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## PLU に単品現金売りを設定する

PLU コードを入力して PLU キーを押すだけでレシートを発行（取引終了）したいときは「単品現金売り」を PLU に設定します。このとき預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

### 操作例

PLU 番号 152 と PLU 番号 153 に単品現金売りを設定する

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

**3** 小計 **1 8 6 6** 小計

- 3 PLU 番号を入力して設定数値を入力します。

**1 5 2** PLU **2** 現/預

■ 単品現金売り ↑  
通常の PLU **0**  
単品現金売りにする **2**

**2** 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)

- 4 小計 キーを押します。

小計



ポイント ご購入時の設定はすべてのキーが“0”（通常の PLU）です。

#### 印字例

PLU0152	0152-04 20000002
PLU0153	0153-04 20000002

単品現金売り

## PLU に品番 PLU を設定する

PLU は通常設定された単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録するときは《品番 PLU》を設定します。（品番 PLU の解説と操作例は 35 ページ参照）

### 操作例

PLU 番号 150 と PLU 番号 151 に品番 PLU を設定する

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

**3** 小計 **4 6 6** 小計

- 3 PLU 番号を入力して設定数値を入力します。

**1 5 0** PLU **4** 現/預

■ 設定数値 ↑  
PLU 指定 **0**  
品番 PLU 指定 **4**

**4** 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)

- 4 小計 キーを押します。

小計



ポイント ご購入時の設定はすべての PLU が品番 PLU ではなく PLU 指定です。

#### 印字例

PLU0150	0150-04 00040000
PLU0151	0151-04 00040000

品番 PLU

## PLU にマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らない登録には「ハッシュ品目」、金額を負(マイナス)で集計するときは「負単価」をそれぞれ PLU に設定します。

### 操作例

PLU 番号 155 にハッシュ品目を、PLU 番号 156 に負単価を設定する

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。
- 3 PLU 番号を入力して設定数値を入力します。

3 小計 5 6 6 小計

1 5 5 PLU 4 現/預

■ 負単価およびハッシュ品目	
通常の PLU	0
負単価にする	2
ハッシュ品目にする	4
負単価でハッシュ品目	6

2 現/預 (PLU 番号が続くときは)  
PLU 番号指定は不要

- 4 小計 キーを押します。

小計



ポイント ご購入時の設定はすべてのキーが“0”(通常の PLU) です。

#### 印字例

PLU0155	0155-04 00000004
PLU0156	0156-04 00000002

マイナス単価/ハッシュ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## PLU のいろいろな項目を一括して設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に1つのPLUに設定できます。

### 操作例

PLU 番号 200 を負単価に、PLU 番号 201 を外税対象にする

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例

PLU0200	0200-04 00000002
PLU0201	0201-04 00100000

	A	B	C	D	E	F	G	
<b>3</b> 小計	0	0	0	0	0	00	2	現/預
<b>2000</b> PLU <small>(次のPLUに設定するとき はPLUの入力は不要です)</small>	0	0	1	0	0	00	0	現/預 小計

■ 単品現金売り  
通常の PLU = 0、単品現金売り = 2

■ 常に 0 を設定します

■ 消費税の課税方式

C	内税対象	0
	外税対象	1
	非課税対象	5

■ 品番 PLU、奉仕料計算対象

D	普通の PLU	奉仕料対象とする	0
		奉仕料対象としない	1
品番 PLU		奉仕料対象とする	4
		奉仕料対象としない	5

■ 入力最大桁制限 (品番 PLU 設定時のみ有効)

E	制限なし	0
	指定桁まで	1 ~ 7
	プリセット単価のみ	8, 9

■ 常に 00 を設定します

■ 負単価、ハッシュ品目

G	ハッシュ品目にしない	負単価ではない	0
		負単価にする	2
ハッシュ品目にする	負単価ではない	4	
	負単価にする	6	

**ポイント** ご購入時の設定はすべての PLU が “0 0 0 0 0 0 0” です。

## 締めキー（現金売りや券売りなど）の機能を設定する

〔現/預〕キーや〔券〕キーなど「締めキー」の機能を設定します。設定できる機能には「預かり不足を報知する」（47 ページ参照）や釣銭の最大金額、預かり金入力の強制などがあります。

### 操作例

〔現/預〕での預かり入力を「強制する」に、〔券〕でのお釣りを「エラー」にする

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

### 印字例

現金	00001-02
	00040000
券	0004-02
	00200000

	A	B	C	D	E	F	
3 小計	0	0	0	4	00	00	〔現/預〕
	0	0	2	0	00	00	〔券〕 小計

- 常に0を設定します
- 常に0を設定します
- お釣りのある預かりの可/不可、内税金額の印字/非印字

C	お釣りのある預かり		内税対象額と内税額	
	可能	印字する		0
	印字しない		1	
不可（エラー）	印字する		2	
	印字しない		3	

- 預かり不足の報知、預かり金入力の可/不可、預かり入力の強制

D	預かり不足	預かり入力		預かり入力の強制	
		報知しない	可能	強制しない	
強制する				4	
不可	強制しない			2	
	強制する			6	
報知する	可能	強制しない		1	
		強制する		5	
	不可	強制しない		3	
		強制する		7	

- 預かり金額の制限

E	金額の左端の数値		0 ~ 9
	金額の0の個数		

- 釣り銭金額の制限

F	金額の左端の数値		0 ~ 9
	金額の0の個数		

◇上記 E、F「金額の制限」の設定数値は下記です。

設定数値例：

- 金額制限 10,000 円 → 数値 “14”
- 金額制限 7,000 円 → 数値 “73”
- 金額制限 2,500 円 → 設定できません
- 金額制限なし → 数値 “00”



ご購入時の設定は、〔現/預〕キーと〔券〕キーが“00000000”、〔貸〕キーと〔信1〕または〔信2〕キーが“00020000”です。

〔信1〕または〔信2〕キーはこの設定はできません。

〔信1〕または〔信2〕キーの設定は必ず〔2〕を押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 値引きキーの機能を設定する

☐ キーに課税ステータスその他を設定します。

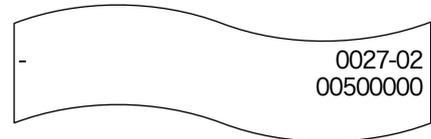
### 操作例

☐ キーを非課税扱いにする

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



	A	B	C	D	E	F
<b>3</b> 小計	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
消費税の課税方式	↑	↑	↑	↑	↑	↑
A 内税指定	0					
外税指定	1					
非課税指定	5					
奉仕料計算の対象にする		↑				
B する		0				
しない		1				
値引き操作で小計が			↑			
C 負になることを許さない			0			
負になることを許す			1			
常に0を設定します				0		
入力最大桁制限					↑	
D 制限なし					0	
指定桁まで					1 ~ 7	
プリセット単価のみ					8, 9	
常に0を設定します						0



- ・ご購入時の設定は“000000”（内税指定）です。
- ・上記 A「消費税の課税方式」の設定は 62 ページから 64 ページを参照してください。

## 割引キー・割増しキーの機能を設定する

%- キー、%+ キーの端数処理などの機能を設定します。

### 操作例

%- の円未満を「切り上げ」にする

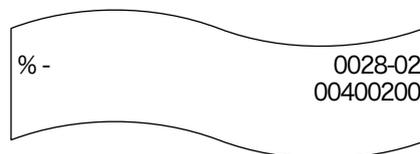
### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	A	B	C	D	E
3 小計	4	0	0	2	00
消費税の課税方式					
A 内税指定	0				
外税指定	1				
オール課税指定	4				
非課税指定	5				
奉仕料計算の対象にする					
B する		0			
しない		1			
新たな%率を置数しての%計算					
C 可能			0		
禁止			2		
%計算の端数処理					
D 円未満四捨五入				0	
円未満切り捨て				1	
円未満切り上げ				2	
常に00を設定します					00

- ・ご購入時の設定は“00400000”（内税指定、四捨五入）です。
- ・上記A「消費税の課税方式」の設定は62ページから64ページを参照してください。

### 印字例



## 乗算キーの機能（操作順と端数処理）を設定する

乗算登録の操作順序「数量×単価」または「単価×数量」、円未満の端数処理方法を設定します。

### 操作例

乗算登録の計算順を「単価×数量」にする

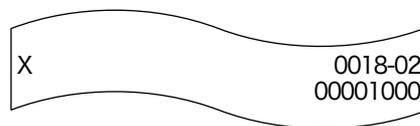
### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	A	B	C
3 小計	1	0	00
乗算の操作順序			
A 数量×単価	0		
単価×数量	1		
乗算の端数処理			
B 円未満四捨五入		0	
円未満切り捨て		1	
円未満切り上げ		2	
常に00を設定します			00

- ・ご購入時の設定は“000000”（乗算の計算順序「数量×単価」、端数処理「四捨五入」）です。

### 印字例



**注意** 乗算の計算順を「単価×数量」にすると、「PLUの乗算登録」「スキャンニングPLUの乗算登録」「日付・時刻の表示」が使用できません。（33ページ参照）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# その他の設定

## 入金、出金キーの機能を設定する

入金や出金キーには、入力まちがいを防ぐための置数入力制限を設定します。

### 操作例

50000 円以上の入金と 10 万円以上の出金を「エラー」にする

### 手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



#### ■ 置数入力金額の制限

A	金額の左端の数値	0 ~ 9
	金額の 0 の個数	0 ~ 9

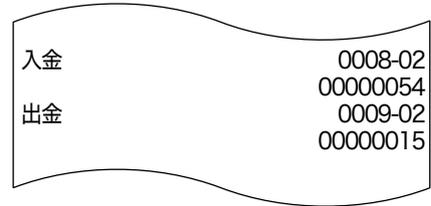
・上記 A 「金額の制限」の設定数値は下記です。

設定数値例：

- 金額制限 10,000 円 → 数値 “14”
- 金額制限 7,000 円 → 数値 “73”
- 金額制限 2,500 円 → 設定できません
- 金額制限 なし → 数値 “00”

**ポイント** ご購入時の設定は “00” です。

### 印字例



## 担当者番号を設定する

担当者番号をご購入時の設定から変更します。

### 操作例

担当者 -A の番号を 1111、担当者 -B の番号を 2222 とする

### 手順

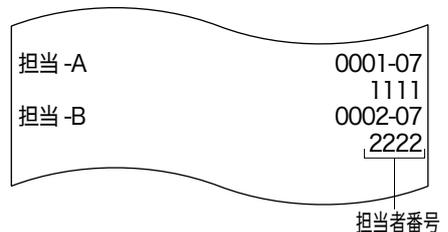
1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



#### ■ 担当者番号

1 ~ 9999

### 印字例



担当者ごとの操作コードとご購入時の担当者番号設定は下記です。

担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号
担当 -A	0107	0001	担当 -H	0807	0008	担当 -O	1507	0015
担当 -B	0207	0002	担当 -I	0907	0009	担当 -P	1607	0016
担当 -C	0307	0003	担当 -J	1007	0010	担当 -Q	1707	0017
担当 -D	0407	0004	担当 -K	1107	0011	担当 -R	1807	0018
担当 -E	0507	0005	担当 -L	1207	0012	担当 -S	1907	0019
担当 -F	0607	0006	担当 -M	1307	0013	担当 -T	2007	0020
担当 -G	0707	0007	担当 -N	1407	0014			

## 奉仕料率を設定する

奉仕料を徴収するお店では、奉仕料率や端数処理などを設定します。

### 操作例

奉仕料率 10% を設定する

### 手順

### 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



	A	B	C	D	E	
3 小計	1	0	2	1	0	00
7 2 2 小計						現/預 小計
■ 奉仕料の端数処理	↑	↑	↑	↑	↑	
A	四捨五入	0				
	切り捨て	1				
	切り上げ	2				
■ 常に 0 を設定します		0				
■ 奉仕料の計算をする			↑			
C	奉仕料を					
	計算する		2			
	計算しない		0			
■ 奉仕料率を 2 桁で設定します				00 ~ 99		
■ 常に 00 を設定します					00	

- ポイント
- ・ 奉仕料率は必ず 2 桁で設定します。
  - ・ ご購入時の設定は “1 0 0 00 00” です。

## トレーニングを始める／トレーニングを終わる

トレーニングモードを使って登録の操作を練習します。「登録」と「戻」モードのトレーニングができます。トレーニング中は合計には演算されません。

### トレーニングを始める

#### 手順

1 モードスイッチの位置を「点検」にして、下記の操作をします。

**111111** 小計

2 モードスイッチの位置を「登録」または「戻」にして、登録の操作を練習します。

#### 印字例

トレーニングモードを開始します

### トレーニングを終わる

#### 手順

1 モードスイッチの位置を「点検」にして、小計 キーを押します。

小計

#### 印字例

トレーニングモードを終了します

## 設定内容を確認する

設定内容は、設定の6モードで以下の種別コードを入力して確認します。

区分	種別コード	設定点検内容	区分	種別コード	設定点検内容
A (P01 内容)	102	値引き額、割引率など	C (P03 内容)	302	取引キーのプログラム
	104	PLU 単価と課税方法		304	PLU のプログラム
	105	部門単価と課税方法		305	部門のプログラム
B (P02 内容)	204	PLU キャラクター (文字)		307	担当者のプログラム
	205	部門名		322	全体設定のプログラム
	206	グループ名		326	現行税率のプログラム
	207	担当者名		327	予定税率のプログラム
	232	レシートメッセージ			

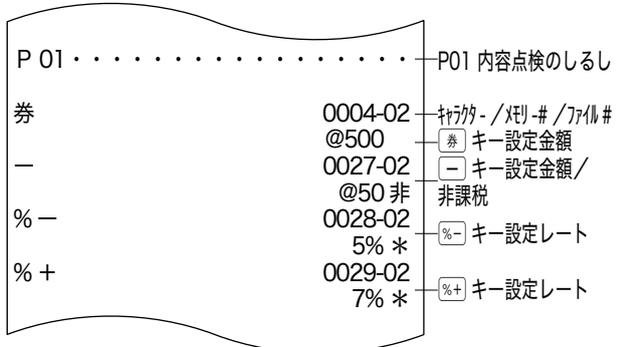
### 値引き金額と割引率の設定の確認

#### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **102** 小計

#### 印字例



### 部門の単価と課税方法の設定の確認

#### 手順

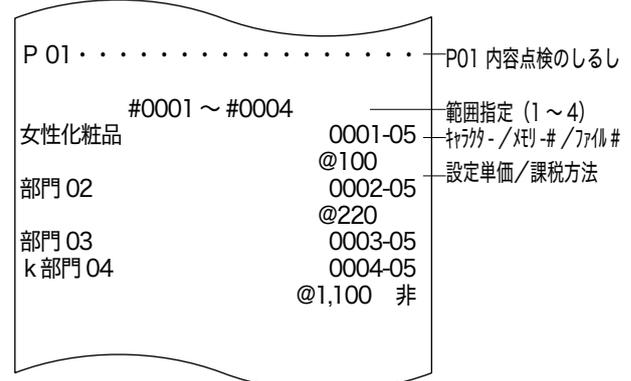
- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **105** 小計

- 3 開始部門番号を入力して **現/預** キーを押し、終了部門番号を入力して **現/預** キーを押します。

**1** 現/預 **4** 現/預

#### 印字例



**ポイント** 開始番号を入力しないときは最初から、終了番号を入力しないときは最後まで点検します。

# レジの設定内容を確認する

## PLUの単価と課税方法の設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **104** 小計

- 3 開始 PLU 番号を入力して **現/預** キーを押し、終了 PLU 番号を入力して **現/預** キーを押しします。

**1** 現/預 **200** 現/預

### 印字例

P 01.....	P01 内容点検のしるし
#0001 ~ #0200	範囲指定 (1 ~ 200)
PLU0001	0001-04
11-66	@218
PLU0002	0101
11-66	@318
PLU00170	0003-04
11-66	@505
PLU0171	0101
11-66	0171-04
PLU0199	0101
11-66	0199-04
PLU0200	@800 非
11-66	0101
PLU0200	0200-04
11-66	@2,000 非
	0101

**ポイント** 開始 PLU 番号を入力しないときは最初から、終了 PLU 番号を入力しないときは最後まで点検します。

## PLU に設定された商品名の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **204** 小計

- 3 開始 PLU 番号を入力して **現/預** キーを押し、終了 PLU 番号を入力して **現/預** キーを押しします。

**65** 現/預 **75** 現/預

### 印字例

P 02.....	P02 内容点検のしるし
#0065 ~ #0075	範囲指定 (65 ~ 75)
PLU0065	0065-04
カー-Yシャツ	0066-04
Yシャツ	0067-04
カー	0068-04
PLU0074	0074-04
PLU0075	0075-04

**ポイント** 開始 PLU 番号を入力しないときは最初から、終了 PLU 番号を入力しないときは最後まで点検します。

## 担当者名の設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。  

6	小計	207	小計
---	----	-----	----
- 3 開始担当者メモリー番号を入力して  キーを押し、終了担当者メモリー番号を入力して  キーを押します。  

1	現/預	11	現/預
---	-----	----	-----

### 印字例

P 02.....	P02 内容点検のしるし
#0001 ~ #0011	範囲指定 (最初~最後)
鈴木一郎	0001-07 キャカ- / 現 / # / 7 / 11 #
山本弘子	0002-07 担当者番号 1
担当-C	0003-07 担当者番号 2
担当-D	0004-07 担当者番号 3
原 優	0005-07 担当者番号 4
担当-F	0006-07 担当者番号 5
担当-G	0007-07 担当者番号 6
担当-H	0008-07
担当-I	0009-07
担当-J	0010-07
担当-K	0011-07

 **ポイント** 開始担当者メモリー番号を入力しないときは最初から、終了担当者メモリー番号を入力しないときは最後まで点検します。

## 部門名の設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。  

6	小計	205	小計
---	----	-----	----
- 3 開始部門番号を入力して  キーを押し、終了部門番号を入力して  キーを押します。  

1	現/預	3	現/預
---	-----	---	-----

### 印字例

P 02.....	P02 内容点検のしるし
#0001 ~ #0003	範囲指定 (1~3)
女性化粧品	0001-05 部門 1
	062-051 キーの位置
ヘアケア用品	0002-05 部門 2
	063-051 キーの位置
ドリンク剤	0003-05 部門 3
	064-051 キーの位置

 **ポイント** 開始部門番号を入力しないときは最初から、終了部門番号を入力しないときは最後まで点検します。

# レジの設定内容を確認する

## レシートメッセージの設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **2 3 2** 小計

### 印字例

P 02.....	P02 内容点検のしるし
0001-32	ロゴメッセージ
毎度ありがとうございます	1行目
0002-32	
カシオ商店	2行目
0003-32	3行目
0005-32	5行目
0006-32	6行目
0007-32	コマースルメッセージ
朝市を開催します	1行目
0008-32	2行目
0016-32	ボトムメッセージ
0017-32	5行目
0018-32	6行目

## グループ名の設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **2 0 6** 小計

### 印字例

P 02.....	P02 内容点検のしるし	
鮮魚	0001-06	グループ1
精肉	0002-06	グループ2
青果	0003-06	グループ3

## 取引キープログラムの設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記を設定します。

**6** 小計 **3 0 2** 小計

### 印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし	
現金	00000000	現金売り/預かり金キー
小計	00000000	小計キー
貸	00020000	貸し売りキー
券	00000000	券売りキー
信 1	00020000	信売りキー
信 2	00020000	信売りキー
強制解除	00000000	強制解除キー
入金	00000000	入金キー
出金	00000000	出金キー
在高申告	00000000	在高申告キー

# レジの設定内容を確認する



## PLU プログラムの設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **304** 小計

- 3 開始 PLU 番号を入力して **現/預** キーを押し、終了 PLU 番号を入力して **現/預** キーを押します。

**11** 現/預 **100** 現/預

### 印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし
#0011 ~ #0100	範囲指定 (11 ~ 100)
清涼飲料水 500ml	0011-04 設定キャラクター
	00000000 設定データ
011-66	0000 部分設定データ (1166)
012-66	#0000000000000000 部分設定データ (1266)
013-66	<- 0000-28 部分設定データ (1366)
清涼飲料水 1.5L	0012-04
	00000000
清涼飲料水 250ml	0100-04
	00000000
011-66	0000
012-66	#0000000000000000
013-66	<- 0000-28

**ポイント** 開始 PLU 番号を入力しないときは最初から、終了 PLU 番号を入力しないときは最後まで点検します。

## 部門プログラムの設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **305** 小計

- 3 開始部門番号を入力して **現/預** キーを押し、終了部門番号を入力して **現/預** キーを押します。

**1** 現/預 **20** 現/預

### 印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし
#0001 ~ #0020	範囲指定 (最初 ~ 最後)
女性化粧品	0001-05 設定キャラクター
	00000000 設定データ
011-66	0000 部分設定データ (1166)
ヘアケア用品	0002-05
	00000000
胃腸薬	0008-05
	00000000
011-66	0000

**ポイント** 開始部門番号を入力しないときは最初から、終了部門番号を入力しないときは最後まで点検します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# レジの設定内容を確認する

## 担当者の設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。  

6	小計	3	0	7	小計
---	----	---	---	---	----
- 3 開始担当者メモリー番号を入力して **現/預** キーを押し、終了担当者メモリー番号を入力して **現/預** キーを押します。

**1** 現/預 **2** 現/預

### 印字例

P 03	.....	P03 内容点検のしるし
	#0001 ~ #0002	
担当 -A	0001-07	担当者レンジ
	0001	担当者 01
67	0000000000	担当者番号
担当 -B	0002-07	担当者プログラム
	0002	
67	0000000000	



開始担当者メモリー番号を入力しないときは最初から、終了担当者メモリー番号を入力しないときは最後まで点検します。

## 全体設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **3** **2** **2** 小計

### 印字例

P 03	.....	P03 内容点検のしるし
0001-22	0000000000	
0002-22	0000000000	レジ番号の設定
0003-22	0010000233	連番号の設定
0004-22	0000890000	
0005-22	0100051040	印字制御の設定
0006-22	0400001000	強制操作・演算の設定
0007-22	0001021000	奉仕料の設定
0008-22	0721004100	明細レポート印字制御 1
0009-22	2736717700	明細レポート印字制御 2
0010-22	2000000000	
0011-22	0000000000	
0012-22	0000000000	
0013-22	0000000000	
0014-22	0000000000	
0015-22	0000000000	
0016-22	0000000000	
0017-22	0000010402	レシートの印字制御
0018-22	0000000000	
0019-22	0000000000	
0020-22	0000000000	
0021-22	0000000000	
0022-22	0000010123	
0023-22	0000000000	
0024-22	0000000000	
0025-22	0040000000	強制解除機能の設定
0026-22	0000000000	
0027-22	0210030000	領収書関連の設定
0028-22	0000000000	
0029-22	0000000120	文字の濃さの設定
0030-22	0000000000	
0031-22	0000000120	
0032-22	0000000000	
0033-22	0000000000	
0034-22	0000000000	本体表示の設定
0035-22	0000000000	
0042-22	.....	



全体設定は「その他の設定」(84～93ページ)を参照してください。

## 現行税率の設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **3 2 6** 小計

### 印字例

P 03 . . . . .			P03 内容点検のしるし
-----			
現行			
消費税1	5%	内税	税1テーブル
消費税2	5%	四捨五入	税率/課税方式
消費税3	0%	外税	端数処理方法
消費税4	0%	切り捨て	税2テーブル
		内税	税3テーブル
		四捨五入	税4テーブル
		外税	
		切り捨て	

## 予約税率の設定の確認

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 下記の操作をします。

**6** 小計 **3 2 7** 小計

### 印字例

P 03 . . . . .			P03 内容点検のしるし
-----			
税改正日			
	20YY年MM月DD日	00:00	変更日の設定
消費税1	A%	内税	税1テーブル
消費税2	A%	四捨五入	税率/課税方式
消費税3	0%	外税	端数処理方法
消費税4	0%	切り捨て	税2テーブル
		内税	税3テーブル
		四捨五入	税4テーブル
		外税	
		切り捨て	

# 故障かなと思ったら

## エラー音（ピー音）が鳴ったとき

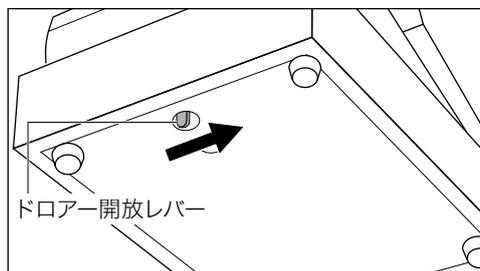
操作中にエラー音が“ピーッ”と鳴っても自動解除機能によってそのまま操作を続けることができます。何度操作してもエラーを繰り返すときや登録操作が込み入りどのように操作すればよいかわからなくなったときは、取引を強制的に解除して新たに登録することができます。取引を強制的に解除するには、**強制解除** キーを続けて2回押します。強制解除は取引中止として処理します。



「**強制解除**」を「取引中止」ではなく「現金売り」にするときは、**強制解除** キーの設定を変更してください。(90ページ) 強制解除した取引が「登録」モードのときは同じ取引を「戻」モードで戻す必要があります。

## ドロアーが開かなくなったとき

停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー開放レバー（ドロアー底面の金具）を矢印の方向に動かすと開きます。



ドロアーロックキーでロックしたときは開きません。ロックを解除してください。

## 操作ガイドで調べる

**操作ガイド** を押してレジスターでよく使う操作ガイドを印字することができます。

### 手順

**1** 操作ガイドキーを押します。

**操作ガイド**

**2** 発行されたレシートから説明を読みたい項目番号を入力して **操作ガイド** キーを押します。

**7** **操作ガイド** (説明を読みたい項目のレシートが発行されます。)

# 故障かなと思ったら

## こんなときは

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
ドロアー（引き出し）が開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか確認してください。「ドロアーが開かなくなったとき」をお読みください。	114
表示がつかない	差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。コンセントまで電気が来ているか別の電気器具で確認してください。	---
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーに残りがあるか確認してください。	121, 122
	レシートが発行されないとき「レシート使わない」になっていないか確認してください。	12
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりが発生していないか確認してください。	121
	ジャーナル用紙がジャーナル巻き取りホルダーにセットされているか確認してください。	119
	ジャーナル巻き取りホルダーがホルダーにセットされているか確認してください。	119
印字をしない 印字が薄い、ムラがある	紙詰まりが発生していないか確認してください。	121, 122
	ロールペーパーを裏表逆に取り付けていないか確認してください。	119, 120
	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください。（普通紙は使えません。）	裏表紙

ご使用前に

使い方

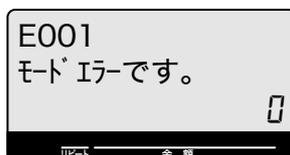
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

## 表示窓に E やメッセージが表示されたときは

表示窓に E の文字とエラーコードや、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が出ることがあります。



図のようなメッセージが表示されたら、下表を参照して対応してください。

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
E 誤操作です。	操作ミスです。取扱説明書をお読みいただき正しく操作してください。	---
新規商品です。 単価を入れて部門キーを押して下さい。	スキャンされた商品がレジスターに設定されていません。単価を入力して商品进行分类する部門キーを押してください。	37
E001 モードエラーです。正しいモードで操作して下さい。	登録中にモードを変更しています。元のモードにしてください。	---
E004 初期化エラー	代理店または弊社サービスセンターにお問い合わせください。	---
E008 暗証 No を入力して下さい。	担当者を使う設定です。担当者を指定していません。担当者を指定してください。	40
E012 ジャーナル用紙がなくなりました。	ジャーナル用紙がなくなりました。新しいロールペーパーに交換してください。	121
E014 レシート用紙がなくなりました。	レシート用紙がなくなりました。新しいロールペーパーに交換してください。	122

# 故障かなと思ったら

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
E016 モードスイッチを登録にして下さい。	連続した返品登録操作はできません。一度モードスイッチの位置を「登録」にした後、再度「戻」にして返品を登録してください。	28
E021 PLUにリンク部門が設定されていません。	指定したPLUはリンク部門が設定されていません。別のPLU、部門で登録した後PLUのリンク部門を設定してください。	97
E029 一部入金中です。締め操作を行って下さい。	一部入金中です。締め操作（支払い操作）以外は受付ません。	47
E031 <小計>キーを押して下さい。	<b>小計</b> キーを押してお買い上げ合計額を確認してください。	20
E033 お預かり額を入れて操作して下さい。	お客様からお預かりした金額を入力してから <b>現/預</b> キーを押してください。（ちょうどの金額のお預かりでも入力が必要です。）	20
E035 釣銭制限額を越えています。	お預かり金額の入力をまちがっていないか確認してください。釣り銭をお店で決めた金額を越えて支払おうとしています。	--
E036 ドロー内の現金を回収して下さい。	ドロー内の現金を回収して回収額を出金登録してください。	41
E037 桁又は金額制限額を越えています。	金額の入力をまちがっていないか確認してください。お店で決めた制限を越えた金額を登録しようとしています。	--
E038 在高申告が必要です。	在高申告してください。在高申告すると次の操作ができます。	49
E046 登録バックアップが一杯になりました。	<b>現/預</b> キーを押して取引を終わらせてください。内部メモリーがいっぱいです。	--
E103 スキャンコードが存在しません。	入力したスキャンPLUコードがまちがっていないか確認してください。入力したコードの商品は設定されていません。	--
E104 設定済商品です。	入力したスキャンPLUコードがまちがっていないか確認してください。入力したコードの商品はすでに設定されています。	--
E112 ジャーナル側の紙押えを戻して下さい。	ジャーナル用の紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	119
E114 レシート側の紙押えを戻して下さい。	レシート用の紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	120
E127 バックアップデータ無し	販売店または弊社サービスセンターにお問い合わせください。レジスターのデータを復元しようとしたのですが、元のデータが見つかりませんでした。	--
E139 値引金額の誤り、または税種が異なります。	入力した値引き金額を確認してください。値引きで小計金額が負になるような値引きや、非課税商品に対して課税の値引きはできません。	42
E200 RAC-13が接続されていません。	RAC-13が装着されていないためデータのバックアップができません。装着を確認してください。	123
E201 バックアップデータ異常	販売店または弊社サービスセンターにお問い合わせください。データ復元を試みましたが元のデータに異常があります。	--
E202 電子店名スタンプがありません。	電子店名スタンプ（RAC-13）が装着されていないためスタンプのデータの読み込みができません。装着を確認してください。	123

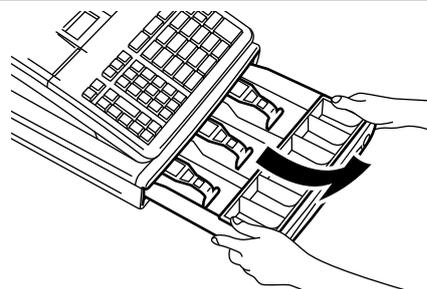
# ドローアを分離して設置する



お店のレイアウトに合わせて、ドローアとレジスター本体を分離して設置することができます。付属のドローア延長用ケーブル、レジスター固定ゴム足、ドローア上面穴塞ぎシートを用意してください。(作業用工具としてプラスドライバーを用意してください。)

## 手順

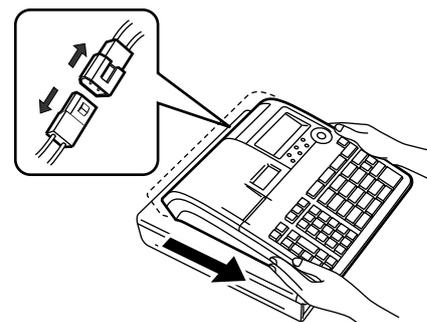
- 1 ドローアの引き出し部分を、右図のように先端を持ち上げるようにしながら取り外します。



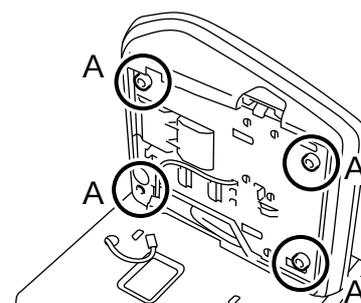
- 2 ドローア内側上面の蝶ねじを左に回して取り外します。



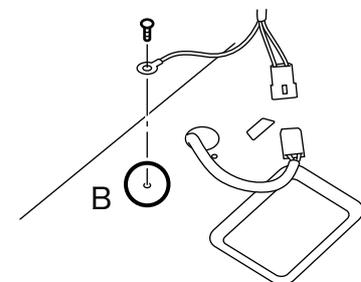
- 3 本体を矢印の方向にずらして持ち上げ、本体とドローアをつないでいるケーブルのコンネクターを外します。



- 4 レジスター底面の右図A位置に固定ゴム足をはめます。本体とドローアを所定の位置に置きます。



- 5 本体とドローアのコンネクターにドローア延長ケーブルを接続します。ドローア延長ケーブルから出ている緑のアース線を、右図B位置のネジを使って本体とドローアにしっかりと留めます。



- 6 ドローアの引き出しと硬貨入れを元に戻します。ドローア上面のレジスターを固定していた穴に、必要に応じて穴塞ぎ用シートを貼り付けます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



- ・余った延長ケーブルはドローア内部に入れしないでください。
- ・手順2で外した蝶ねじはレジスターとドローアを再度つなげる際に必要です。必ず保管してください。

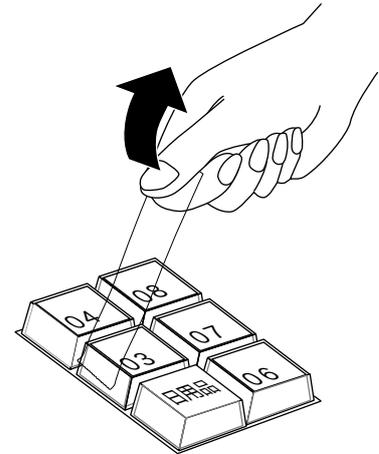
# 部門キーに商品名を記入する



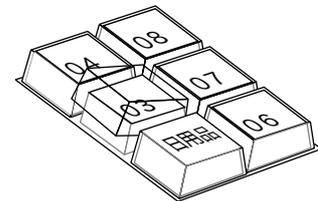
10 mm程度の幅のセロハンテープを用意してください。

## 手順

- 1 セロハンテープを5cm程度の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩部分に貼ります。セロハンテープの端を親指と人差し指で押さえながら、上方向に回すように引き上げてキーキャップの片側を外します。

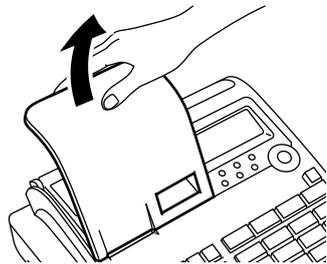


- 2 キー本体からキャップを外して中のキープレートを取り除きます。新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、方向に注意しながらキー本体にかぶせて押し込みます。



## プリンターカバーの取り外し

後方部を持ち上げてプリンターカバーを取り外します。



## プリンターカバーの取り付け

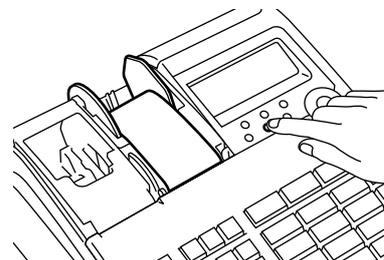
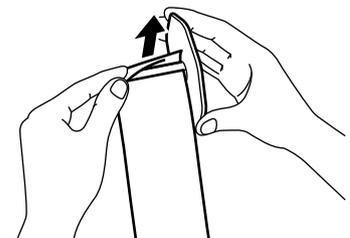
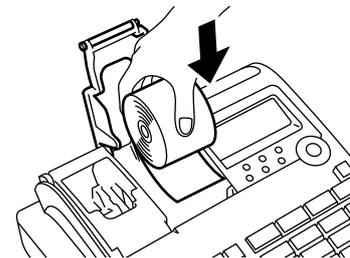
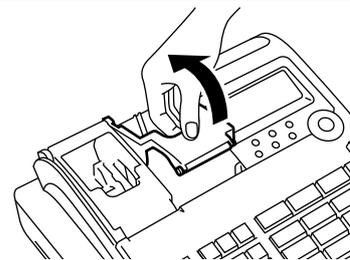
プリンターカバーのツメを本体にはめ込み、後方部を押し下げてプリンターカバーを取り付けます。



## ロールペーパーをセットする (ジャーナル)

### 手順

- 1 モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。紙押さえに指をかけて持ち上げて、自然に止まる位置までアームを開けます。
- 2 ロールペーパーの先端が下から出るように持ち、ペーパー入れにセットします。
- 3 ロールペーパーをローラーで挟み込み、両端がロックするまで押し込みます。
- 4 ジャーナル巻き取りホルダーの溝に、新しいロールペーパーの先端を差し込み2～3周巻き付けます。
- 5 ホルダーにジャーナル巻き取りホルダーをセットして、たるみがなくなるまで ジャーナル送り キーを押してプリンターカバーを取り付けます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

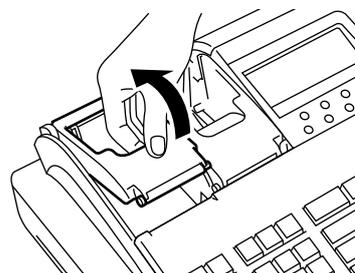
こんなときは

# ロールペーパーのセットと交換

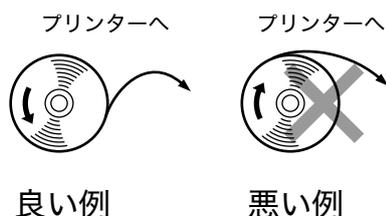
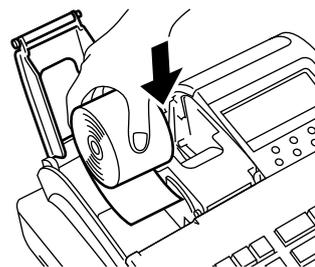
## ロールペーパーをセットする（レシート）

### 手順

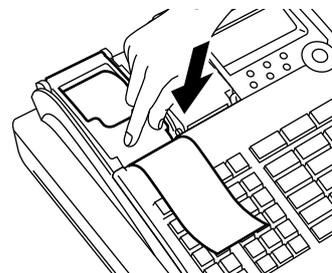
- 1** モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。紙押さえに指をかけて持ち上げて自然に止まる位置までアームを開けます。



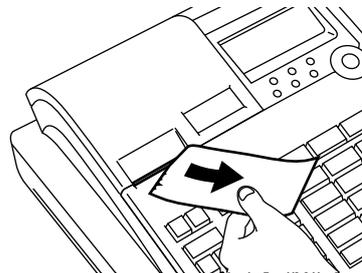
- 2** ロールペーパーの先端が下から出るように持ち、ペーパー入れにセットします。



- 3** ロールペーパーをローラーで挟み込み、両端がロックするまで押し込みます。



- 4** プリンターカバーを閉めて余分な紙を切り取ります。



### ▲注意

- 本機は必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けないとレジスターは動作しません。
- ロールペーパーの規格は紙幅 58mm × 外径 80mm の感熱記録紙です。必ず当社指定のロールペーパーをご使用ください。指定品以外の用紙を使うと故障の原因になることがあります。
- ロールペーパーに赤い線が出たら残りは約 1m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。

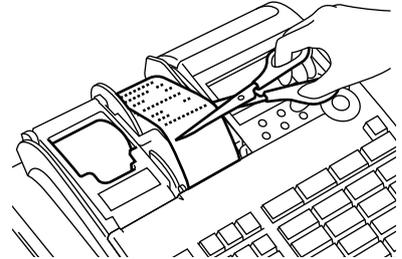
## ロールペーパーを交換する (ジャーナル)

ロールペーパーの残り約1mで赤い線が出ます。早めに新しいロールペーパーに交換してください。

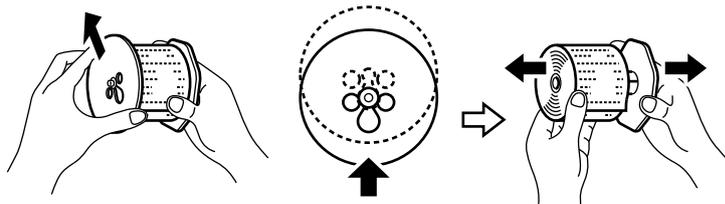
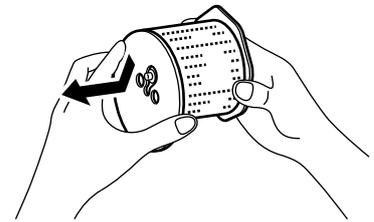
### 手順

**1** モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。 キーを押して20cm程度空送りし、印字部分にかからない位置でロールペーパーを切り取ります。

### 印字例

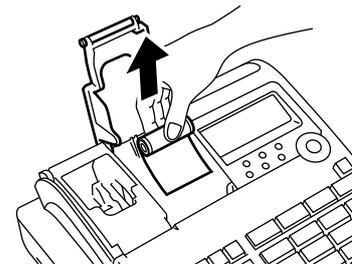


**2** ジャーナル巻き取りホルダーをホルダーから取り出し、印字済み用紙を横にずらして外します。



ここを矢印の方向に押してホルダーの軸押さえを外します。

**3** ペーパー入れに残ったロールペーパーの芯を取り除きます。



上記手順の後、「ロールペーパーをセットする (ジャーナル)」(119 ページ) 手順 2 以降の方法で新しいロールペーパーをセットします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# ロールペーパーのセットと交換

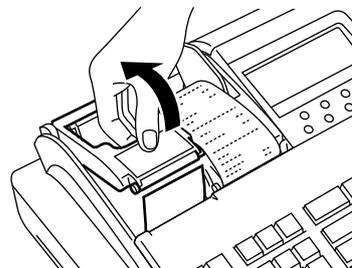
## ロールペーパーを交換する（レシート）

ロールペーパーの残り約1mで赤い線が出ます。早めに新しいロールペーパーに交換してください。

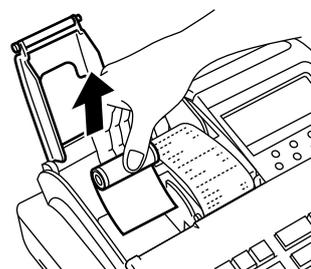
### 手順

**1** モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。紙押さえに指をかけて持ち上げて自然に止まる位置までアームを開けます。

### 印字例

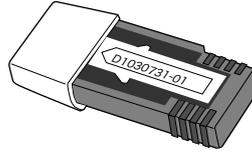


**2** ペーパー入れに残ったロールペーパーの芯を取り除きます。



上記手順の後、「ロールペーパーをセットする（レシート）」（120ページ）手順2以降の方法で新しいロールペーパーをセットします。

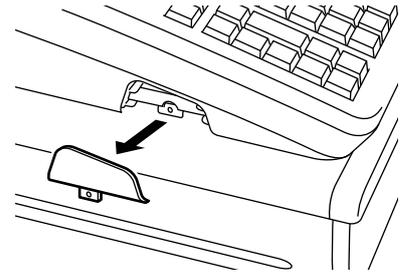
電子店名スタンプ (RAC-13) が届いたらレジスターに取り付けます。レジスターがデータを読み込んでレシートや領収書に店名ロゴなどを印刷します。



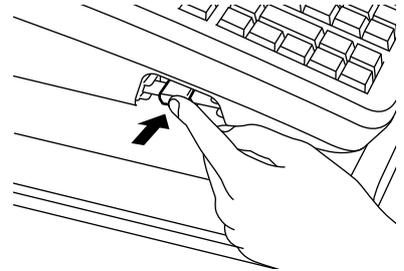
電子店名スタンプ RAC-13

## 手順

**1** モードスイッチの位置を「OFF」にして表示が消えたことを確認します。レジスター左側面の RAC スロットカバーを開けます。スロットカバーがネジ留めされているときは、プラスドライバーでカバーを開けます。



**2** 「電子店名スタンプ RAC-13」と書かれた面を下にして、スタンプをスロットに奥までしっかり差し込みます。



**3** モードスイッチの位置を「登録」にするとスタンプデータの読み込みがスタートします。表示下部に読み込み中のファイル番号を表示します。



**4** 読み込みが終了するとレシートが発行され表示が消えます。



**5** スロットカバーを閉めます。ネジ留めされていたスロットカバーはネジで留めます。

### 注意

- スタンプの端子部に手や金属で触れないでください。
- スタンプ取り付け前にロゴや商業メッセージに設定した内容はスタンプのデータに上書きされます。
- ロゴやサーマルポップが印字されないときは設定内容 (61、89、92 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# 仕様

型式	TE-2300 (15 部門) ストローキーク方式 2 キーロールオーバー
表示部	本体表示：キャラクター部 16 文字×2 行、数値部 10 桁 液晶表示 (バックライト付き) 客用表示：数値部 8 桁 LED 表示 (収納式回転機構付き)
印字部	2 シートサーマルプリンター方式 印字速度 約 14 行/秒 印字桁数 レシート・ジャーナル各 32 桁 (半角文字の場合) 記録紙 幅 57 ~ 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙 (消耗品欄参照) 店名ロゴ印字 縦 21mm × 横 48mm の範囲でデザイン可 (レシートに自動印字) 用紙カット レシートは手動カット ジャーナルは自動巻き取り 領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金 (10 桁：0 ~ 9,999,999,999) 登録 (7 桁：-999,999 ~ 9,999,999) 合計 (10 桁：-999,999,999 ~ 9,999,999,999) リピート (6 桁：-999,999 ~ 999,999) ノンアド (16 桁：0 ~ 9999999999999999) %レート (整数 2 桁+小数 2 桁：0.01 ~ 99.99%) 税率 (整数 2 桁+小数 4 桁：0.0001 ~ 99.9999%) 乗算数量 (整数 4 桁+小数 3 桁：0.001 ~ 9999.999)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁 (負数のときは 9 桁)
ドロアー	紙幣 3 種・硬貨 6 種 ドロアーロックキー付き、コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差 ± 30 秒 (通電状態 25°C において) 2088 年までフルオートカレンダー
メモリー保護	バナジウムリチウム充電式電池使用 記憶保持約 90 日 電池寿命約 5 年
電源・消費電力	AC100V ± 10V 50/60Hz 10W
周囲温度・湿度	0°C ~ 40°C 10% ~ 95% RH
外形寸法	幅 330mm / 奥行 360mm / 高さ 198mm (ドロアー含む) 客用表示を出した高さ 240mm
質量	約 5.5Kg (ドロアー含む)
オプション	電子店名スタンプ：RAC-13 (店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用) 防水カバー：WT-89 ハンドスキャナー：HHS-18
消耗品	記録紙 TRP-5880-TW (紙幅 58mm、外径 80mm 普通タイプ感熱記録紙) TRP-5880H-TW (紙幅 58mm、外径 80mm 高保存タイプ感熱記録紙)

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。必要に応じて参照してください。

## 後レシート発行

通常レシートを発行していないお店で、お客様からレシートを要求されたときは後レシートを発行してお渡しします。

 12、39 ページを参照してください。

## ありだか 在高

ドローアの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

 30、31、49、52 ページを参照してください。

## 一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット 1 種類ではなく、一部現金、一部商品券などで支払う形式のことです。

 47 ページを参照してください。

## 一括訂正

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括で訂正できます。

 27 ページを参照してください。

## 一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに 1 ずつプラスされます。

 19、84 ページを参照してください。

## 内税方式（内税方式レジスター）

内掛けの消費税を計算してお客様からの消費税の預かり額を累計する方式にしたレジスターのことです。非課税方式レジスター、外税方式レジスターも合わせてお読みください。

 16、30、63 ページを参照してください。

## 期間集計

長い期間（一週間、旬日、1 ヶ月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。

 50、51、54 ページを参照してください。

## 客用表示

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示です。背面表示としても、持ち上げてお客様の見やすい方向に回して使うこともできます。

 10、14 ページを参照してください。

## キャラクター

部門キーや PLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字のことです。

 67 ~ 83 ページを参照してください。

## 券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくこともできます。

 46 ページを参照してください。

## さかのぼり訂正

商品登録中に同一レシート中での登録のまちがいを訂正することです。

 44 ページを参照してください。

## ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。レシートも合わせてお読みください。

 10、119、121 ページを参照してください。

## ジャーナルスキップ

ジャーナル用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号（前出）や取引合計金額などを印字することです。

 85 ページを参照してください。

## 出金

商品の売上に直接関係のないお金をドローアから出すことです。ドローア内の現金を回収するときなどにお使いください。

 41 ページを参照してください。

# 用語集

## 純売上

商品登録の合計で、値引きや割引をした後の金額です。外税も含みます。総売上も合わせてお読みください。

 30、31 ページを参照してください。

## 乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げのときなど、お買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。「数量×単価」または「単価×数量」の2種類の入力方法を選べます。

 12、23、33、34、35、37、103 ページを参照してください。

## 信売り

クレジットカードなどの売上に使います。

 46 ページを参照してください。

## シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシートに印字する略号です。内税の「内」、非課税の「非」などです。

 12、19、30、31、83 ページを参照してください。

## スキャンング PLU

JAN コードなどが付いた商品のバーコードを別売のスキャナーで読み込んで商品登録します。スキャンング PLU の売上は PLU と同じ扱いになります。

 36、37、52、59 ページを参照してください。

## 精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスター内部データの売上金額などは、翌日の営業のためゼロになります。点検、レポートも合わせてお読みください。

 30、31、50～55 ページを参照してください。

## 設定

レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに登録することです。単価設定も合わせてお読みください。

 58～113 ページを参照してください。

## 外税方式（外税方式レジスター）

外掛けの消費税を計算してお客様からの消費税の預かり額を累計する方式にしたレジスターのことです。非課税方式レジスター、内税方式レジスターも合わせてお読みください。

 16、64 ページを参照してください。

## 総売上

商品登録の合計で、値引きや割引をする前の金額です。外税も含みません。純売上も合わせてお読みください。

 30、31 ページを参照してください。

## 単価設定

商品単価をレジスターに登録することです。同じ単価を多く使われるお店では単価設定すると便利です。

 32、34、37、59 ページを参照してください。

## 担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシートに担当者の番号、名前を印字したり、担当者別の売上額を集計することができます。

 13、19、40、54、76、86、104 ページを参照してください。

## 置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

## 訂正

レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）がまちがっているとき取り消すことです。取り消しできるときとできないときがあります。

 13、27、44 ページを参照してください。

## 点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。精算、レポートも合わせてお読みください。

参照 50～55 ページを参照してください。

## 電子店名スタンプ

別売のオプションです。レシートに印字するオリジナルの店名ロゴスタンプや、領収書に印字する社名ロゴ・会社所在地などを焼き付けた小さなスティックです。別添の申込書でお申し込みください。

参照 2、123 ページを参照してください。

## 登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

参照 20～29、32～49 ページを参照してください。

## 日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態などに分けて（明細）発行します。

参照 30、31、50 ページを参照してください。

## 入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣り銭準備などをするときにお使いください。

参照 41 ページを参照してください。

## 値引き

赤札などがあるときに使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

参照 42 ページを参照してください。

## 背景印字

レシートや領収書に、背景として薄い文字や模様を印字することができます。他店との差別化や特売サービス引換券などにお使いください。

参照 61 ページを参照してください。

## パーセント計算

引きき・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法です。引ききも合わせてお読みください。

参照 43 ページを参照してください。

## PLU（ピーエルユー）：Price Look Up の略

プライスルックアップ（単価呼び出し）のことです。主にコード指定後の PLU キーによる単価呼び出し、またはその登録のことです。PLU に設定されるのは、主に（商品の分類ではなく）個々の商品（単品）です。

参照 31、34～37、51、53 ページを参照してください。

## 非課税方式（非課税方式レジスター）

消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしないときにお使いください。内税方式レジスター、外税方式レジスターも合わせてお読みください。

参照 16、62 ページを参照してください。

## 品番 PLU

品番で指定される商品を登録するときに使います。

参照 35 ページを参照してください。

## 不加算印字

商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係ない数値を「おぼえ」のために印字することです。

参照 38 ページを参照してください。

## 部門

お店の商品分類です。例えば、食料品／雑貨品／日用品、鮮魚／精肉／青果、お食事／お飲み物などの分類があります。

参照 13、20～23、30～33 ページを参照してください。

## 返品

お客様から返品があったとき返品処理をしてください。

参照 28、29 ページを参照してください。

# 用語集

## 奉仕料

奉仕料の必要なお店で奉仕料を自動計算することができます。

 48、105 ページを参照してください。

## 丸め（5 円丸め / 10 円丸め）

合計金額の端数（5 円未満または 10 円未満）が出ないように値引きすることです。値引き金額はお店側の負担になります。

 45、60 ページを参照してください。

## 万円キー（万券キー）

一万円札の預かり時に使用すると、日計明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

 12、39 ページを参照してください。

## 呼び出し機能

割り勘のためレシートの合計を電卓モードで使ったり、電卓モードの計算結果を登録に使うときその数値を持ってくることです。

 57 ページを参照してください。

## リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げのときなど、都度商品単価を入力せずに部門キーを買い上げ個数分押すなどの操作で手軽に登録することです。

 22、34、35、37 ページを参照してください。

## 両替

本来の両替（大きなお金を細かくする）だけでなく、取引以外にドロアーを開ける必要ができたときに使用します。

 11、23 ページを参照してください。

## 領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できません。

 12、19、24、25 ページを参照してください。

## レシート

お客様にお渡しする領収書代わりに紙券です。ジャーナルも合わせてお読みください。

 19 ページを参照してください。

## レポート

お店の売上金額や客数などを集計してレジスターから出力される帳票です。点検と精算の区別があります。レシート、点検、精算も合わせてお読みください。

 30、31、50～55 ページを参照してください。

## 割引き

全品一律 10% 引きなどに使用します。全品一律でも、商品一点でも使用できます。

 42 ページを参照してください。

# さくいん

## あ・ア

圧縮印字、圧縮文字…………… 19, 61, 71, 85  
預かり金…………… (現金売り／預かり金)  
後レシート…………… 12, 39  
在高申告…………… 13, 49

## い・イ

一連番号…………… 19, 24, 84, 89, 91  
一部入金…………… 47  
一括訂正…………… (取引中止)  
印字制御…………… 85, 87～89, 91, 92

## う・ウ

内税扱い、内税方式…………… 16, 63

## お・オ

オールクリア…………… 13, 56  
お客様相談センター…………… 裏表紙  
オプション…………… 124  
オペレーターキー…………… 7, 11  
オーナーキー…………… 7, 11

## か・カ

買い上げ点数…………… 18, 83, 85  
回転表示窓…………… (客用表示窓)  
貸し売り…………… 13, 21  
課税方式…………… 16, 62～64  
紙押さえ…………… 8  
感熱記録紙…………… 25, 115, 120, 124, 裏表紙

## き・キ

キーボード…………… 8, 10  
期間集計 1, 2…………… 50, 51  
客用表示窓…………… 10, 14  
キャラクターの設定…………… (文字の設定)  
強制解除…………… 13, 113  
強制操作…………… 86  
金額キー…………… 13, 35

## く・ク

クリア…………… (オールクリア)  
グループ別集計…………… 53, 94, 97  
グループリンク…………… 94, 97  
クレジットカード…………… 13, 46

## け・ケ

計算命令キー…………… 13, 56  
桁解除…………… 13  
券売り…………… 13, 46, 47  
現金在高…………… 30, 49  
現金売り・預かり金…………… 13, 20

## こ・コ

コールセンター…………… (お客様相談センター)  
コイントレー…………… 10  
硬貨入れ…………… (コイントレー)  
構成比…………… 30, 31, 53, 85  
5円／10円丸め…………… 45, 60  
固定キャラクター…………… (取引シンボル)  
ゴハサン…………… (オールクリア)  
コマースメッセージ…………… (レシートメッセージ)  
混在…………… (税金の混在)

## さ・サ

在高…………… (現金在高)  
さかのぼり訂正…………… 44  
差し込みプラグ…………… 10  
札押さえ…………… 10  
サーマルポップ…………… 92, 123  
サーマル用紙…………… (感熱記録紙)

## し・シ

時間帯別集計…………… 31, 50  
時刻…………… 16, 40, 58  
紙幣入れ…………… 10  
締め…………… 20, 46, 47, 101  
ジャーナルスキップ…………… 85  
ジャーナル印字確認窓…………… 10  
ジャーナル送りキー…………… 12, 119, 121  
ジャーナル巻き取りホルダー…………… 10, 119, 121  
ジャーナル用紙…………… 10, 119, 121

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# さくいん

収入印紙…………… 19, 24, 91  
出金キー…………… 13, 41, 104  
純売上…………… 30, 31  
小計キー…………… 13, 20, 27, 86  
乗算登録…………… 13, 23, 33, 34, 35, 37  
乗算/日時キー…………… 13, 23, 40, 58  
消費税の計算…………… 16  
商品券…………… 46, 47  
信売り…………… 13, 46

## す・ス

スキャニング PLU…………… 36, 37

## せ・セ

税関連の設定…………… 62 ~ 66  
税金の混在…………… 16, 64  
精算モード…………… 11, 30, 50  
税率…………… 65  
税率変更日…………… 65  
設定モード…………… 11, 58 ~ 113  
設定単価…………… 59  
設定点検…………… 107 ~ 113  
全角文字…………… 71

## そ・ソ

総売上…………… 30, 31  
操作ガイド…………… 13, 114  
外税扱い、外税方式…………… 16, 64

## た・タ

但し書き…………… 19, 24, 61, 91  
縦倍文字…………… 61, 71  
単価×数量…………… 33, 103  
単価設定…………… 59  
担当者…………… 40, 54, 76, 86, 104  
担当者キー…………… 13  
担当者番号…………… 40, 104  
担当者別集計…………… 54  
単品現金売り…………… 94, 95, 96, 98, 100

## ち・チ

置数キー…………… 13  
直前訂正…………… 27  
中止…………… (訂正/中止)

## つ・ツ

釣り銭計算…………… 94, 98

## て・テ

停止…………… (レシート発行停止)  
訂正/中止…………… 13, 26, 27  
点検モード…………… 11, 50 ~ 55, 106  
電子店名スタンプ…………… 2, 16, 123  
電卓機能…………… 56, 57  
電卓モード…………… 11

## と・ト

登録モード…………… 9, 20 ~ 27, 29  
取引中止…………… 27  
取引シンボル…………… 83  
トレーニング…………… 106  
ドロアー…………… 10  
ドロアーロックキー…………… 7, 10, 114

## に・ニ

日時…………… (乗算/日時キー)  
日計明細…………… 30, 31, 50, 51  
入金…………… 13, 41, 104

## ね・ネ

値引き…………… 42

## の・ノ

ノンアド…………… (不加算印字)

# さくいん

## は・ハ

パーセント計算……………43, 60  
背景印字……………61, 92  
倍文字……………71  
端数処理……………66, 103, 105  
半角文字……………71

## ひ・ヒ

非課税キー……………13, 62  
非課税扱い、非課税方式……………16, 62  
引き出し……………(ドロアー)  
日付……………40, 58  
表示窓……………(本体表示窓)  
品番 PLU……………35, 98

## ふ・フ

不加算印字……………13, 38  
部門キー……………13, 20～23, 32～33  
部門リンク……………97  
プラテンアーム……………(紙押さえ)  
プリンターカバー……………10  
分割処理……………47

## へ・へ

変更日……………(税率変更日)  
返品戻し……………28, 29  
ペーパー入れ……………119, 120, 122

## ほ・ホ

防水カバー……………6, 124  
ボトムメッセージ……………(レシートメッセージ)  
ホルダー受け……………(巻き取りホルダー受け)  
本体表示窓……………10, 13

## ま・マ

マイナス……………(値引き)  
マイナス単価……………95, 99  
巻き取りホルダー…(ジャーナル巻き取りホルダー)  
巻き取りホルダー受け……………119  
マシン No.……………(レジ番号)  
丸め……………(5円丸め/10円丸め)  
万円キー……………13, 39

## め・メ

明細印字……………(ジャーナルスキップ)

## も・モ

モードキー……………10, 11  
モードスイッチ……………10, 11  
戻しキー……………13, 29  
戻しモード……………11, 28  
文字の設定……………67～83

## よ・ヨ

四倍角文字……………71

## り・リ

リピート (回数、登録)……………14, 22, 34, 35, 37  
両替……………13, 23  
領収書……………19, 24, 25  
領収書一連番号……………(一連番号)  
領収書発行……………13, 24, 25  
リンク……………(部門リンク、グループリンク)

## れ・レ

レシート用紙……………12, 115  
レシート送りキー……………12  
レシート使う/使わない……………12, 18, 39  
レシート使う/使わないスイッチ……………12  
レシート発行キー……………11, 39  
レシートメッセージ……………19, 79・81, 89  
レジ番号 (レジスター番号)……………19, 84  
レポート……………30, 31, 50～55

## ろ・ロ

ロールペーパー……………7, 119～122, 裏表紙  
ロゴメッセージ……………(レシートメッセージ)

## わ・ワ

割引き……………13, 43, 107  
割引き率の設定……………60  
割増し……………13, 43, 107  
割増し率の設定……………60

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

# さくいん

## アルファベット

OFF モード	11
OP	(オペレーターキー)
PGM	(オーナーキー)
PLU	13, 31, 34 ~ 37, 53, 59
RAC	2, 9, 123
TRP-5880TW	124, 裏表紙
TRP-5880HTW	124, 裏表紙



# 保証およびアフターサービス

## 保証とアフターサービス

### 保証書はよくお読みください

保証期間は、ご購入日から1年間です。

保証書（別に添付しています）は、必ず「ご購入日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。

### 修理を依頼されるときは

114ページの「故障かなと思ったら」にしたがって調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は……

保証書の規定にしたがって、ご購入の販売店またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。保証書をご用意のうえ、お客様相談センターへご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは……

ご購入の販売店またはお客様相談センターへご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### アフターサービスのお問い合わせは

ご購入の販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

## 消耗品のお申し込み

### TE-2300 の消耗品

ロールペーパー：紙幅 58 mm × 外径 80 mm（感熱記録紙）  
普通タイプ TRP-5880-TW 高保存タイプ TRP-5880H-TW

## お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

### カシオレジスターお客様相談センター



# 0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日曜・祝日・年末年始などを除く）

携帯電話・PHS などの場合は 048-233-7215 をご利用ください。

## カシオサービスセンター

- |                    |                                   |                                 |   |                          |   |                           |
|--------------------|-----------------------------------|---------------------------------|---|--------------------------|---|---------------------------|
| ●北海道<br>●東北<br>●関東 | 札幌<br>仙台<br>宇都宮<br>水戸<br>高崎<br>千原 | ●関東<br>●信越<br>●北陸<br>●東海<br>●近畿 | ●多摩<br>●横浜<br>●新潟<br>●長野<br>●静岡<br>●名古屋<br>●京都<br>●大阪 | ●近畿<br>●中国<br>●四国<br>●九州 | ●神岡<br>●岡山<br>●広島<br>●福岡<br>●熊本<br>●鹿児島 | ●戸山<br>●島松<br>●岡本<br>●鹿児島 |
|--------------------|-----------------------------------|---------------------------------|---|--------------------------|---|---------------------------|
- ※その他、26箇所の出張所があります

## レジスターの回収再資源化について

- カシオ計算機では、2001年4月よりご使用済みとなりましたレジスターの回収・再資源化を有償で行なっております。回収のお申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

[http://www.casio.co.jp/csr/env/process/recycle/info\\_recycle/pc/](http://www.casio.co.jp/csr/env/process/recycle/info_recycle/pc/)

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう ☎ ( ) 担当者

